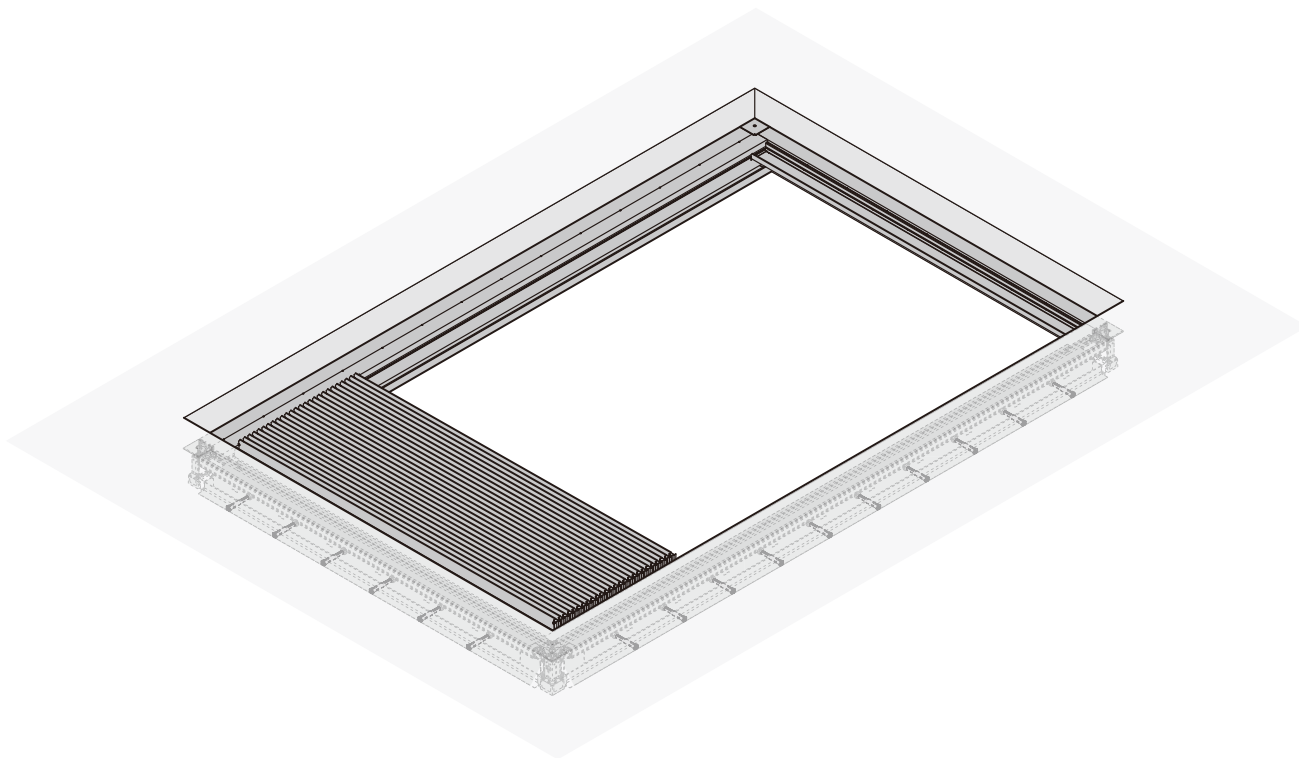


GARDEN ANNEX Model C



このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためにも、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。





■本書の見かた

この取付説明書では、以下のような記号、記載、アイコンを使用しています。

安全に関する記号と説明

-  **警告** ・ 取扱いを誤った場合に使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示します。
-  **注意** ・ 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示します。

情報に関する記号と説明

-  **お願い** ・ 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
・ 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
-  **補足** ・ 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

ネジ等の締結部品の記号

ネジやナット等の締結部品を記号で示しています。(例：1a、1b、2c等)
締結部品の種類は「 **梱包明細表** 」を参照してください。

□ 施工の前に

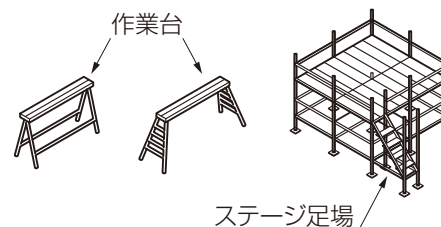
⚠ 注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 強風とき、又は突風が予想される場合は、必ず屋根ルーバー部を収納してください。
- 給湯器や暖房機などの熱排気が製品内にこもるような場所には施工しないでください。排気による中毒や塗装劣化・剥離(はくり)のおそれがあります。
- 設置場所の確認をしてください。
※施工場所の気象条件(風、雪など)に合った製品かどうか確認してください。
※建物の屋根からの雪の落下を直接受けない位置かどうか確認してください。
※強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上などの施工は避けてください。
- 崖縁などの高低差がある場所には設置しないでください。
- 本製品の部材、部品はGARDEN ANNEX専用品です。他の商品には使用できません。
- 商品が落下・破損するおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- 非木造建築物へ設置してください。
- サイディングなど、製品を取付けたことで変形が起こる外壁には取付けできません。
※アングルは重量・使用に耐えられる構造材に取付けてください。
※アンカー M16を使用する場合は、必ずRC本体に60mm以上埋め込んでください。



💡 お願い

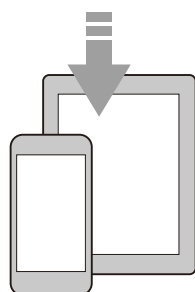
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 製品の施工は2人以上での施工を推奨しています。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工現場での加工や部品の取付けを行う際に作業台(うま)があると便利です。
- 製品の施工はステージ足場等を使用してください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。



💡 お願い

- 本製品を操作するためには、スマートフォンまたはタブレットが必要です。
- 本製品の設定には「Google Chrome」ブラウザを使用します。事前にインストールを行なってください。
- インストールの詳細は、お使いのスマートフォンやタブレットの取扱説明書をご確認ください。
- Google Chromeで本製品を操作するには以下のシステム条件があります。

- | | |
|-----------|--|
| 【iOS】 | ・ iOS 12以降 (iPhone、iPad、およびiPod touch)
・ ダウンロードサイズ：約133.5MB |
| 【Android】 | ・ Android 5.0 (Lollipop)以降
・ ダウンロードサイズ：約73MB |



🔧 補足

- 準備品に関しては、**4 現場手配品と特殊工具** をご参照ください。

施工上のご注意

注意

●ボルト、ネジは当社指定品を指定本数使用し、下記締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。

＜推奨トルク＞	φ4ネジ	:2.5N・m±0.5N・m(25±5kgf・cm)
	φ5ネジ	:3.0N・m±0.5N・m(30±5kgf・cm)
	M6ボルト	:5.2N・m±0.5N・m(52±5kgf・cm)
	M8ボルト	:12.5N・m±0.5N・m(125±5kgf・cm)
	M10ボルト	:24.5N・m±0.5N・m(245±5kgf・cm)
	M16アンカー	:100N・m±0.5N・m(1000±5kgf・cm)

●アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。

●製品の改造や、指定箇所以外の穴加工はしないでください。

●水濡れのおそれがありますので、指定の箇所にシーリングをしてください。

●シリコンシーリング材を使用する場合は、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。

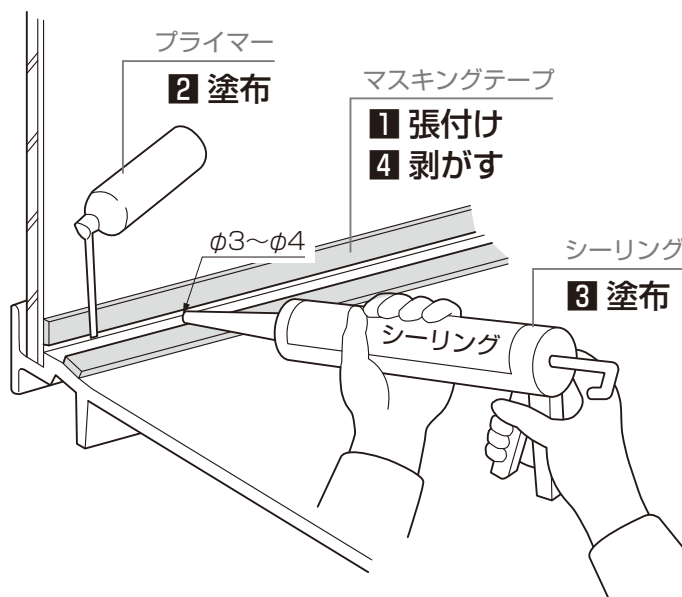
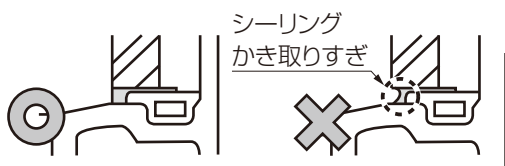
シーリング材メーカー	品名および品番	プライマー品名
信越化学工業	シーラント72	プライマー-D
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ	トスシール380	トスプライムD
ダウ・東レ（株）	SE960	プライマー-C、プライマー-D3

▼ シーリング時の手順 ▼

- 1: ホコリなどを除去してからマスキングテープを張付け
※テープが付きにくい箇所には縁のマスキングテープを使用する
- 2: プライマーを塗布
- 3: シーリングを塗布
- 4: シーリングをヘラまたは指で押さえて仕上げ、速やかにマスキングテープを剥がす

●重要ポイント

シーリングを塗布した後、シーリングをかき取りすぎないように注意して仕上げてください。
※シーリングの塗布が不十分な場合、漏水の恐れがあります。



お願い

●施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。

- ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
- ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
- ・特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
- ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
- ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。
- ・免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
- ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
- ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。

●取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。

●施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は付属の補修塗料で補修してください。

□ 電気配線工事について

! 注意

- AC100Vおよび200V電線の埋設工事、配線工事に関しては電気工事店の有資格者に依頼してください。
- 電気工事は電気設備技術基準、内線規程等関連する法令・規程にしたがって、必ず「電気工事士」が行なってください。
※無資格者の工事や、電気工事士による不適切な工事は、火災や漏電を引き起こすおそれがあるほか、関連法令により処罰されることがあります。
- 電気工事には、別途過電流保護付漏電ブレーカーおよび電源ケーブル、アース棒、LANケーブル、プラボックス、分電盤などが必要になりますので、用意してください。
- 電源ケーブルは、必ず過電流保護付漏電ブレーカーに接続してください。
- 配電盤には必ずアース(D種接地工事)をとってください。

! 注意

- 設置する前に使用電圧、電力を必ずご確認ください。

<ルーフレバー>	使用電圧 : AC100V 使用電力 : 320W
<フレームLED>	使用電圧 : AC100V 使用電力 : 210W
<ヒーター(サウンド&ヒーター)>	使用電圧 : AC200V 使用電力 : 2400W
<サウンド(サウンド&ヒーター)>	使用電圧 : AC100V 使用電力 : 120W

目次

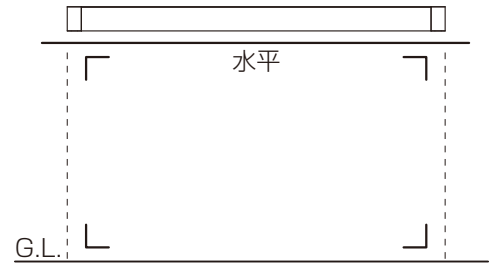
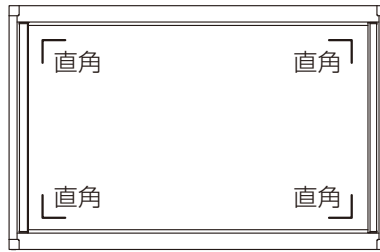
1	施工前の重要確認事項	6
1-1	フレームの直角・水平の確認	6
1-2	呼称寸法「W」、「L」と勾配(左右)の向き	6
1-3	本体の切詰め	7
1-4	オプションの取付け位置制限とポイント	7
1-5	配線接続図	9
1-6	実体配線図	10
1-7	配管工事	11
1-8	雨樋の接続	13
2	各部名称	14
2-1	本体の各部名称	14
3	施工フロー	16
3-1	本体の施工	16
3-2	オプションの施工	17
4	現場手配品と特殊工具	18
5	基本寸法	19
5-1	単体	19
5-2	連棟	20
6	納まり図	21
6-1	基本納まり図	21
6-2	サウンド&ヒーター納まり図	22
7	施工前の準備	23
7-1	フレームカバーの取り外し	23
7-2	サウンド&ヒーターの取付け	23
8	本体の施工	24
8-1	対角の確認	24
8-2	躯体付Lアングルの取付け	25
8-3	フレームの取付け	27
8-4	電気ケーブルとネットワークケーブルの接続	42
8-5	スマホによる初期設定	46
9	オプションの施工	69
9-1	フレームLEDの取付け	69
9-2	LEDの初期設定	71
9-3	サウンド&ヒーターの取付け	75
9-4	ヒーターの取付け	79
9-5	サウンドの取付け	84
9-6	サウンド&ヒーターの取付け(2台以上の連結)	85
9-7	サウンド&ヒーターの仕上げ	88
10	仕上げ	90
10-1	トップカバーの取付け	90
10-2	柱キャップと柱キャップ受けの取付け	91
10-3	完成イメージ	91
	梱包明細表	93

1 施工前の重要確認事項

1-1 フレームの直角・水平の確認

お願い

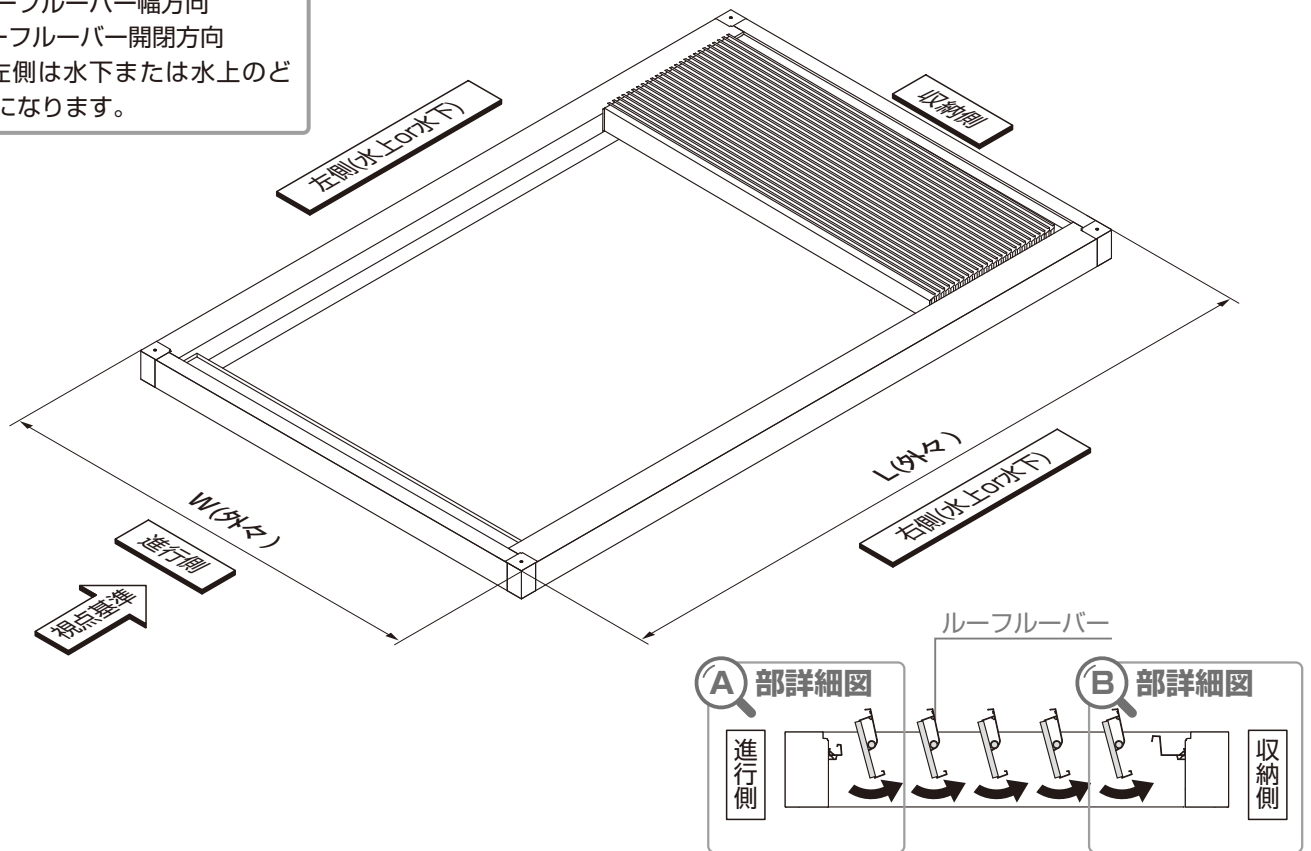
- フレームの直角・水平は必ず確認してください。



1-2 呼称寸法「W」、「L」と勾配(左右)の向き

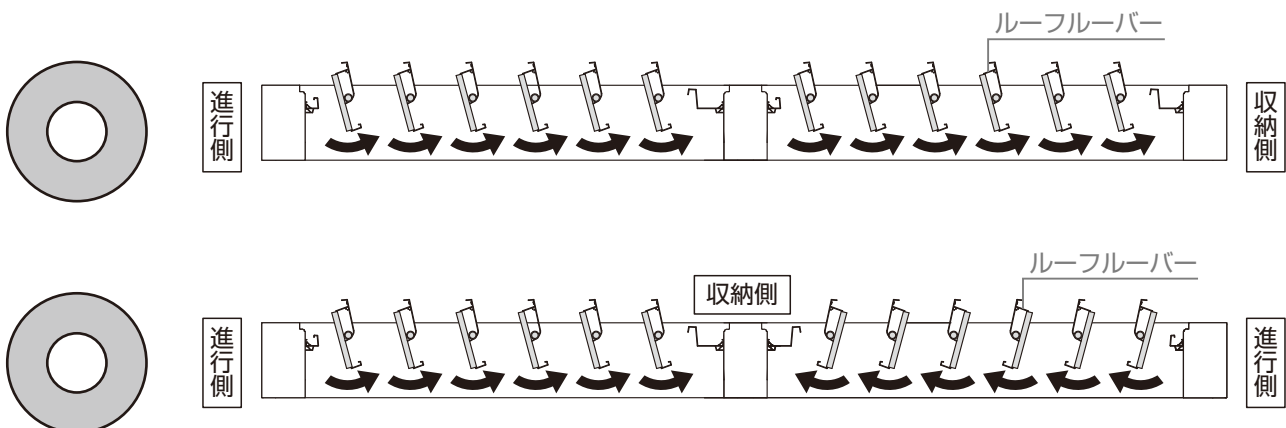
補足

- W：ルーフルーバー幅方向
- L：ルーフルーバー開閉方向
- 右側/左側は水下または水上のどちらかになります。



補足

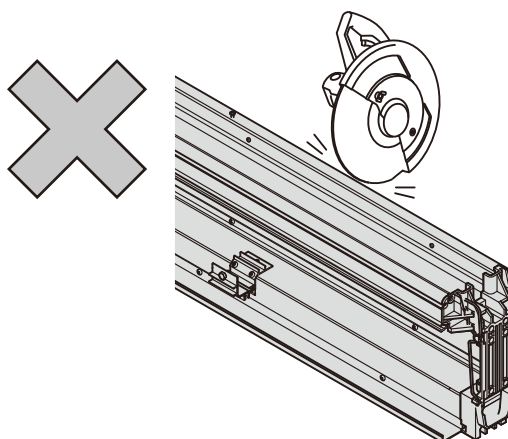
- 連棟時のルーフルーバーの回転方向の向きは同一方向、逆方向どちらでも可能です。



1-3 本体の切詰め

📌 お願い

- フレームおよびオプションは切詰めをすることができません。

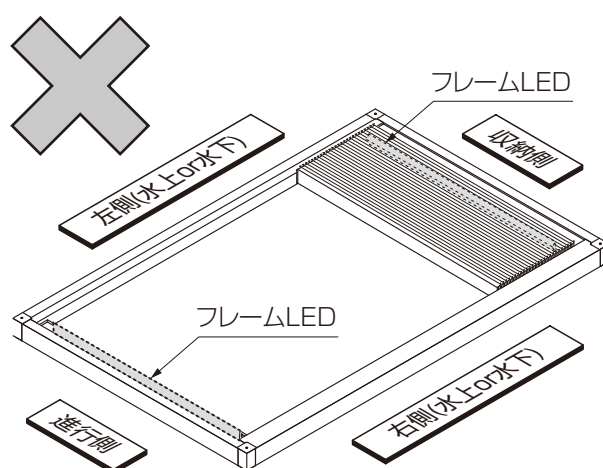
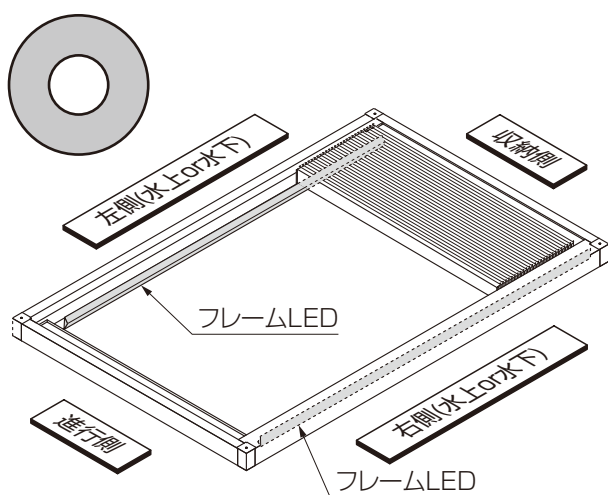


1-4 オプションの取付け位置制限とポイント

▼ フレームLED ▼

📌 補足

- フレームLEDは水上または水下側のフレームにのみ取付けができます。
- フレームLEDはフレームに組み込まれた状態で入荷されます。後付けすることはできません。



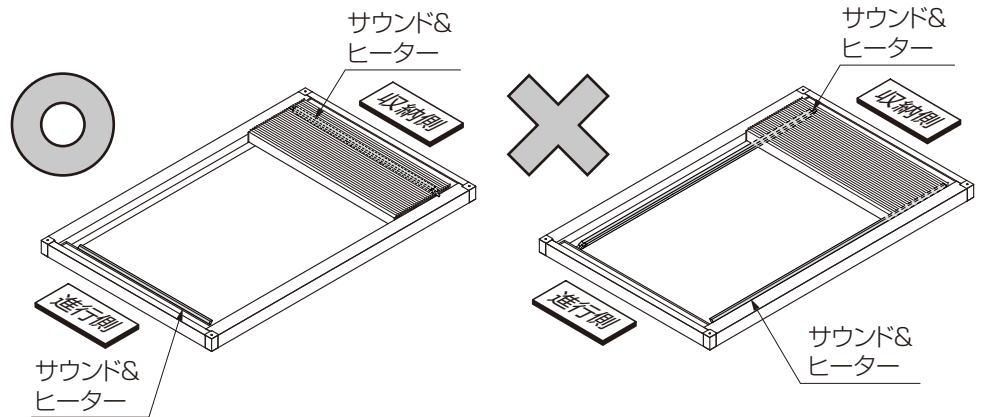
1-4 オプションの取付け位置制限とポイント

つづき

▼ サウンド&ヒーター▼

🔧 補足

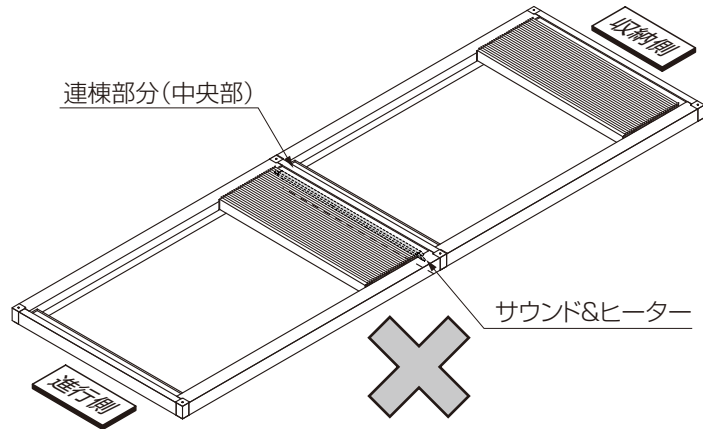
- フレームの収納側または進行側のみ取付けることができます。
- ヒーターを使用するには200V電源が必要です。



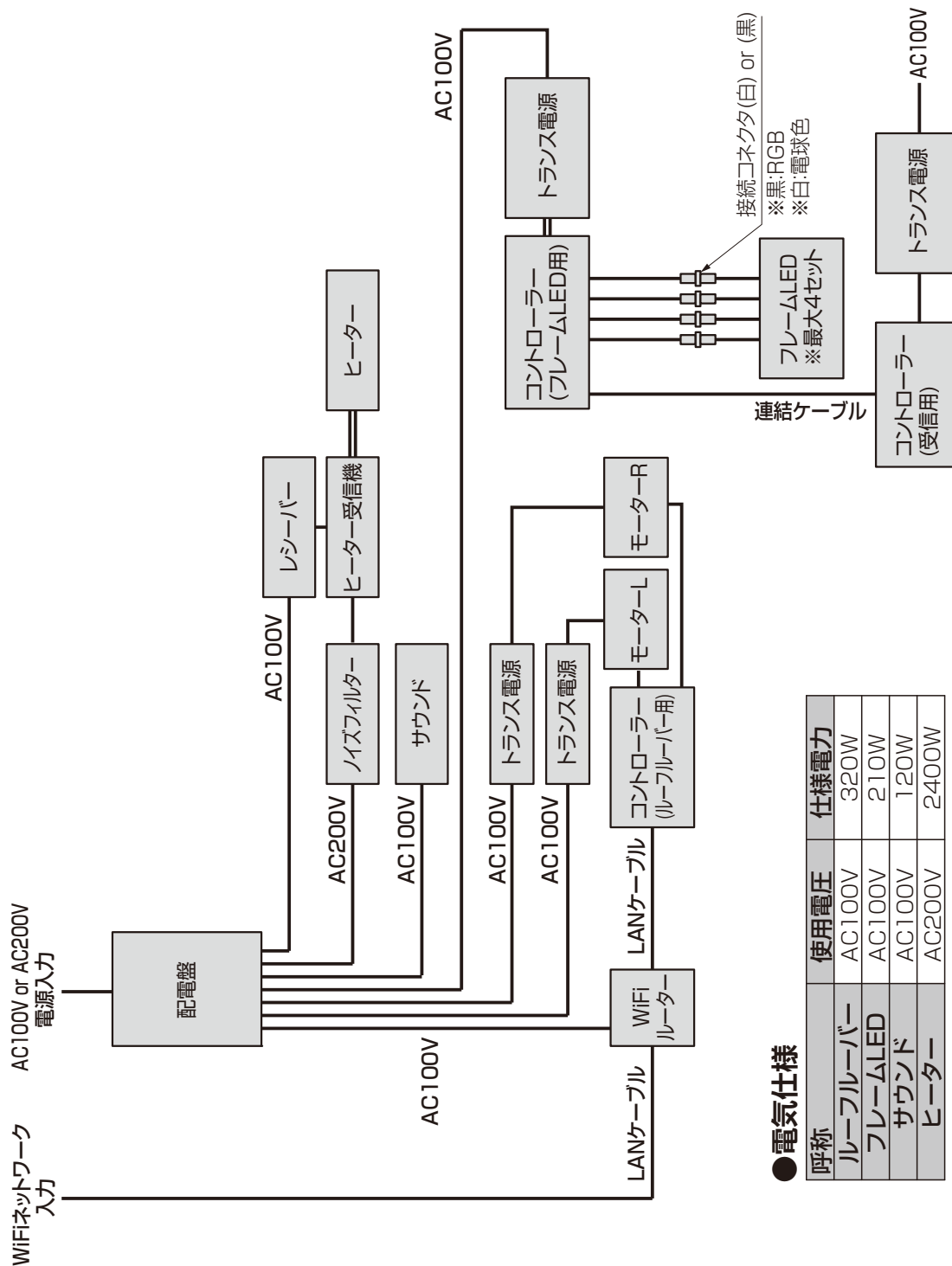
💡 お願い

▼ 連棟の場合 ▼

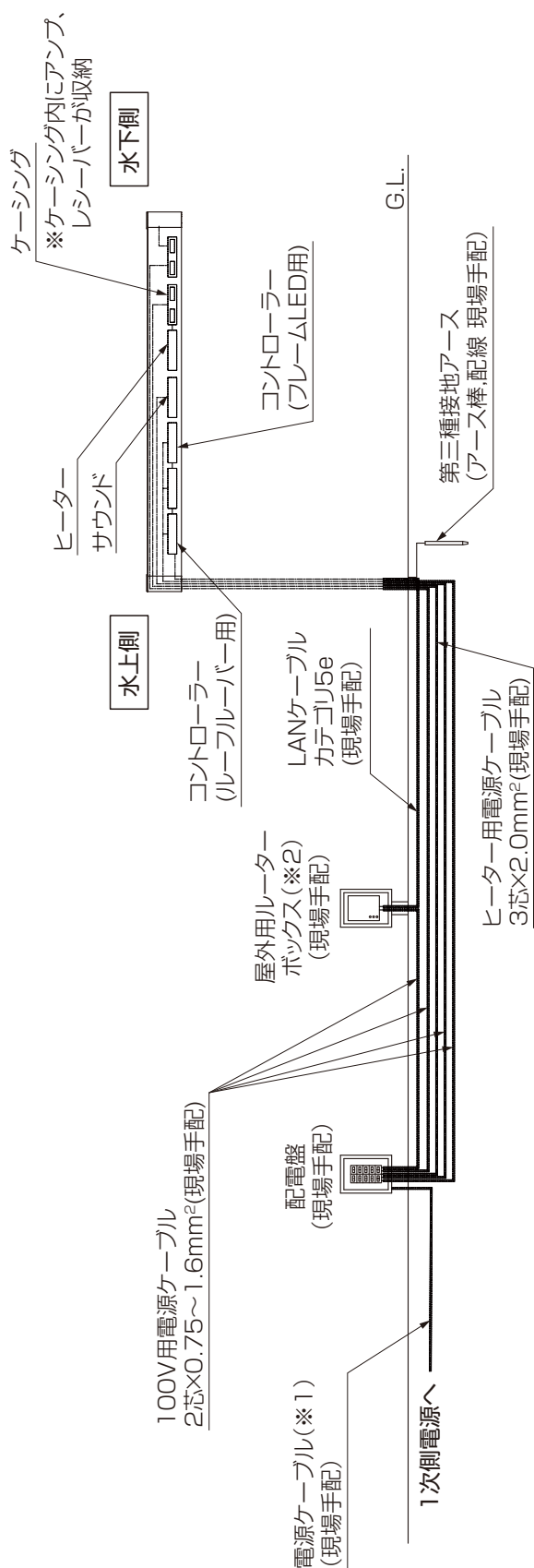
- サウンド&ヒーターは連棟部分(中央部)に設置できません。



1-5 配線接続図



1-6 実体配線図



🔔 お願い

- 配線接続図、及び実体配線図は単体仕様での全オプションを取り付けた場合の推奨配線を図示しています。現場状況に応じて検証してください。
- 1次電源ケーブルは設置する全体構成から必要許容量を検証してください。(※1)
- 本図では屋外にWiFiルーターを設けていますが、製品を操作する位置からルーターに電波が繋がれば屋内のルーターを使用する事で操作は可能です。(※2)

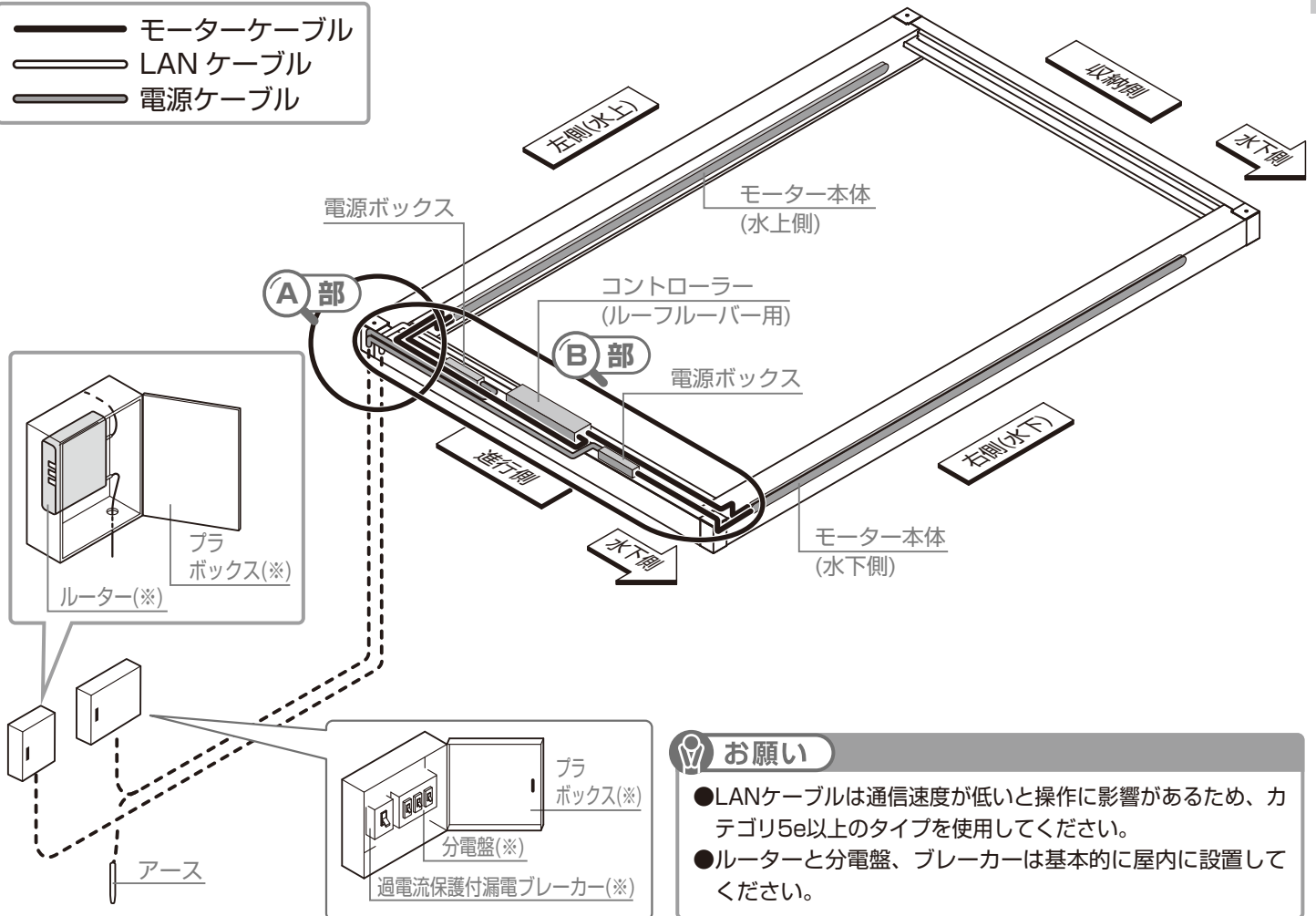
1 施工前の重要確認事項

1-7 配管工事

🔦 お願い

- (※)記載のあるルーター、LANケーブル (カテゴリ5e以上)、プラボックス、分電盤、アース棒、電源ケーブル、過電流保護付漏電ブレーカーは現場手配をしてください。

- モーターケーブル
- LANケーブル
- 電源ケーブル

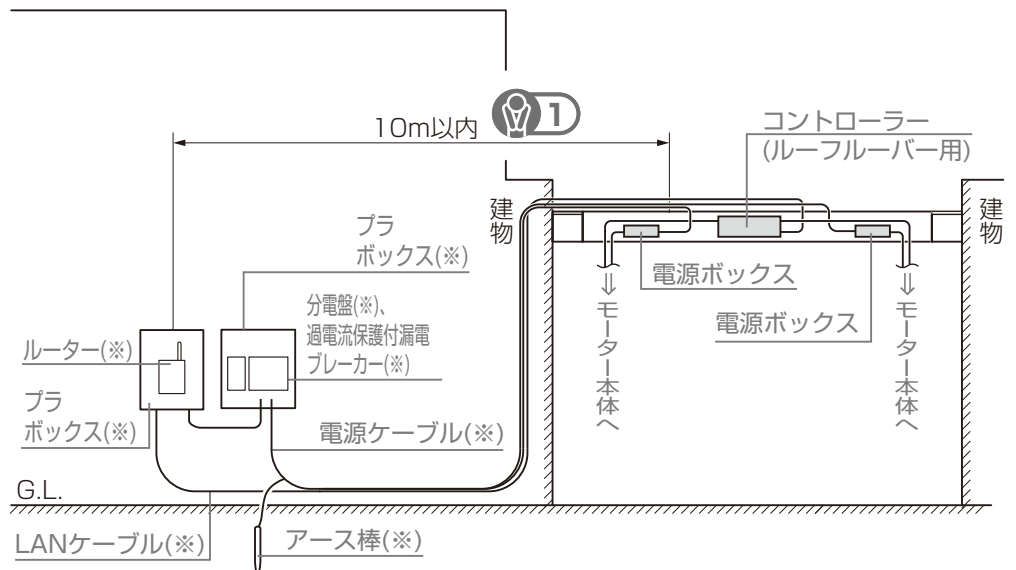


🔦 お願い

- LANケーブルは通信速度が低いと操作に影響があるため、カテゴリ5e以上のタイプを使用してください。
- ルーターと分電盤、ブレーカーは基本的に屋内に設置してください。

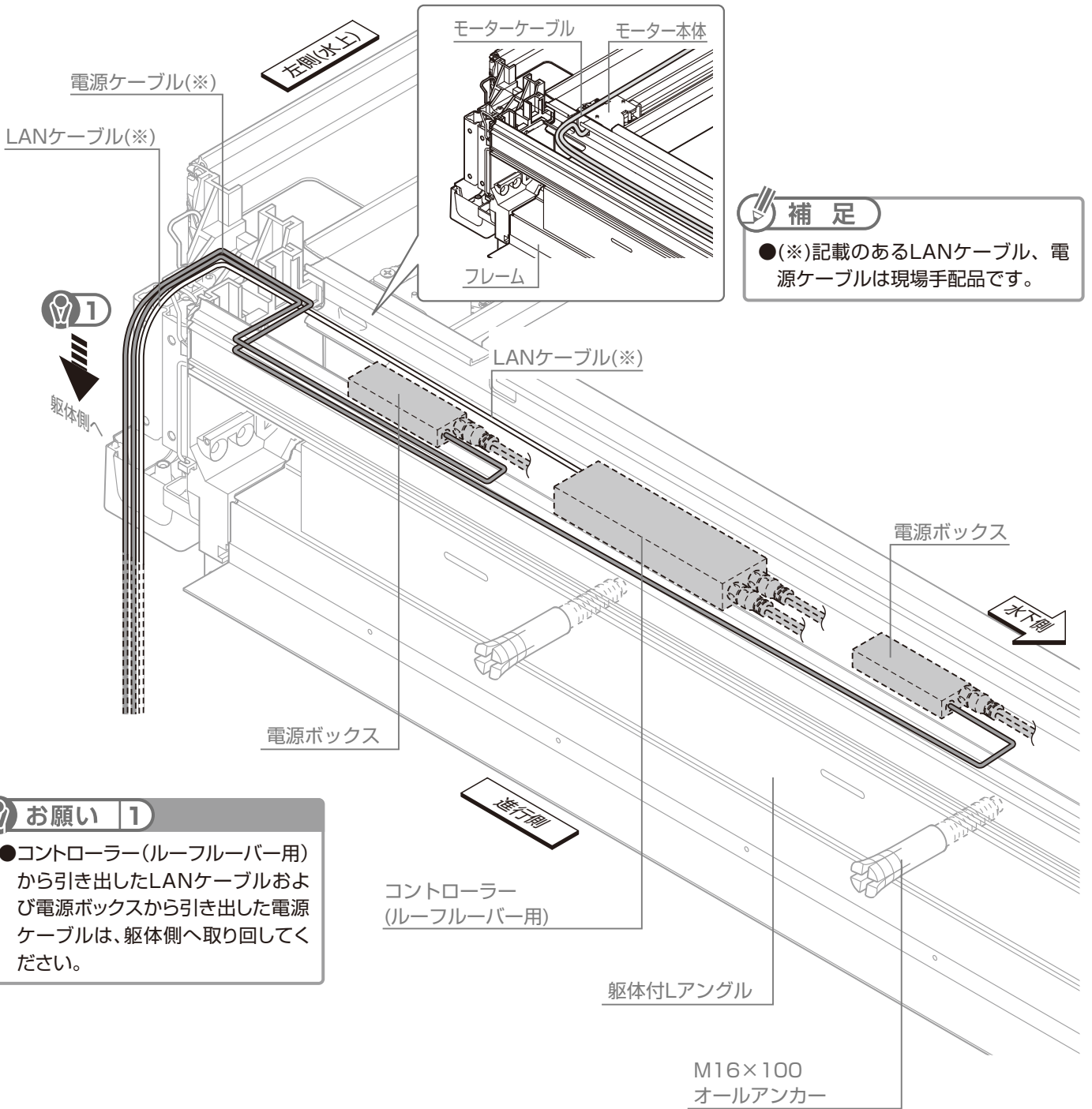
🔧 補足

- プラボックスを屋外に設置する場合は、防水プラボックスを使用してください。



1-7 配管工事

A B 部詳細図



補足

●(※)記載のあるLANケーブル、電源ケーブルは現場手配品です。

お願い 1

●コントローラ(ルーフレバー用)から引き出したLANケーブルおよび電源ボックスから引き出した電源ケーブルは、躯体側へ取り回してください。

1-8 雨樋の接続

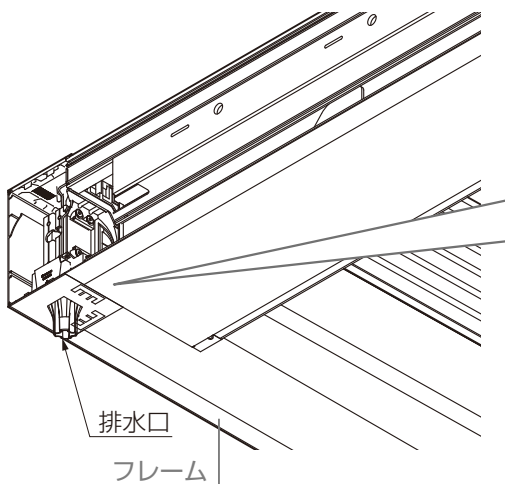
補足

- 排水溝の種類は製品発注時に選択します。
- 雨樋は水下側に2箇所必要となります。

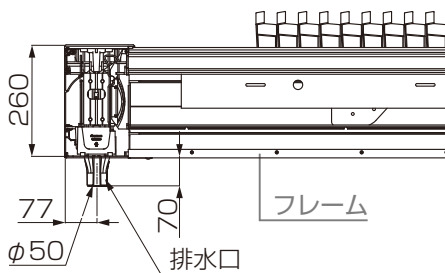
お願い

- 各排水口は建物側の排水部と接続してください。

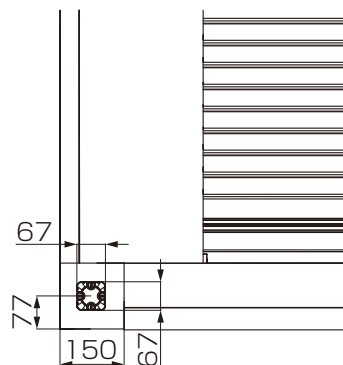
▼ コーナー排水の場合 ▼



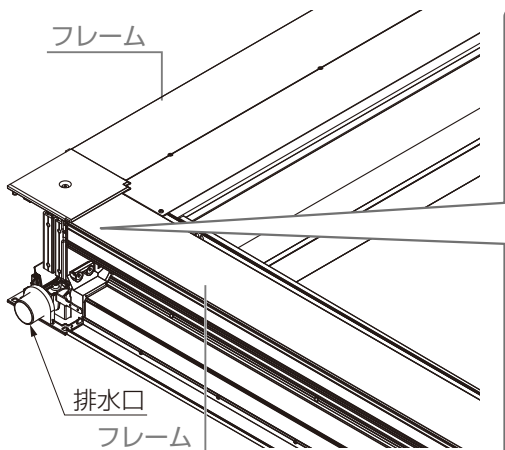
●正面図



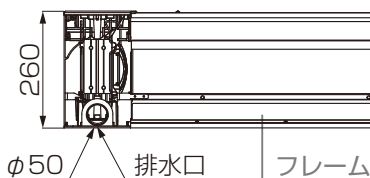
●下面図



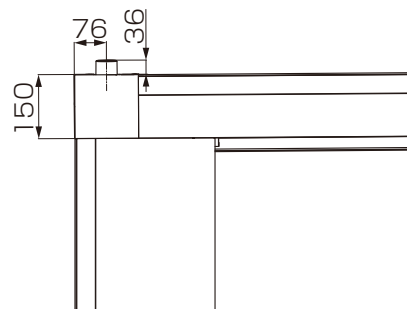
▼ 躯体側への排水の場合 ▼



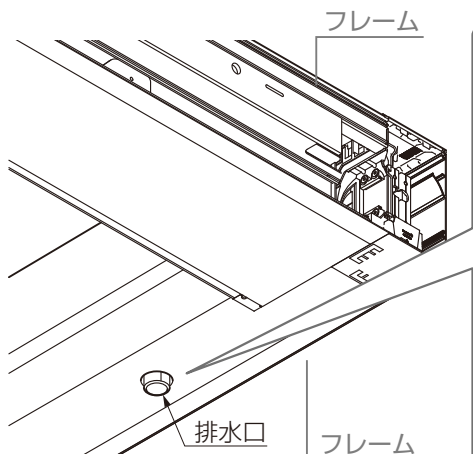
●正面図



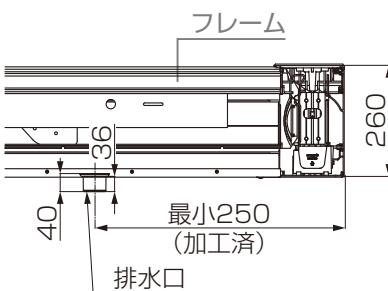
●下面図



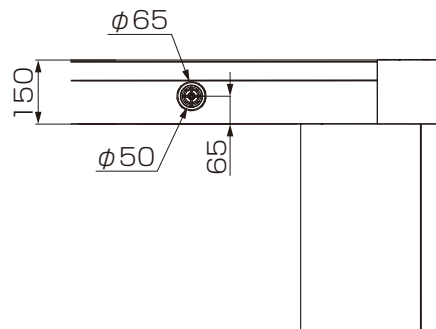
▼ フレーム中間部からの排水の場合 ▼



●正面図



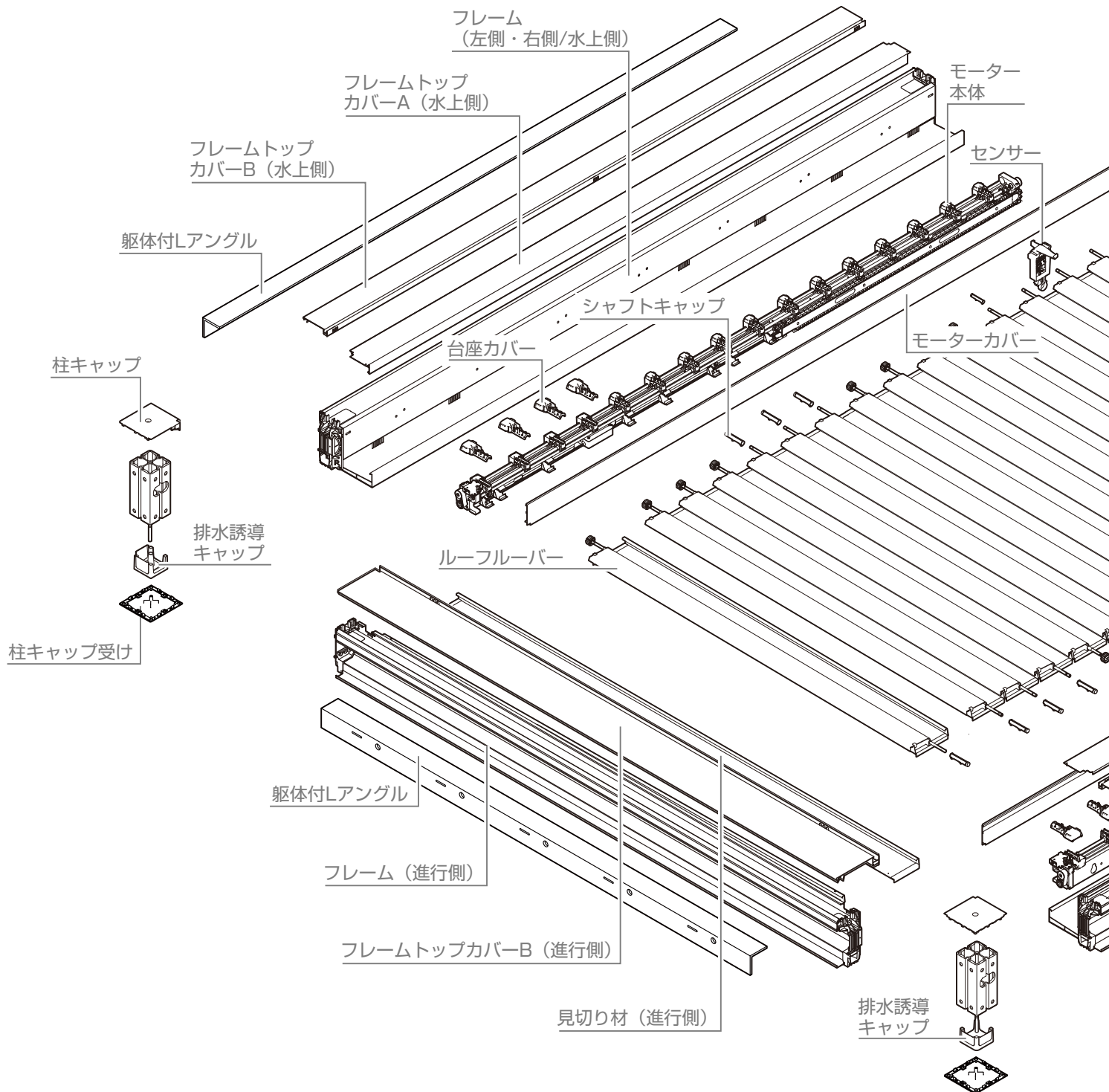
●下面図

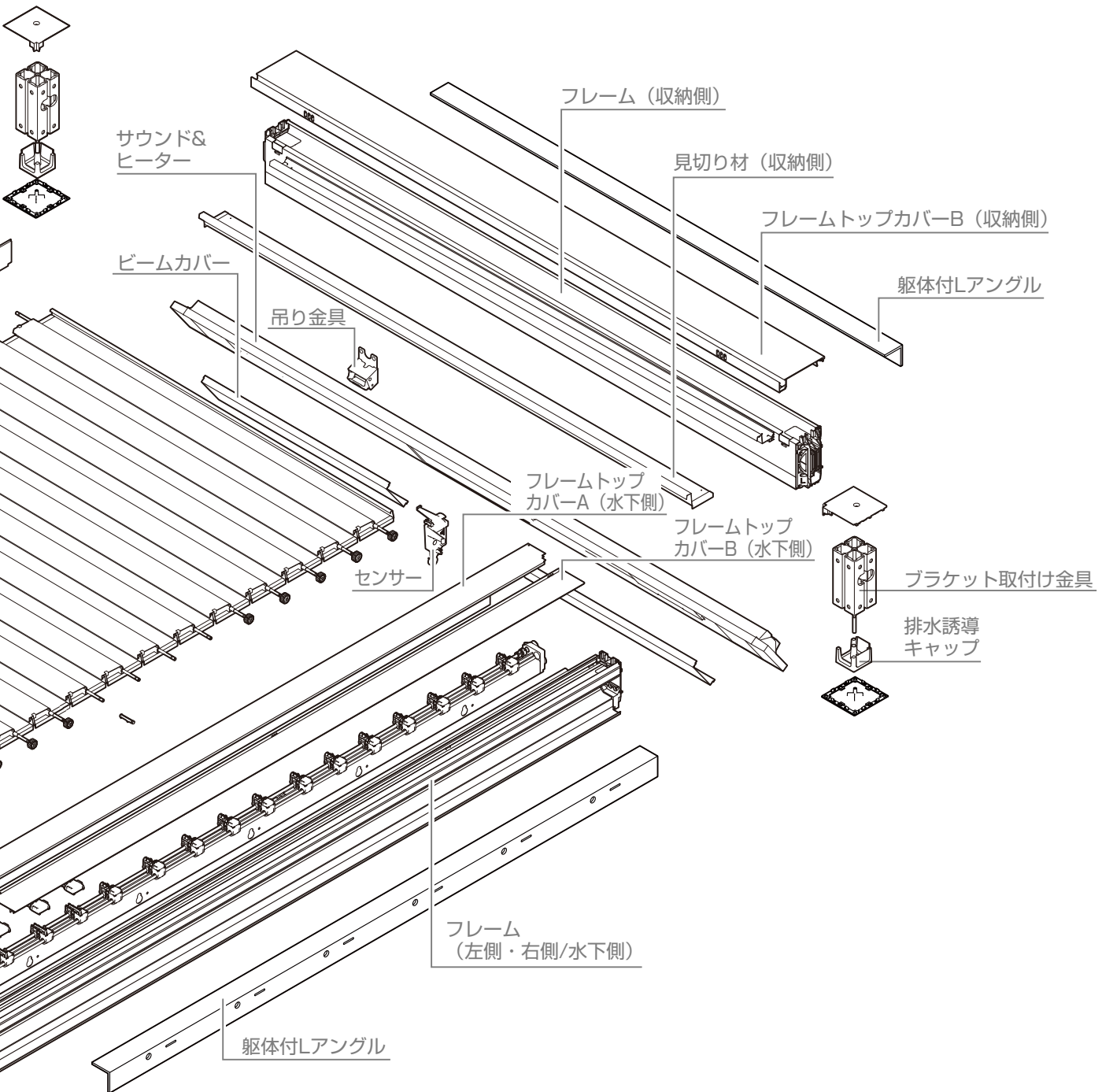


2 各部名称

2-1 本体の各部名称

2
各部名称





3 施工フロー

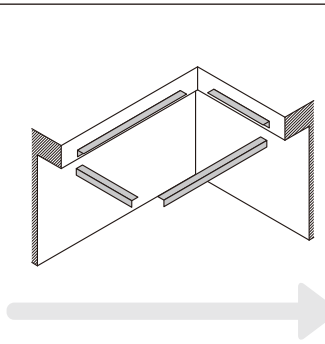
8 本体の施工

8-2 躯体付Lアングルの取付け

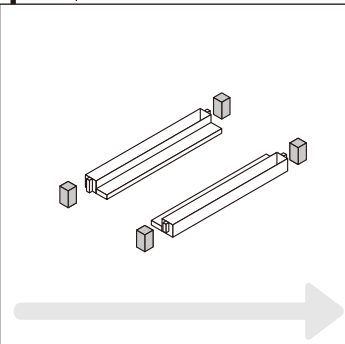
8-3 フレームの取付け

8-3 フレームの取付け

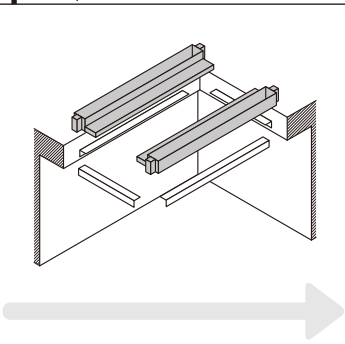
8-3 フレームの取付け



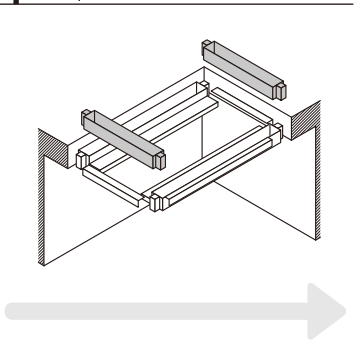
8-3-1 ブラケット取付け金具の取付け



8-3-2 フレームの取付け (水上、水下側)



8-3-3 フレームの取付け (収納側、進行側)



8-3 フレームの取付け

8-3 フレームの取付け

8-3 フレームの取付け

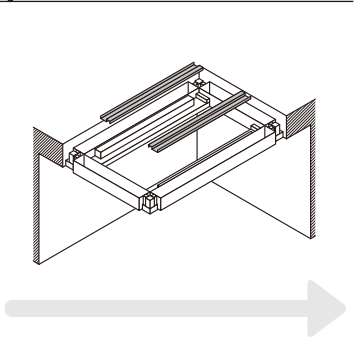
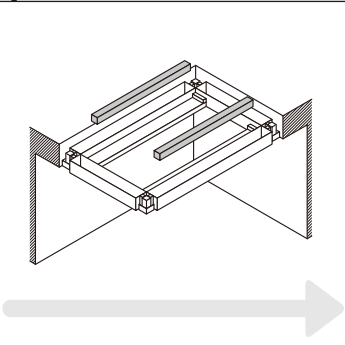
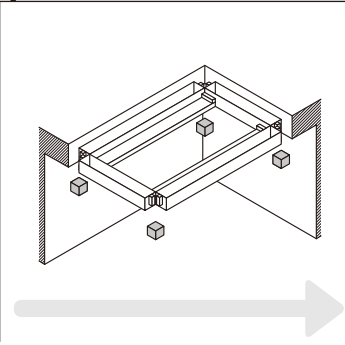
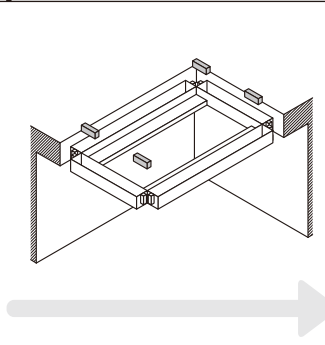
8-3 フレームの取付け

8-3-4 シーリング部品の取付け

8-3-6 排水キャップ、排水誘導キャップの取付け

8-3-9 モーター本体の取付け

8-3-10 金網ネットの取付け



8-4 電源ケーブルとネットワークケーブルの接続

8-5 スマホによる初期設定

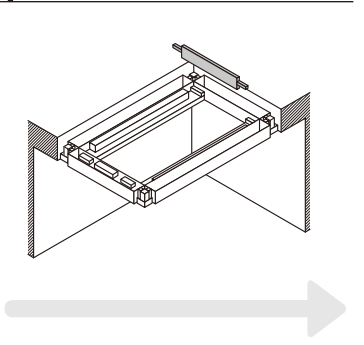
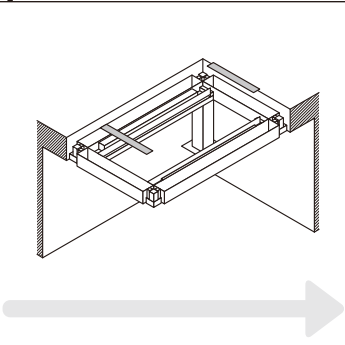
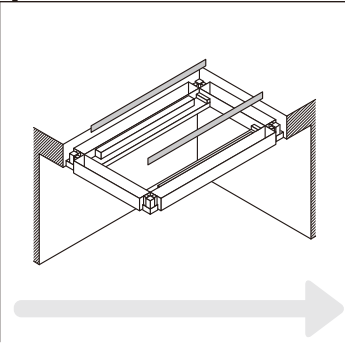
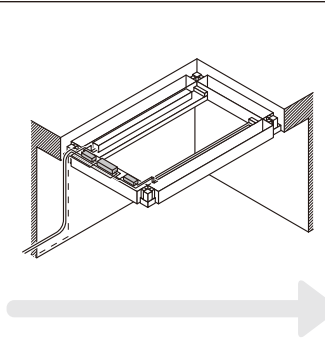
8-5 スマホによる初期設定

8-5 スマホによる初期設定

8-5-3 モーターカバーの取付け

8-5-4 見切り材の取付け

8-5-6 設定用ルーフルーパーの取付け

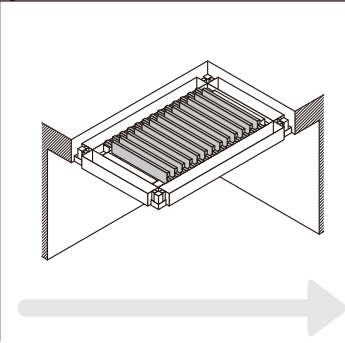
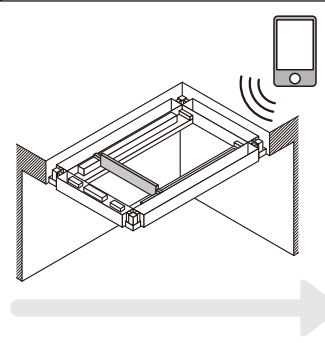


8-5 スマホによる初期設定

8-5 スマホによる初期設定

8-5-10 システムチェック

8-5-13 ルーフルーパーの取付け

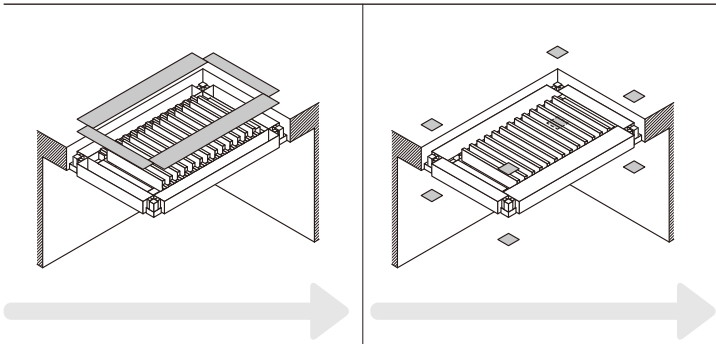


お願い

●電源ケーブルの本数は、オプションの数、種数によって異なります。P4を参照し、事前に必要電力量やケーブル本数を確認しておいてください。

10-1 トップカバーの取付け

10-3 柱キャップと柱キャップ受けの取付け

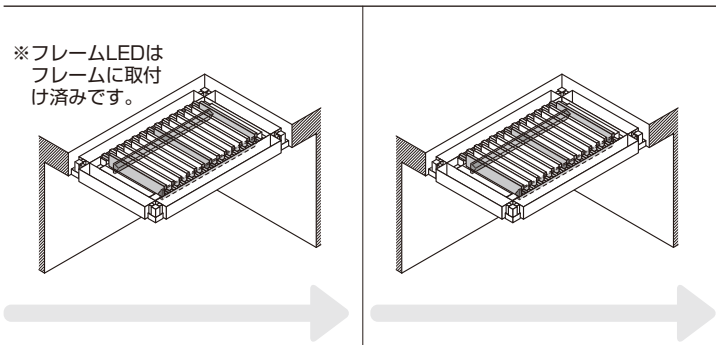


9 オプションの施工

9-1 フレームLEDの取付け

9-2 LEDの初期設定

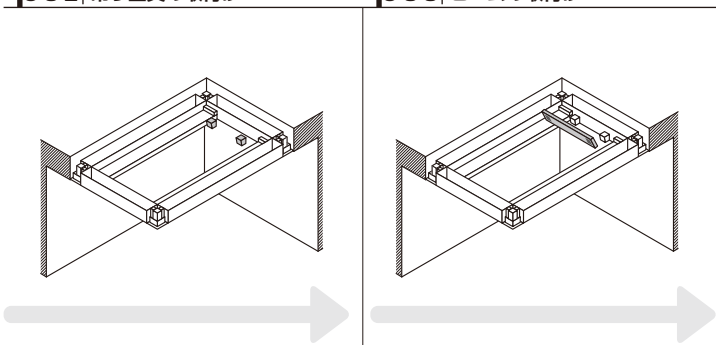
※フレームLEDは
フレームに取付
け済みです。



9-3 サウンド&ヒーターの取付け

9-3-2 吊り金具の取付け

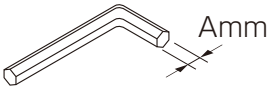
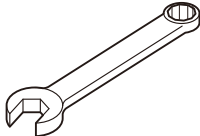
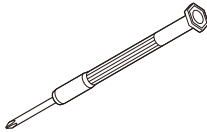
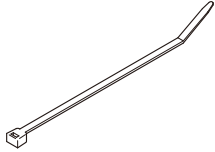
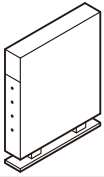

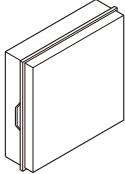
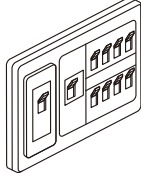
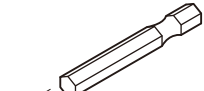
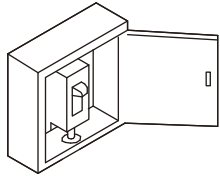
9-3-3 ビームの取付け



4 現場手配品と特殊工具

🔧 お願い

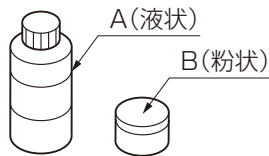
●本製品を施工する際は下記を準備しておいてください。

六角レンチ  A=3,4,5 (3:M5用、4:M6用、5:M8用)	スパナ (13mm) 	精密ドライバー (+) 	結束バンド (約10本) 
ルーター 	LANケーブル  ・カテゴリ 5e 以上 ・薄型フラットケーブルは使用不可	プラボックス 	分電盤 
六角ビット  A=3,4,5 (3:M5用、4:M6用、5:M8用)			過電流保護付漏電ブレーカー 

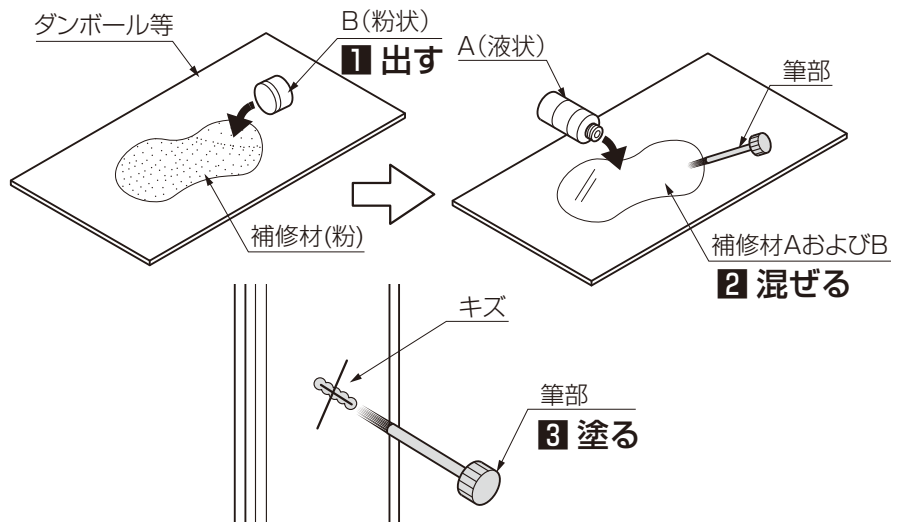
4 現場手配品と特殊工具

🔧 補足

●製品にキズが付いてしまった場合は、付属の補修液を使用してください。



- ❶: Bの粉をダンボール等に適量出す
- ❷: Aの液体とBの粉を混ぜ合わせる
- ❸: よく混ぜ合わせた補修液を、筆でキズなどの補修箇所に塗る



5 基本寸法

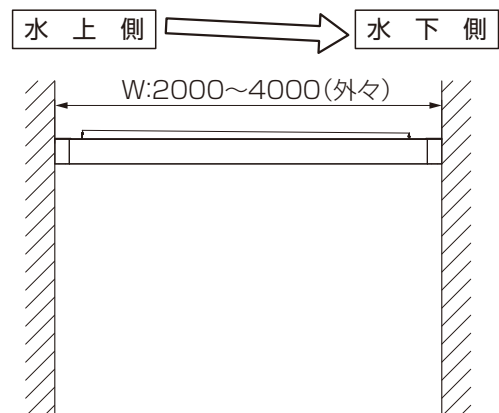
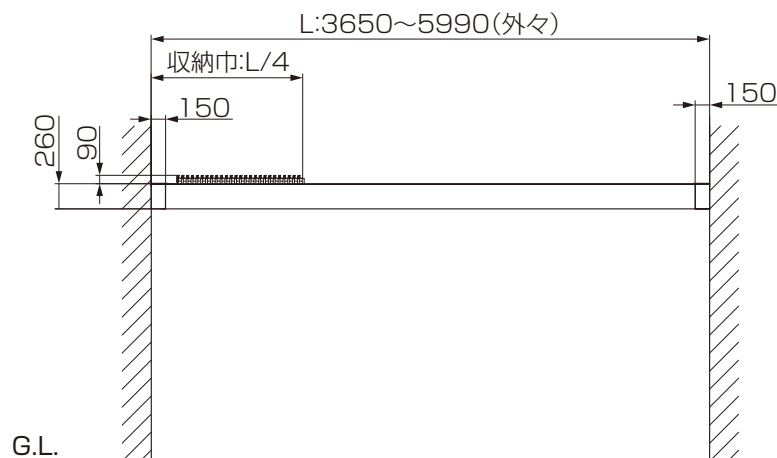
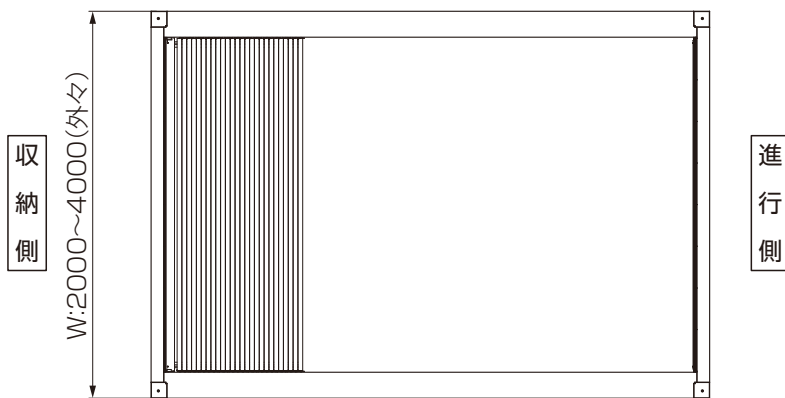
5-1 単体

●使用主部材断面一覧

フレーム(水上/水下)	フレーム(進行/収納)	ルーフルーバー

補足

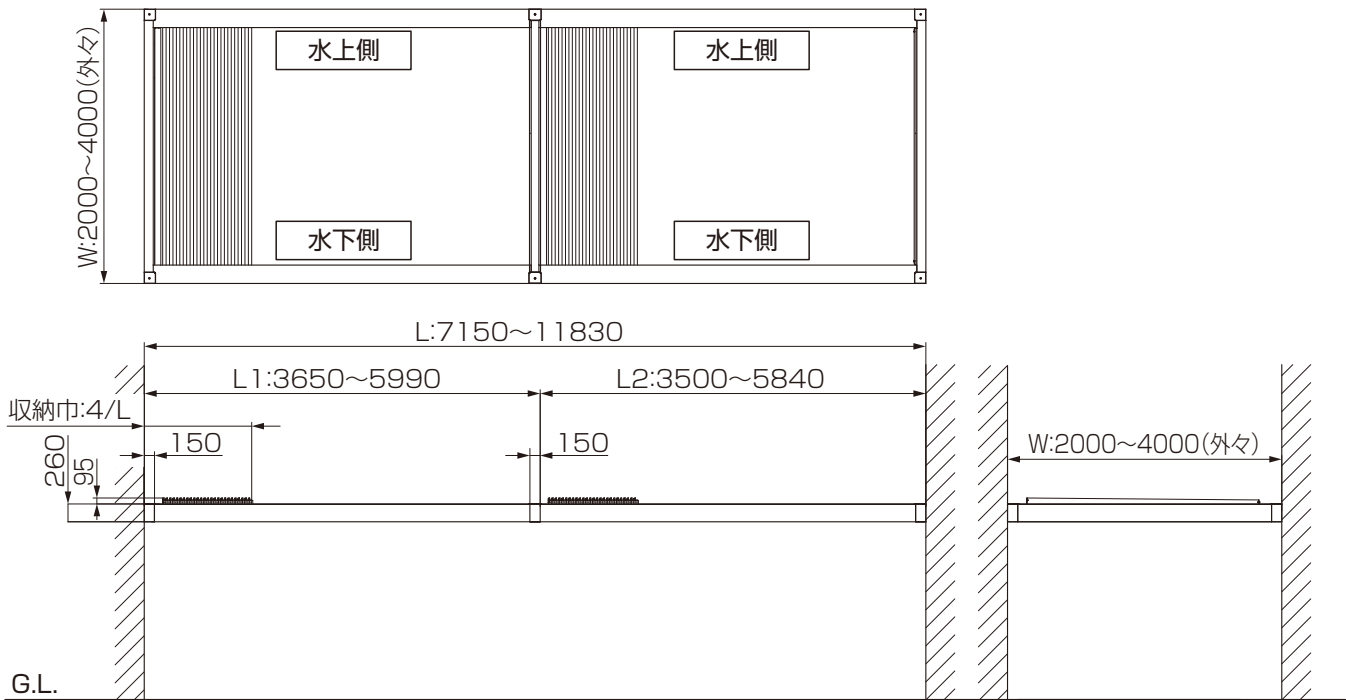
- W、L、H寸法は1mm単位でオーダー可能です。
- 屋根部は約1~3°の勾配がつきます (W寸法によって変動)。



5 基本寸法

5-2 連棟

5-2-1 L連棟



5

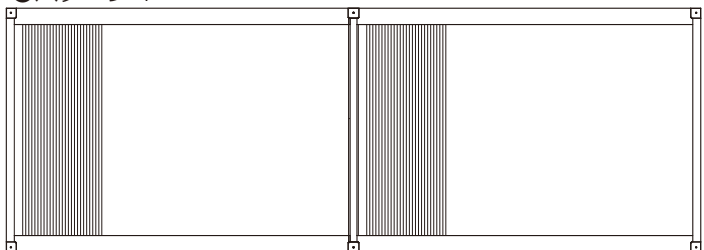
基本寸法

補足

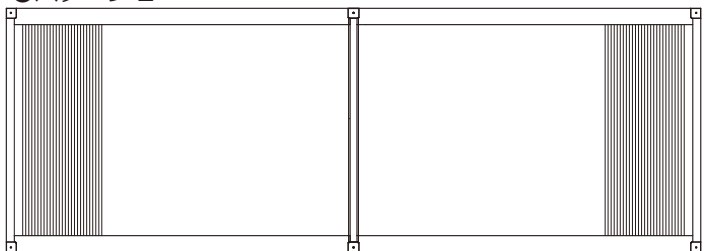
- L寸法が同サイズの場合のみ連棟が可能です。サイズが異なる連棟はできません。
- 連棟は最大で3連棟まで可能です。
- 連棟時は、水上または水下側を上図のように同一方向に合わせる必要があります。
- 連棟時の収納部の位置は、右図のようなパターンがあります。

【連棟時の収納パターン】

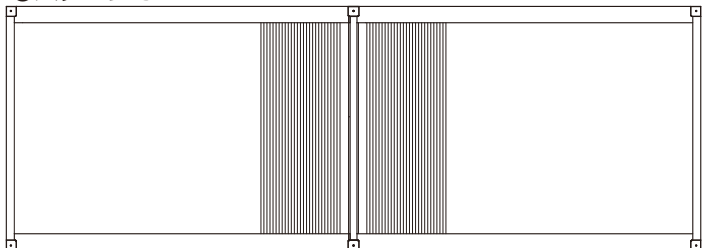
●パターン1



●パターン2

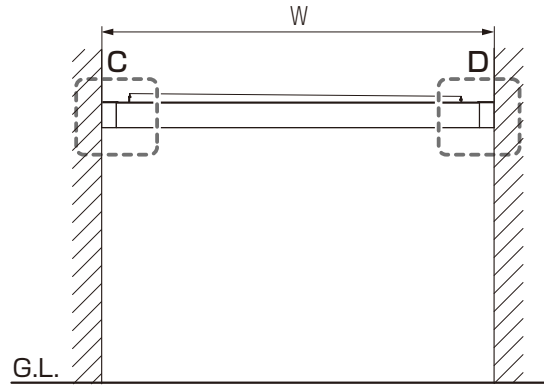
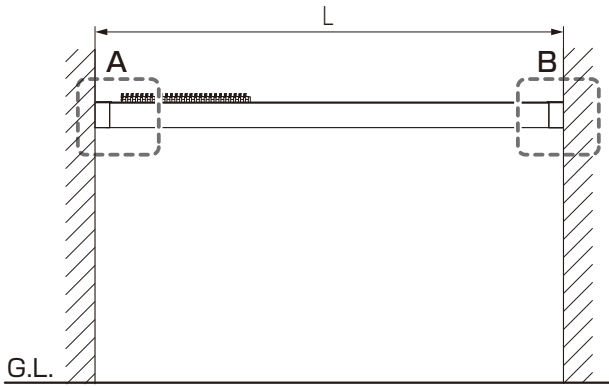


●パターン3

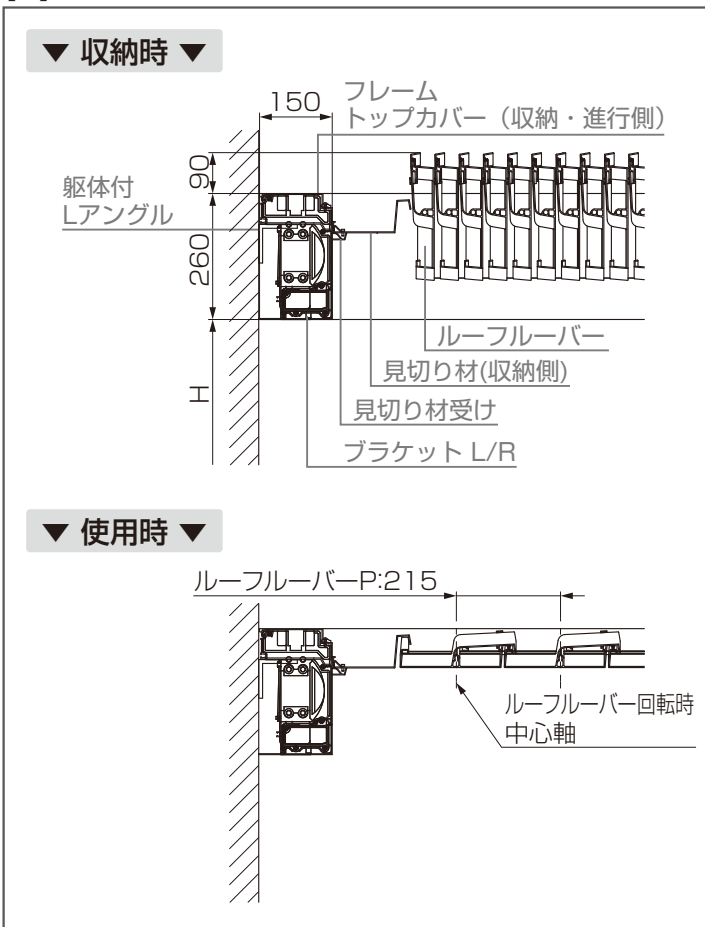


6 納まり図

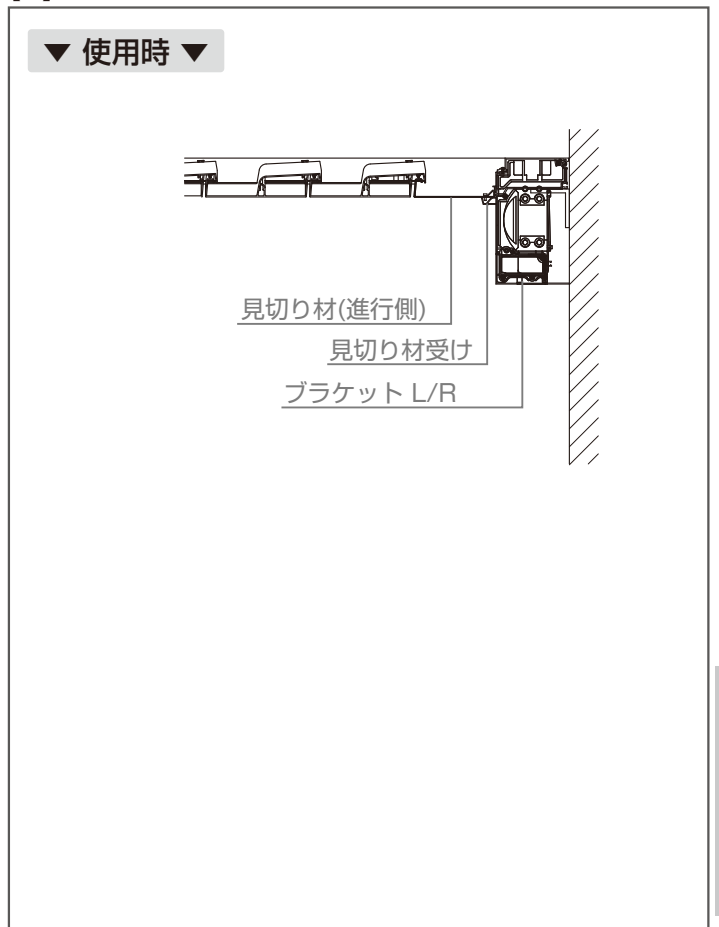
6-1 基本納まり図



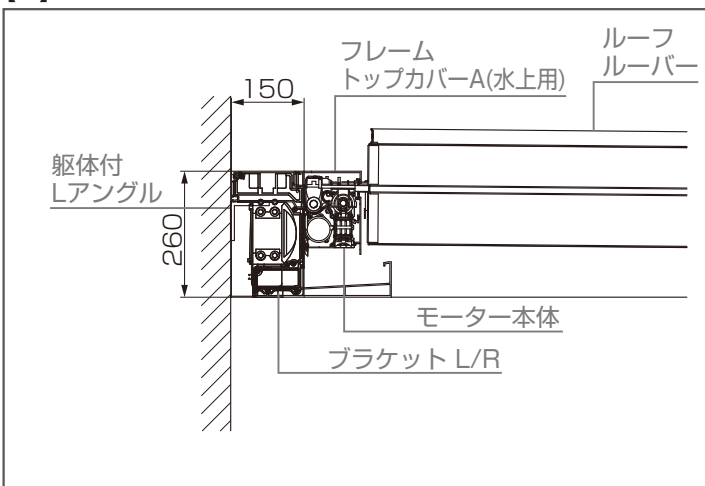
[A]



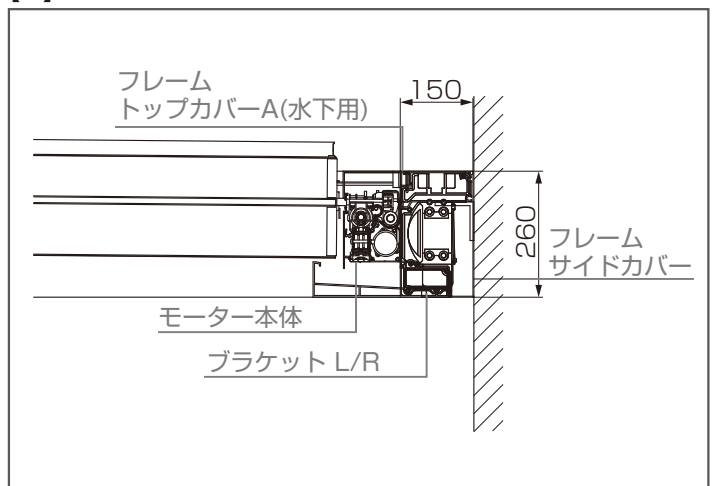
[B]



[C]



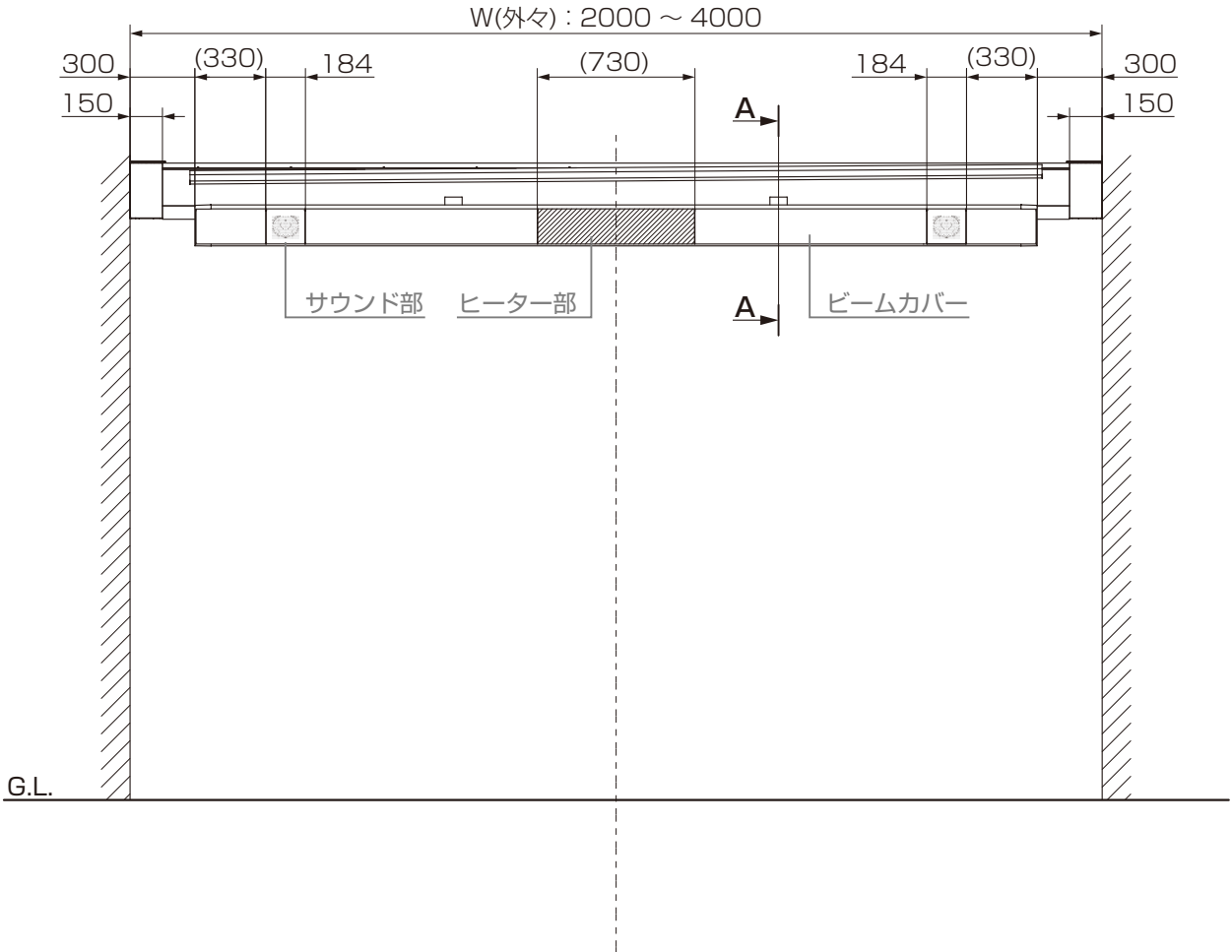
[D]



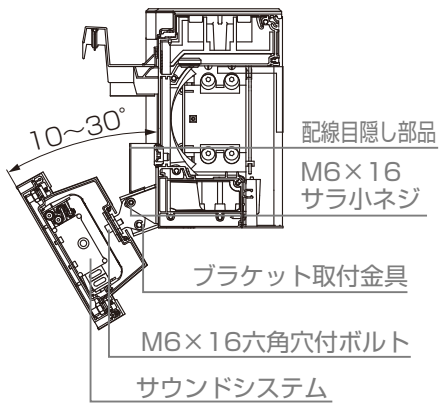
6-2 サウンド&ヒーター納まり図

お願い

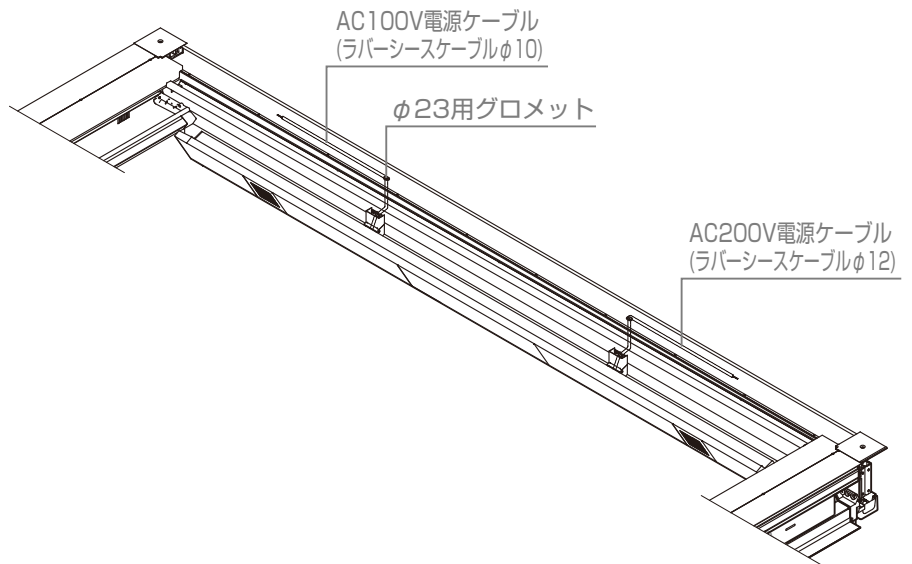
- サウンド&ヒーターはW側のフレームにのみ取付可能です。
- サウンド及びヒーターの組み合わせによる最小寸法での製作制限は以下の通りです。
サウンドのみ：2390mm～、ヒーターのみ：2390mm～、サウンド&ヒーター：3155mm～



●A-A断面図



●配線取り回し図



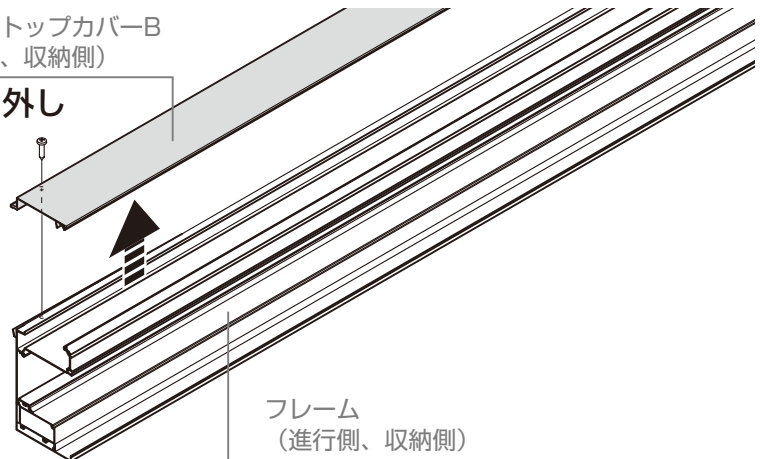
7 施工前の準備

7-1 フレームカバーの取り外し

1: フレームトップカバーをフレームから取り外し

フレームトップカバーB
(進行側、収納側)

1 取り外し



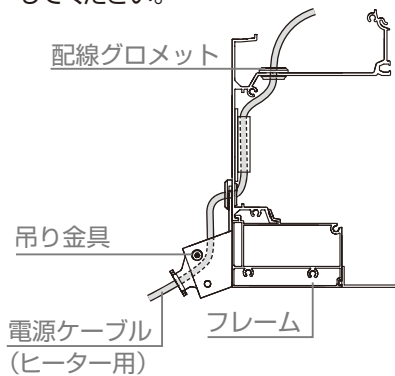
7-2 サウンド&ヒーターの事前準備

7-2-1 ケーブルの配線

3: 電源ケーブルをフレーム(収納側または進行側)の上部から取り回す

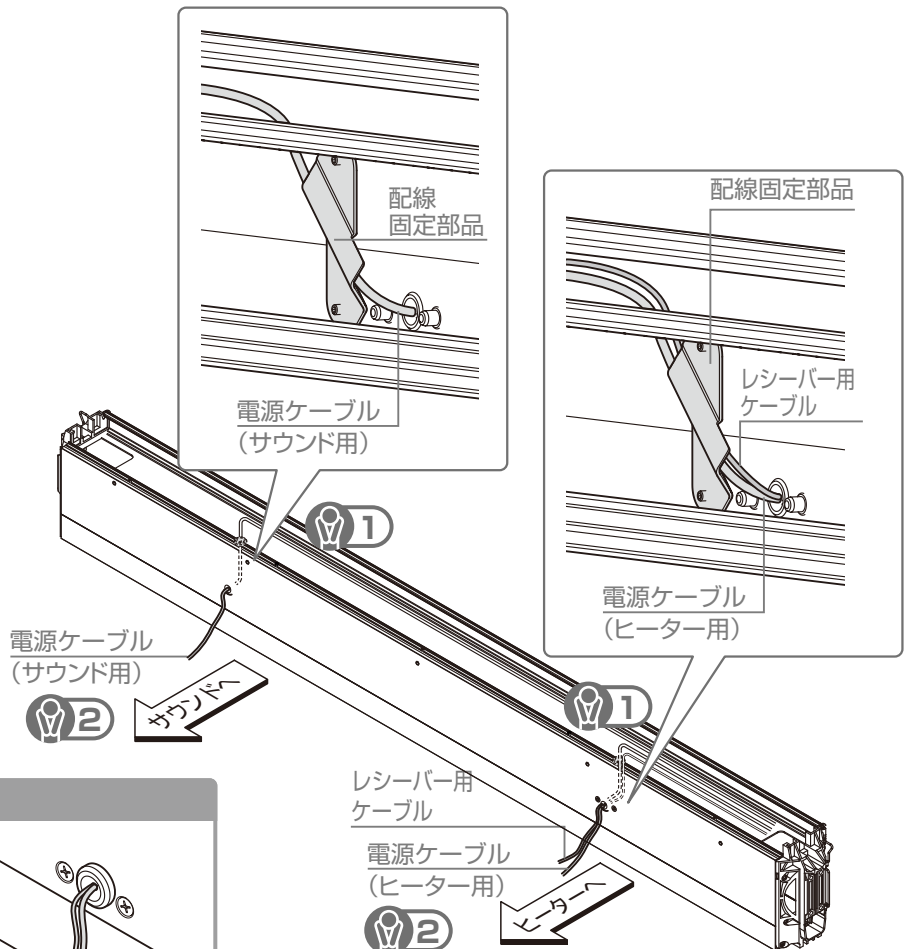
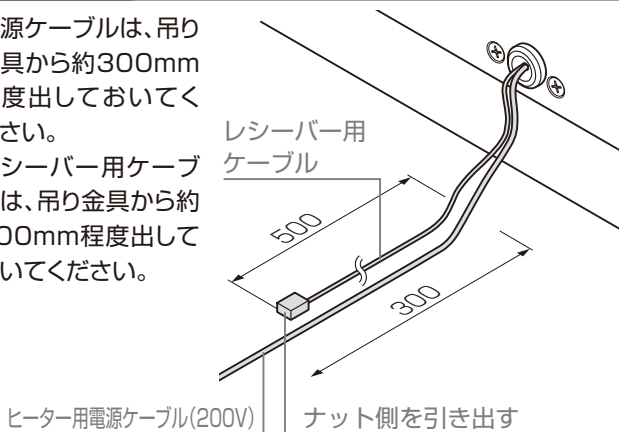
お願い 1

- サウンド用(100V)ケーブルは左側、ヒーター用(200V)、レシーバー用ケーブルは右側の吊り金具へ取り回してください。



お願い 2

- 電源ケーブルは、吊り金具から約300mm程度出しておいてください。
- レシーバー用ケーブルは、吊り金具から約500mm程度出しておいてください。

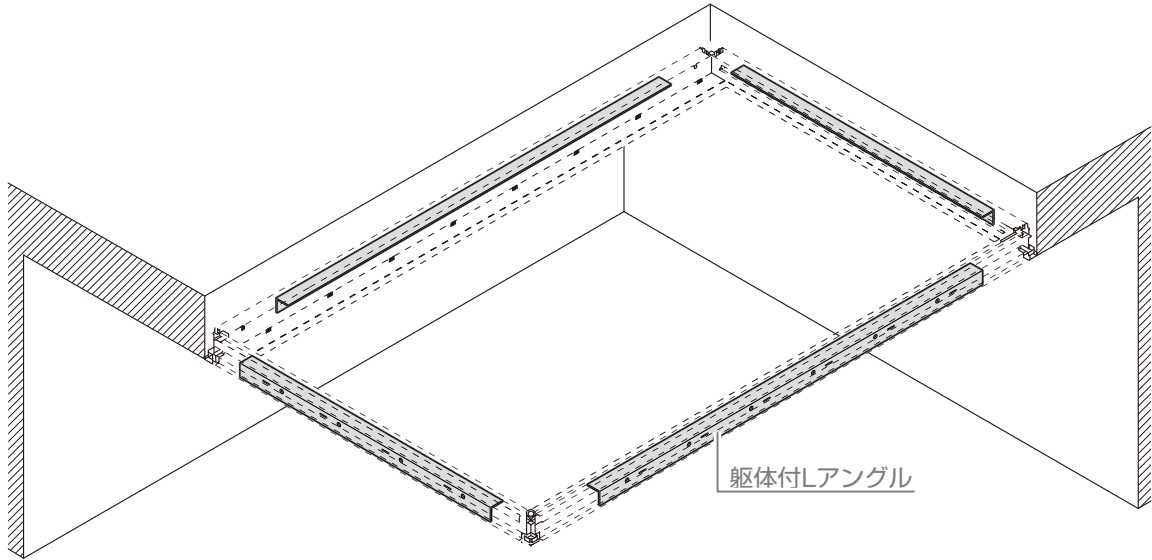


8 本体の施工

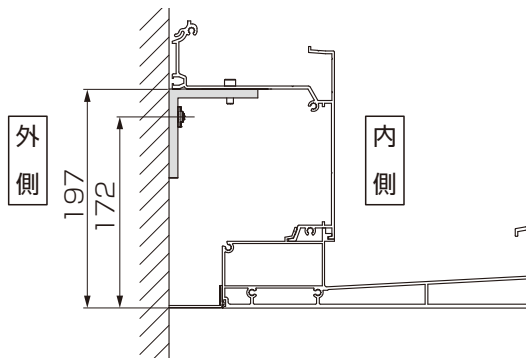
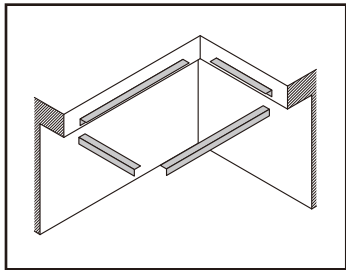
8-1 対角の確認

8-1-1 躯体付Lアングルの確認

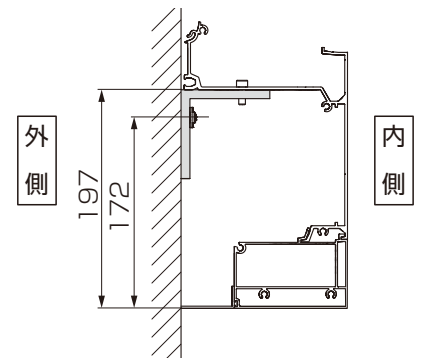
■: 躯体付Lアングル等を位置だし



8-2 躯体付Lアングルの取付け



【フレーム(水上、水下側)】

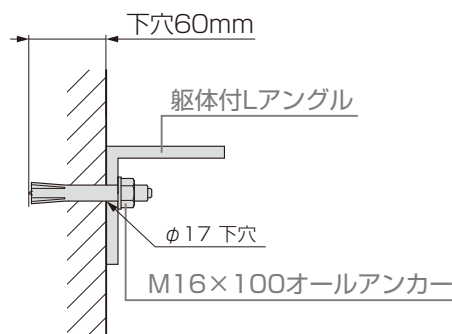


【フレーム(進行、収納側)】

▼ RC構造の場合 ▼

💡 お願い

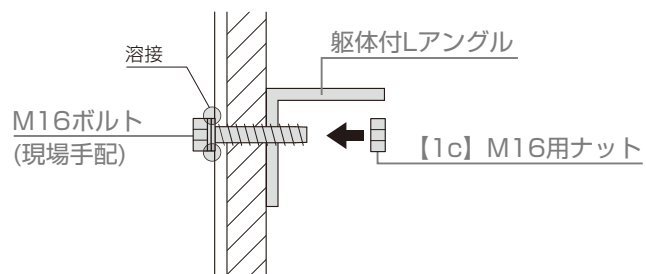
- $\phi 17$ の下穴をあけ、切粉を除去し、取付けてください。
- 同梱の袋ナットを使用する場合、埋め込み深さを調整し、ピンを切断して取付けてください。



▼ 鉄骨構造の場合 ▼

💡 お願い

- 締付けの際、インパクトドライバーを使用しないでください。
- 躯体付けアングルを固定する位置に事前にボルトを準備してください。

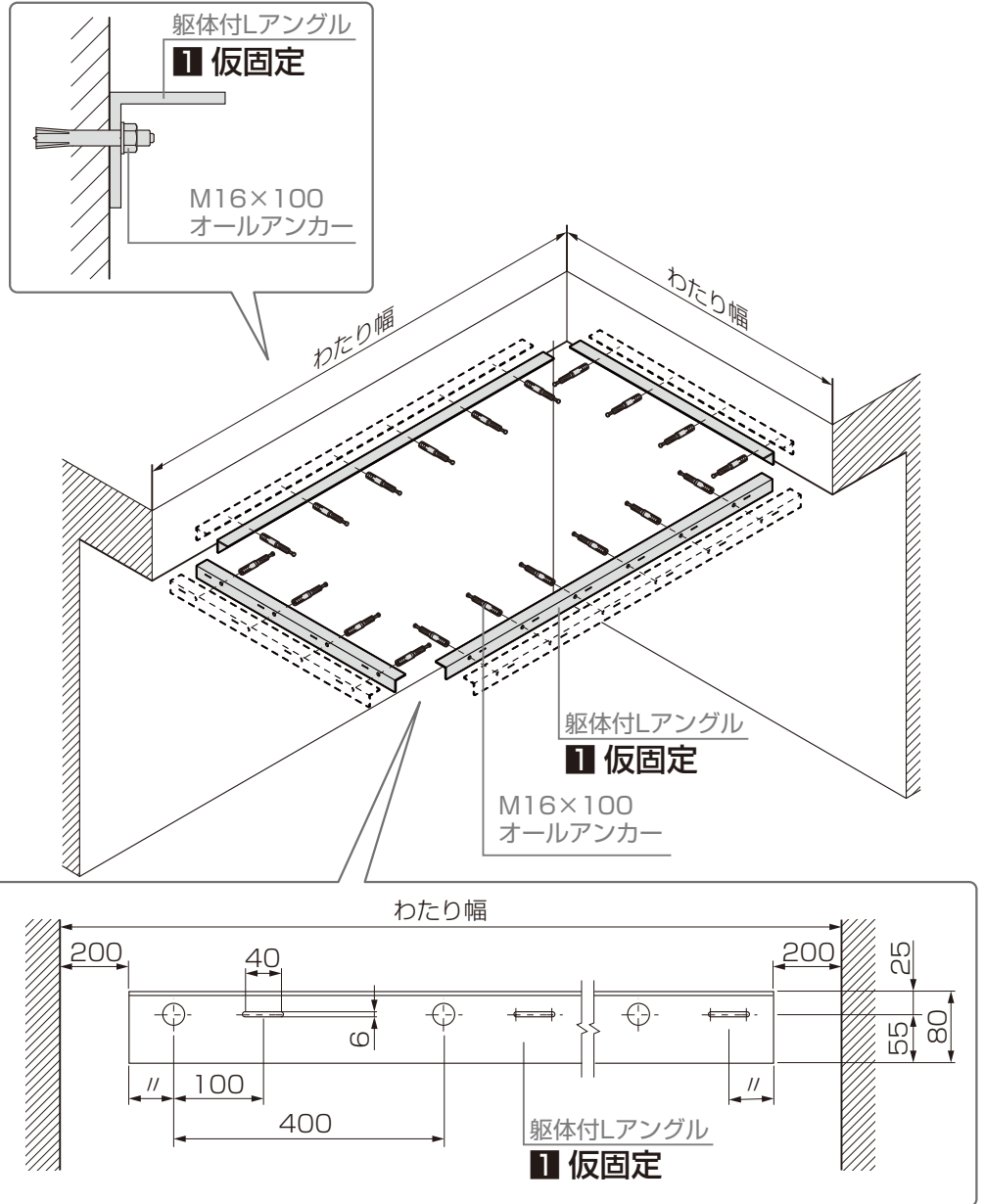


8-2 躯体付Lアングルの取付け

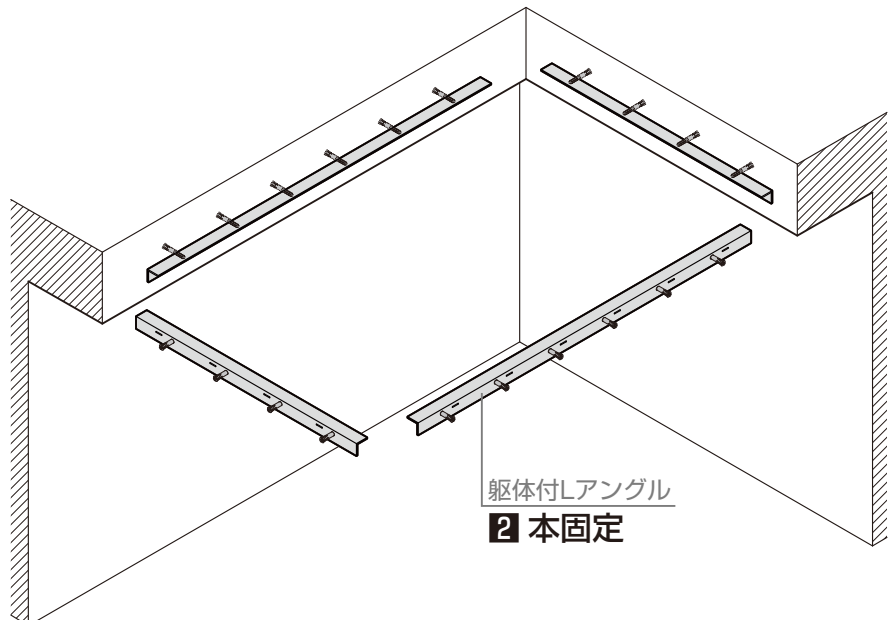
1: 躯体付Lアングルを躯体に【1a】で仮固定

お願い

- 全ての躯体付Lアングルが同じ高さで水平かつ躯体に対し垂直に取り付いていることを確認してください。

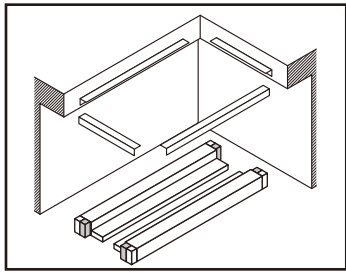


2: 躯体付Lアングルを躯体に本固定

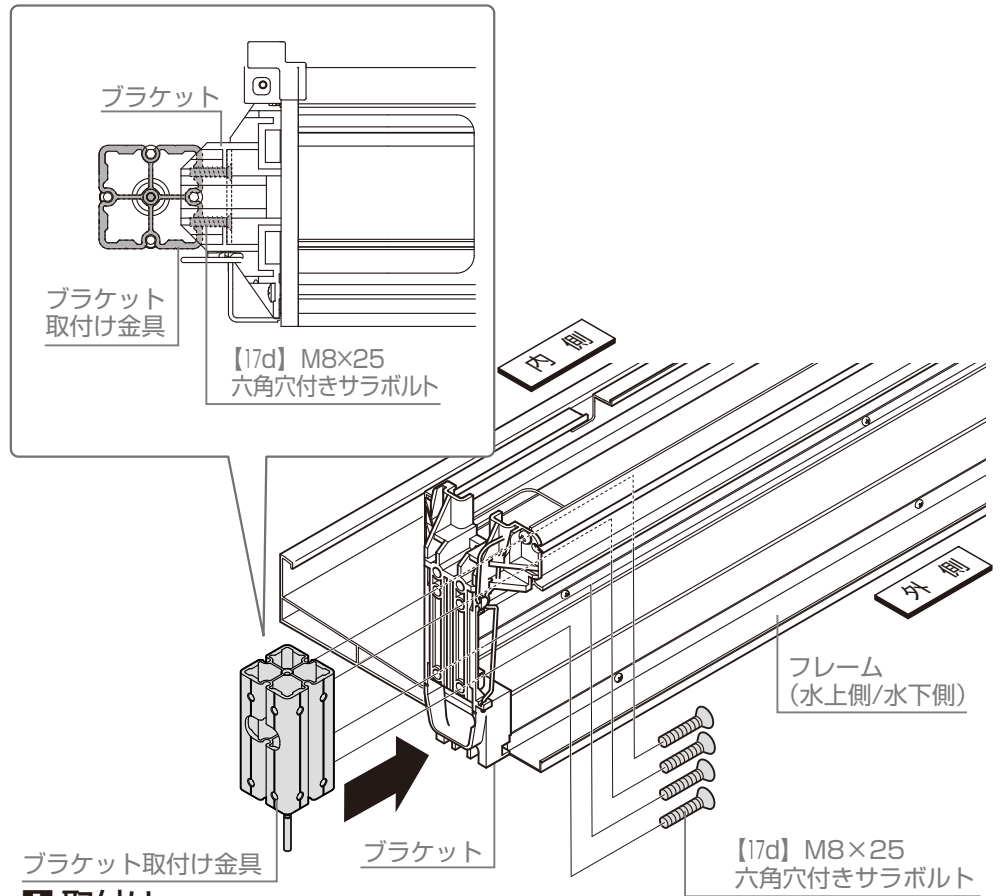


8-3 フレームの取付け

8-3-1 ブラケット取付け金具の取付け

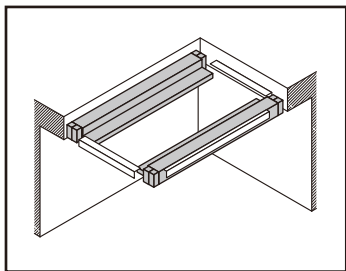


1: ブラケット取付け金具をブラケット (水上側/水下側) に【17d】で取付け



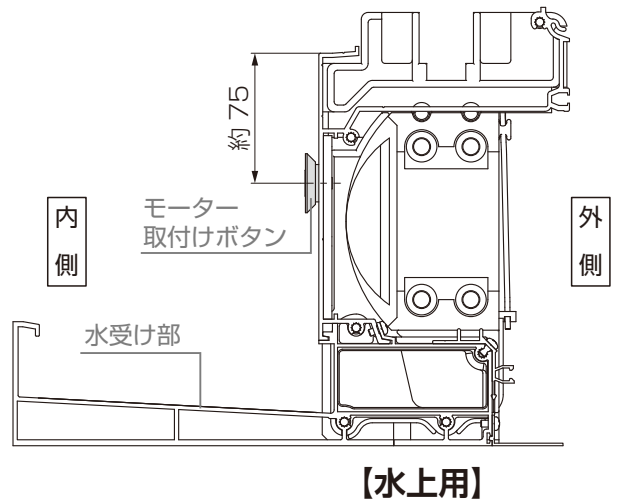
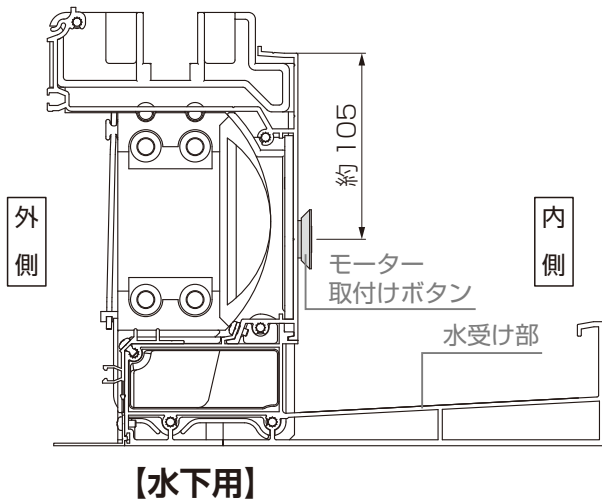
1 取付け

8-3-2 フレームの取付け(水上、水下側)



お願い

- 水上用と水下用では、モーター取付けボタンの位置が違います。フレームに付いているモーター取付けボタンの位置を確認して取付けてください。
- フレームは「水上、水下側」から取付けてください。「収納、進行側」を先に取付けると干渉しフレーム (水上、水下側) が取付けられません。



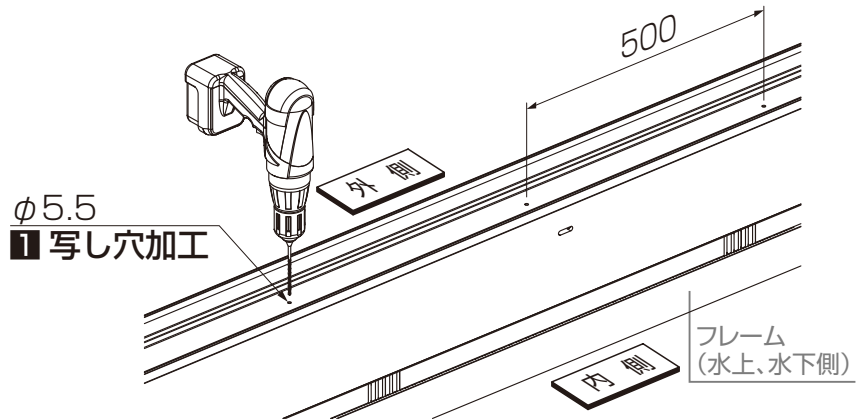
8-3 フレームの取付け

つづき

8-3-2 フレームの取付け(水上、水下側)

つづき

1: フレーム(水上、水下側)の穴を使い躯体付Lアングルにφ5.5の写し穴加工



2: フレーム(水上、水下側)を躯体付Lアングルに【17j】で取付け

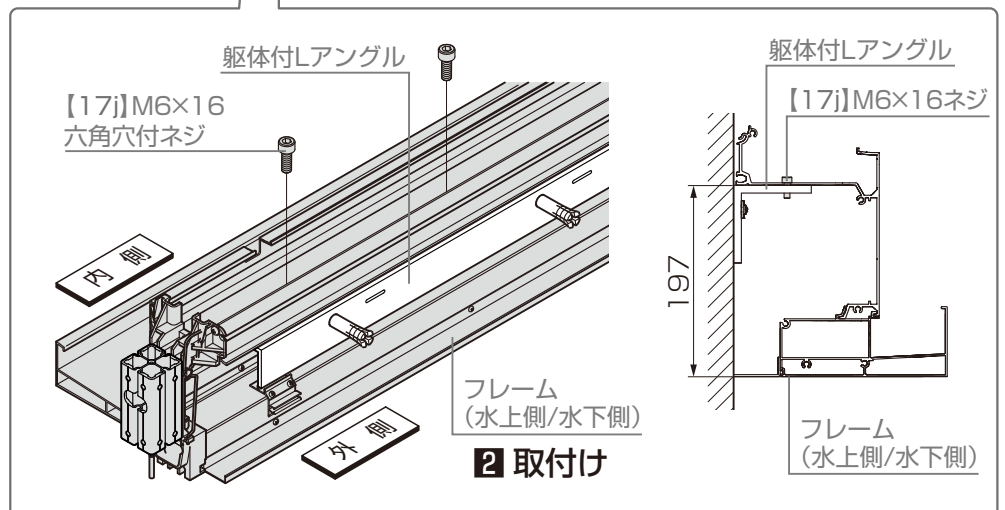
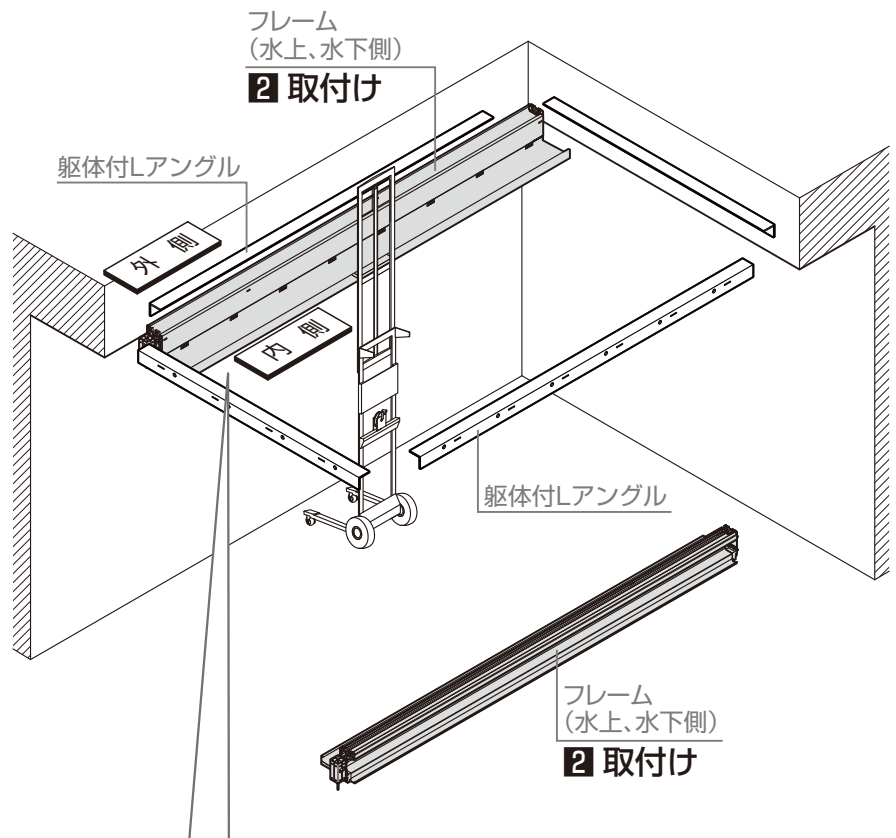
お願い

▼フレームLEDを取付ける場合▼

- 雨水の浸入を防ぐため、LEDの上面とフレームの接続部を養生してください。

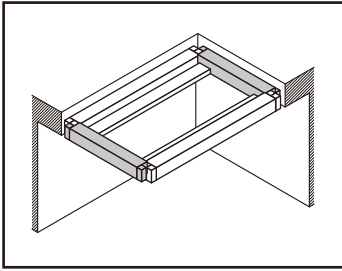
フレームLED
養生テープ

- すべての施工が完了したらはがしてください。



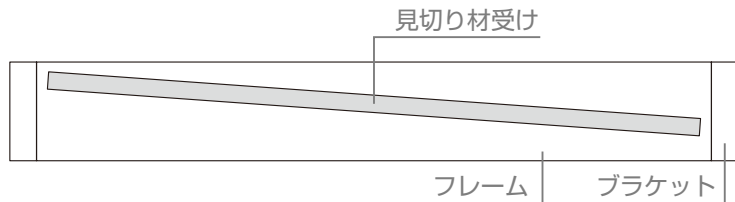
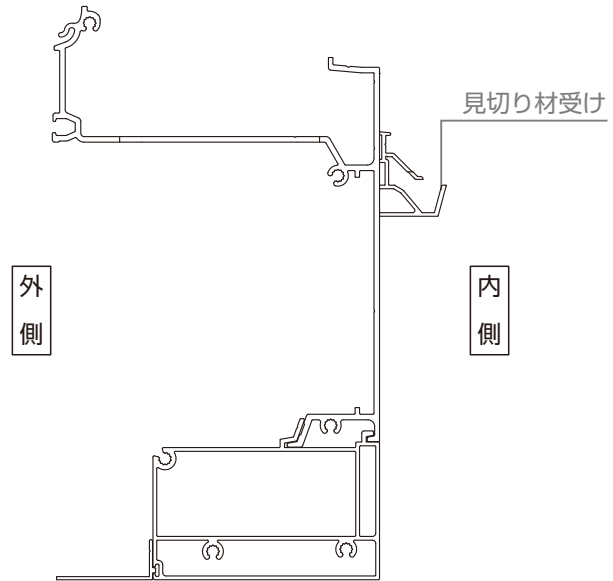
8-3 フレームの取付け

8-3-3 フレームの取付け(収納側、進行側)

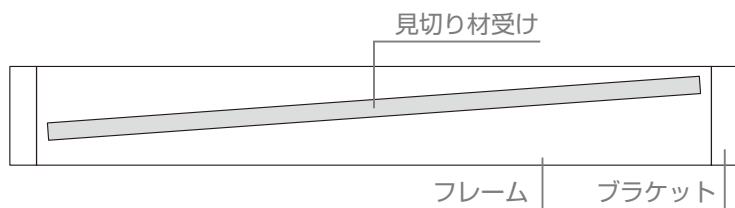


お願い

- 右勾配用と左勾配用では、見切り材受けの向きが違います。フレームに付いている見切り材受けの向きを確認して取付けてください。
- フレームは「水上、水下側」から取付けてください。「収納、進行側」を先に取付けると干渉しフレーム（水上、水下側）が取付けられません。



【右勾配用】



【左勾配用】

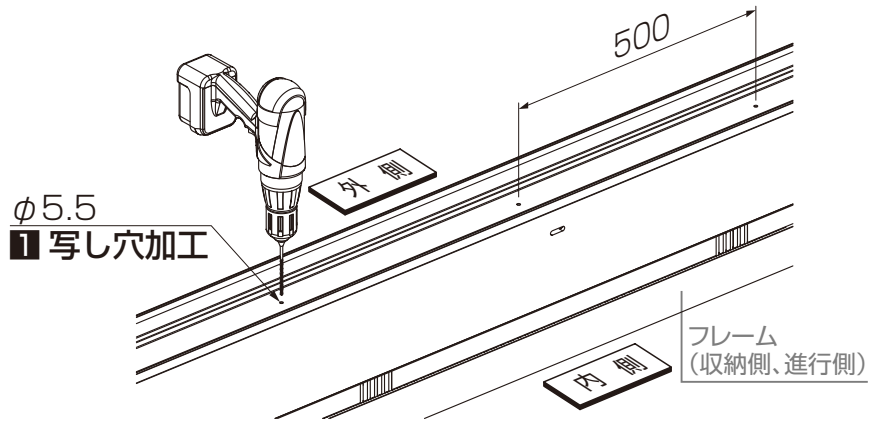
8-3 フレームの取付け

つづき

8-3-3 フレームの取付け(収納側、進行側)

つづき

1: フレーム(収納側、進行側)の穴を使い
躯体付Lアングルにφ5.5の写し穴
加工

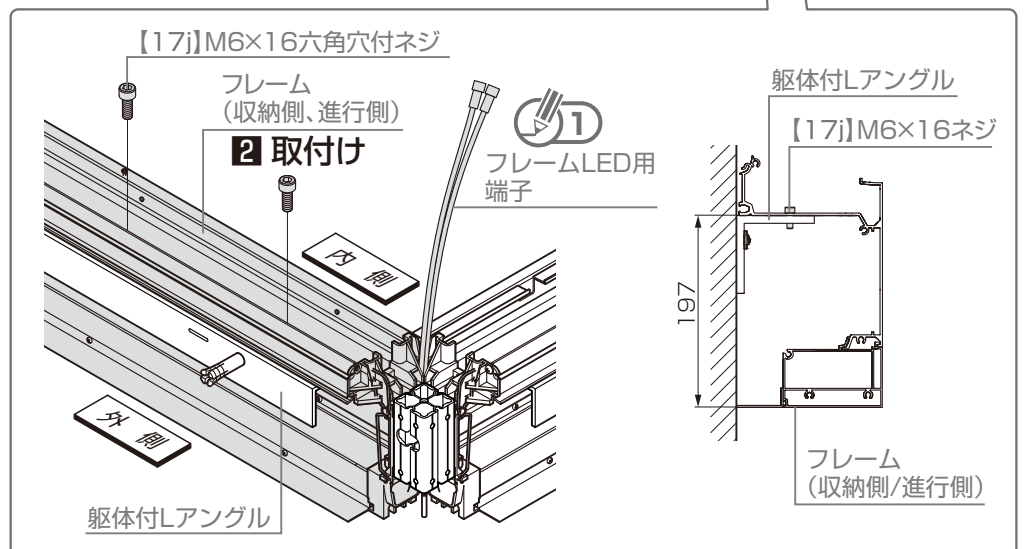
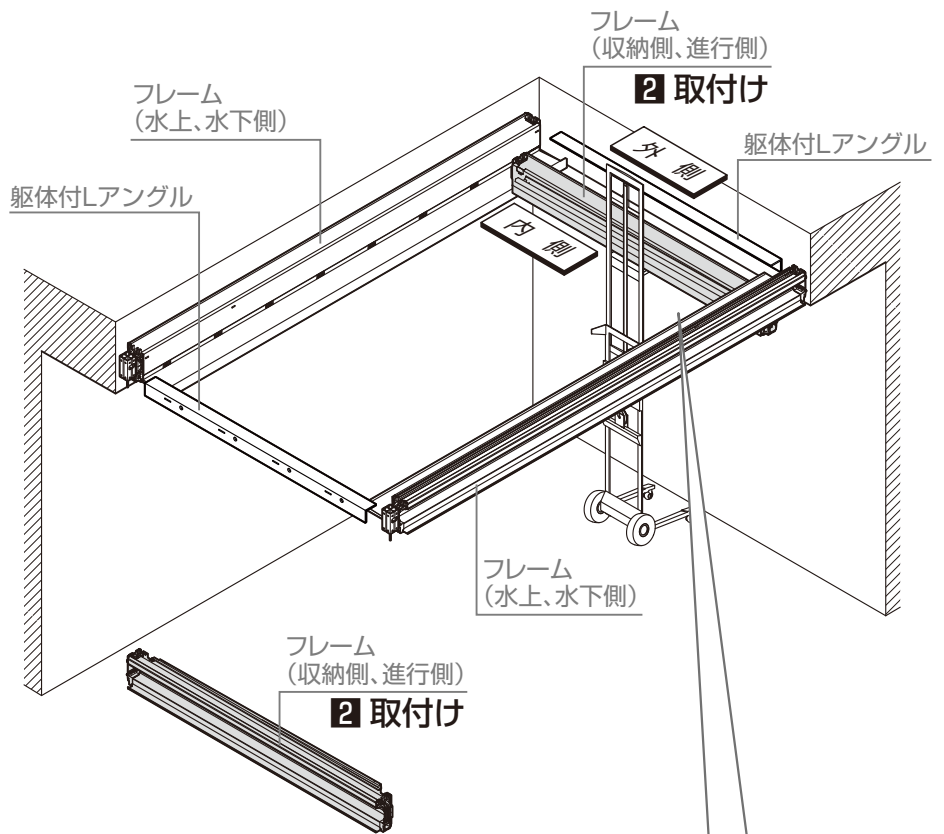


2: フレーム(収納側、進行側)を躯体付Lアングルに【17j】で取付け

補足 1

▼ フレームLEDを取付ける場合 ▼

- フレームLED端子をフレーム同士で挟まないようにとり回してください。



8-3 フレームの取付け

つづき

8-3-4 フレームの取付け(収納側、進行側)

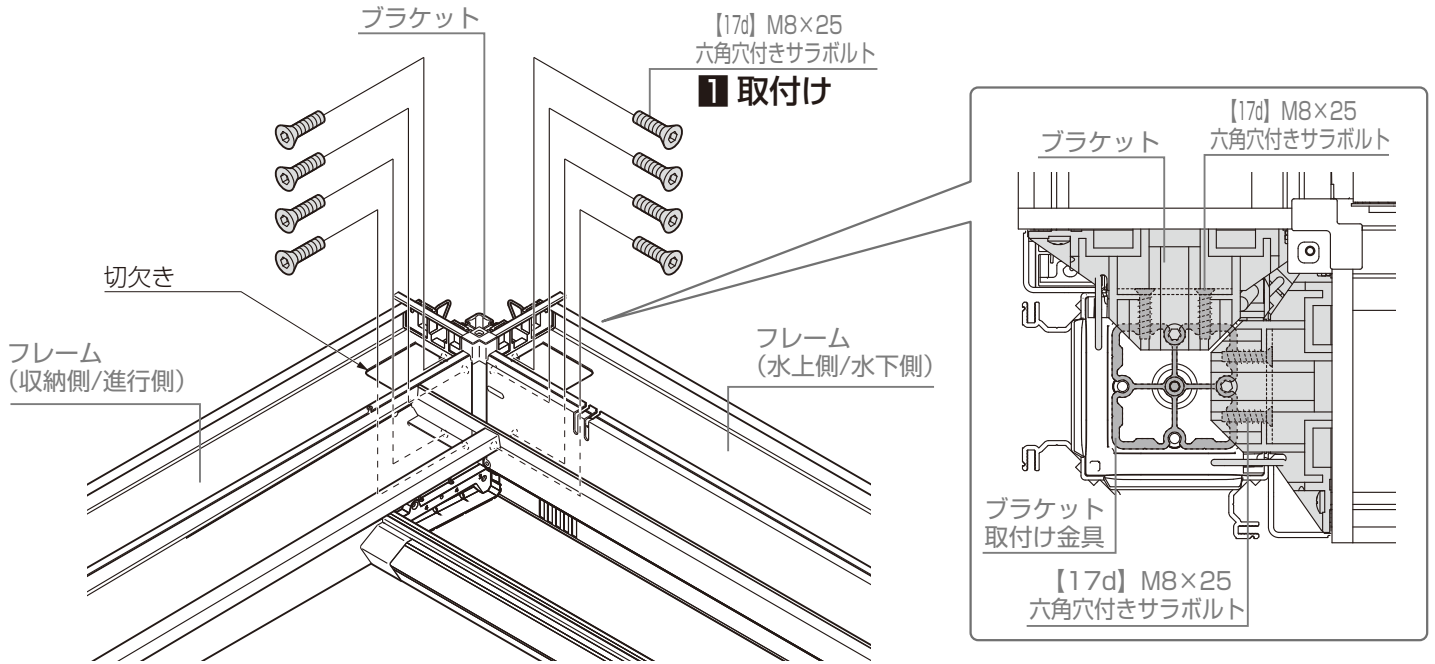
▼ 基礎タイプの場合 ▼

つづき

■: ブラケット取付金具をM8×25六角穴付きサラボルトで固定

補 足

●切欠きから手を入れてボルトを取付けてください。



8-3 フレームの取付け

つづき

8-3-5 フレームの取付け(収納側、進行側)

▼ 連棟タイプの場合 ▼

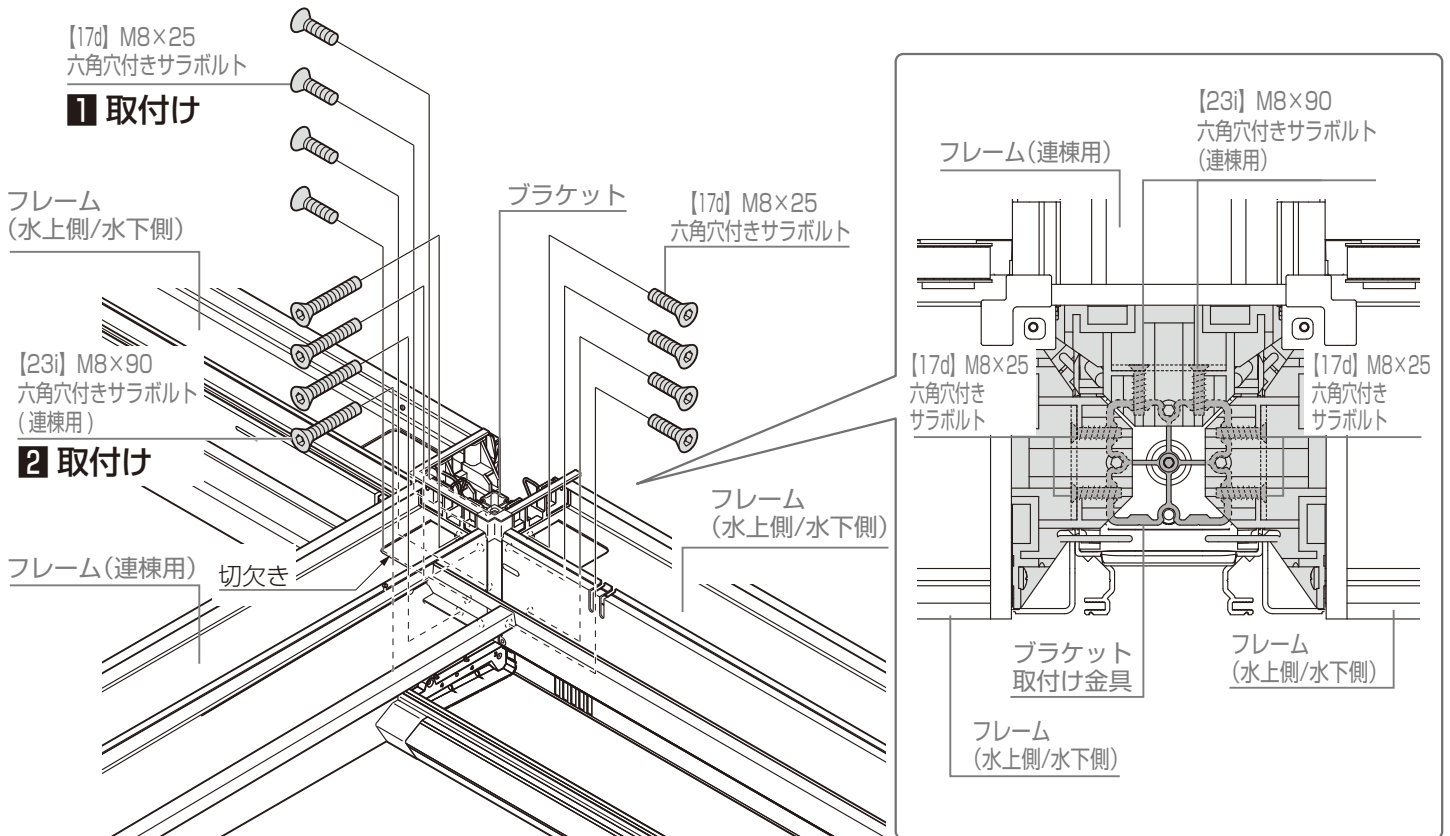
つづき

1: フレーム(水上側/水下側)のブラケット取付金具を【17d】で固定

2: フレーム(連棟用)のブラケット取付金具を【23i】で固定

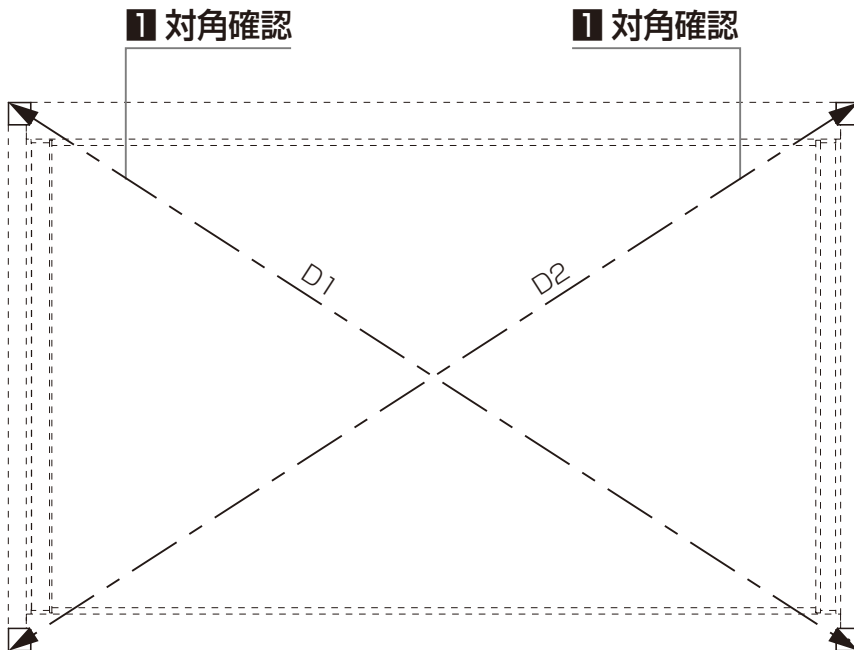
補足

● 【23i】のボルトは、フレーム(連棟用)の切欠きから手を入れて固定してください。



8-3-5 対角の確認

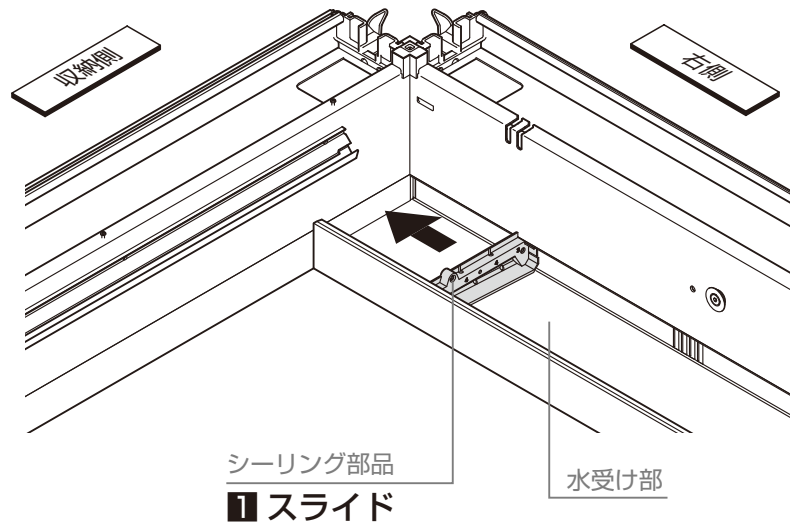
1: 取付位置が等しいか確認する



8-3 フレームの取付け

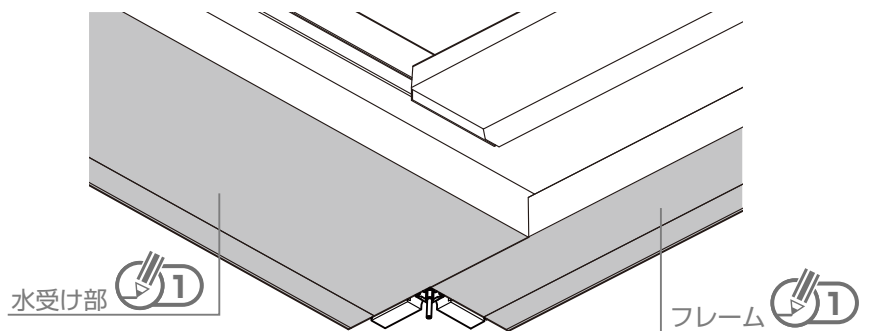
8-3-6 シーリング部品の取付け

1: 雨受け部にあるシーリング部品の外側にスライド



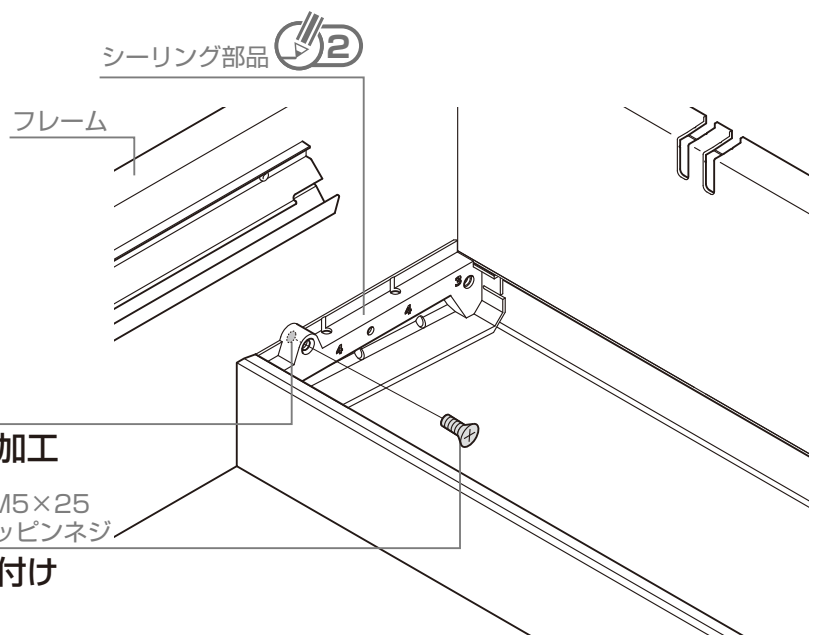
補足 1

- 雨受け部の底と、フレームの底が平らになるようにしてください。
- 3でシーリング部品を取付ける際に調整できます。



2: シーリング部品の穴をガイドにしてフレームにφ4の穴加工

3: シーリング部品をフレームに【23e】で取付け



補足 2

- シーリング部品は各雨受け部の両端に取付けます。

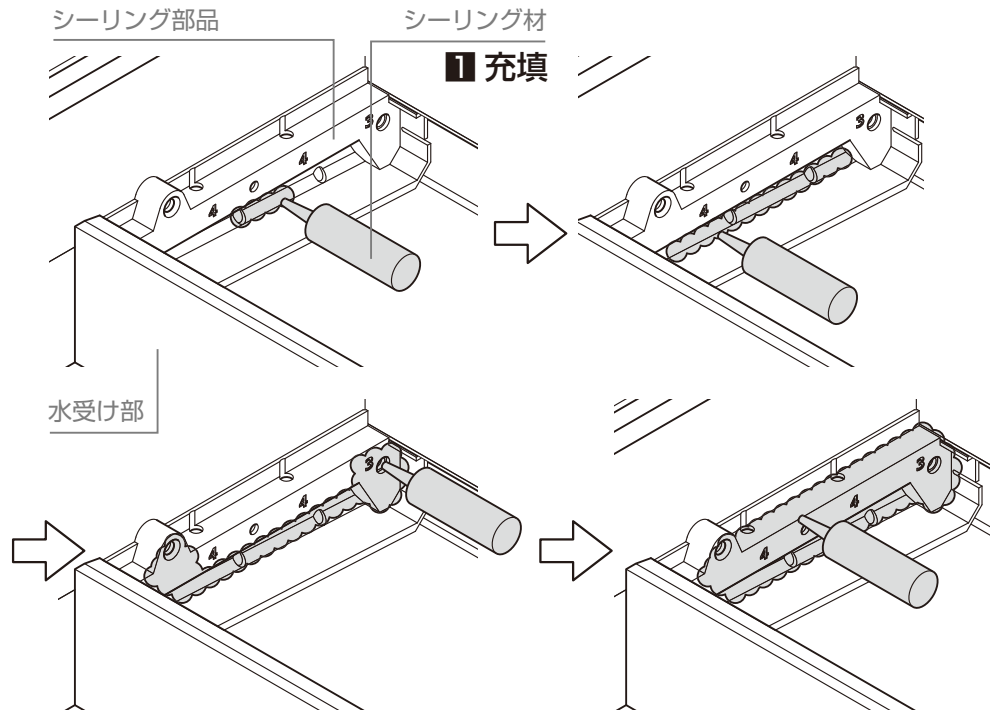
8-3 フレームの取付け

8-3-7 シーリング部品のシーリング

1: シーリング部品に表示されている数字順に充填

お願い

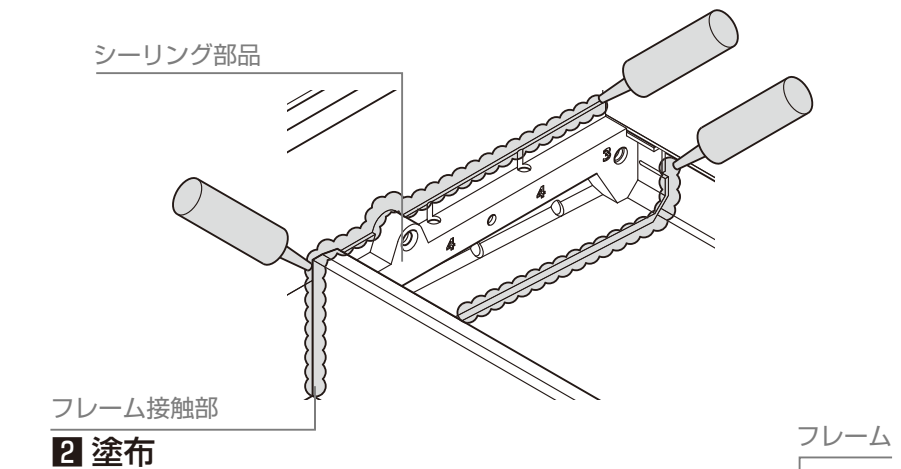
- シーリング部品の数字は、どの順番で埋めるかを示しています。必ず順番どおりに行ってください。
- シーリング部品から余分なシーリング材がはみ出さないようにしてください。



補足

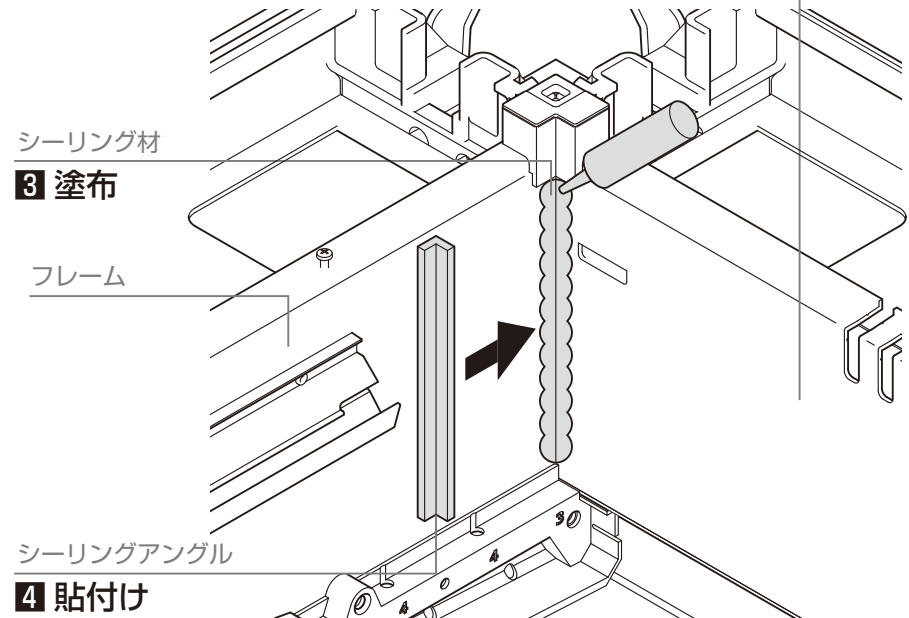
- 指定のシーリング材を使用してください。

2: シーリング部品の接触部とフレームの接触部にシーリングを塗布



3: フレームの角にシーリングを塗布

4: シーリングアングルをフレームの角に貼付ける



8-3 フレームの取付け

8-3-8 排水キャップ、排水誘導キャップの取付け（単体の場合）

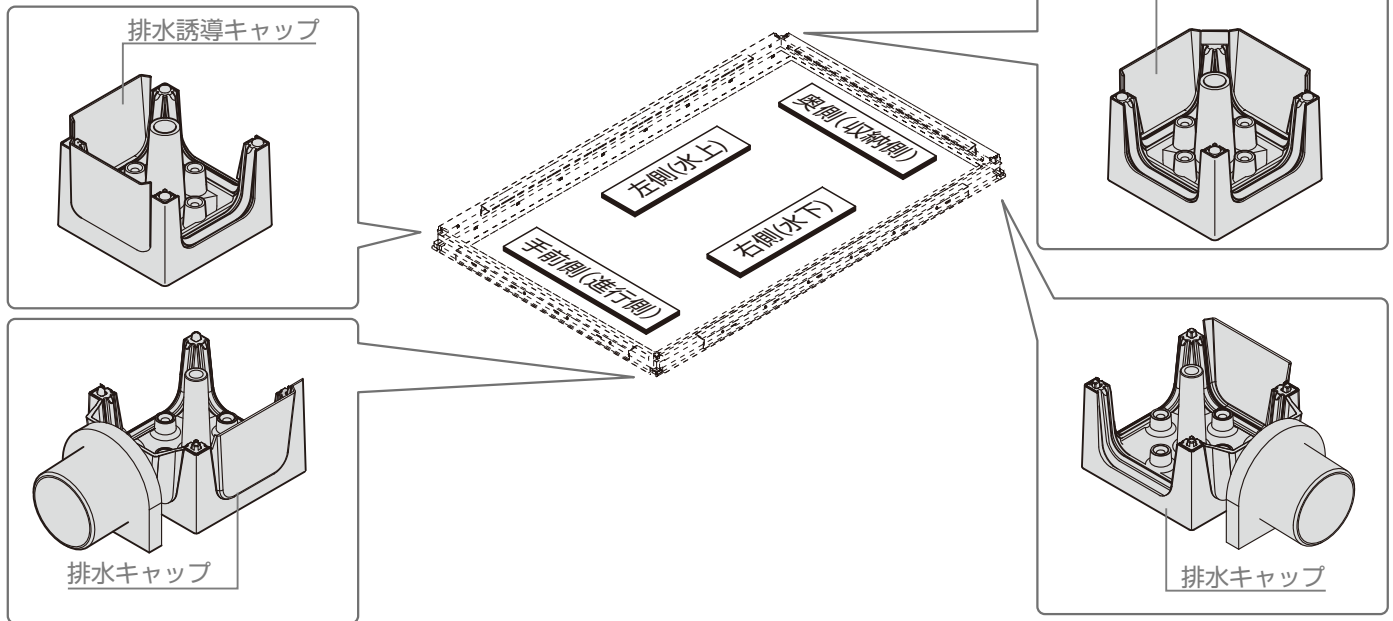
(1) 取付け位置の確認

補 足

●水の流れを制御するために、排水誘導キャップの位置、向きは決まっています。

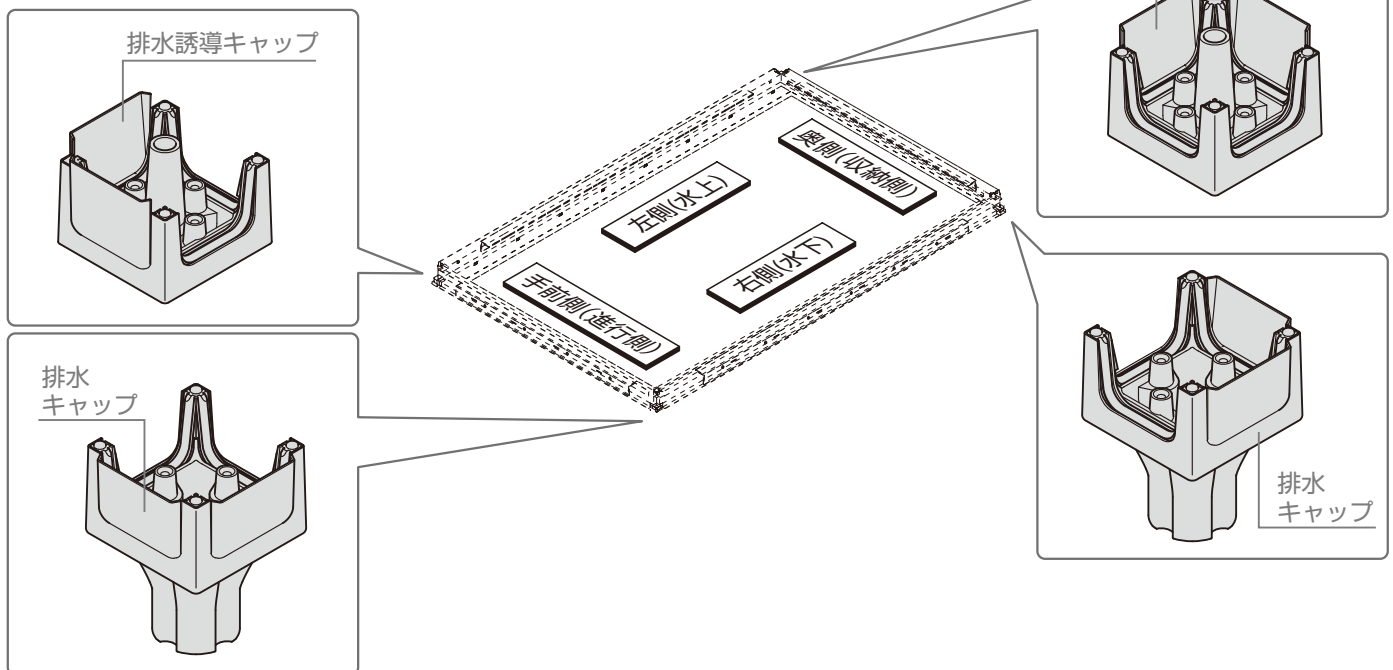
▼ 躯体側排水の場合 ▼

●排水箇所には排水キャップを取付けてください。



▼ コーナー排水の場合 ▼

●排水箇所には排水キャップを取付けてください。



8-3 フレームの取付け

つづき

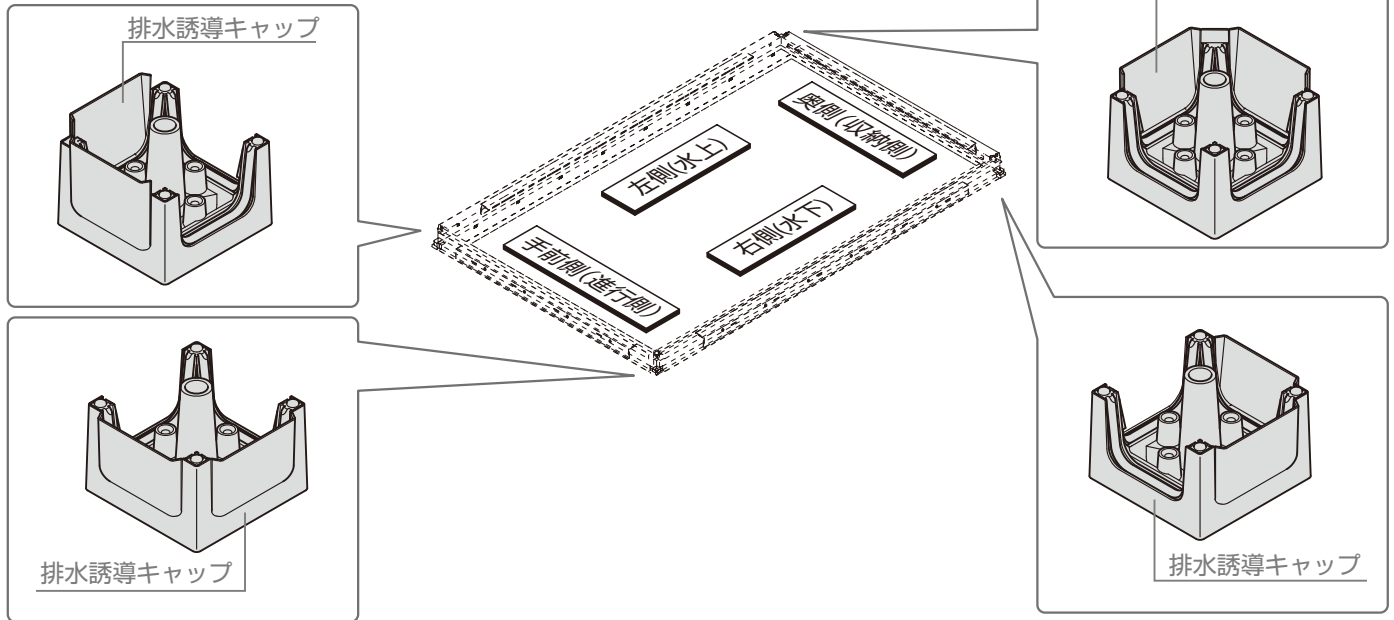
8-3-8 排水キャップ、排水誘導キャップの取付け（単体の場合）

つづき

(1) 取付け位置の確認

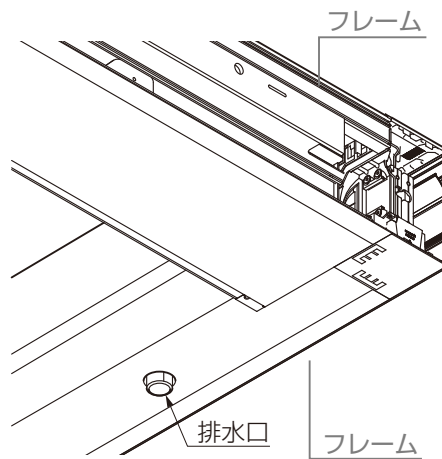
▼ フレーム中間部からの排水の場合 ▼

● 四隅とも排水誘導キャップを取付けてください。



補 足

● 排水口はフレームに組付いて納品されます。



8-3 フレームの取付け

8-3-9 排水キャップ、排水誘導キャップの取付け（連棟の場合）

(1) 取付け位置の確認

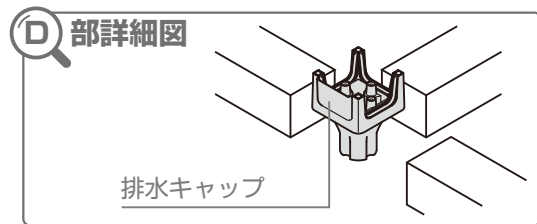
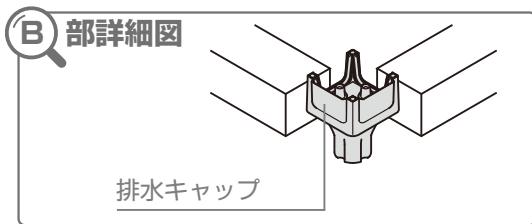
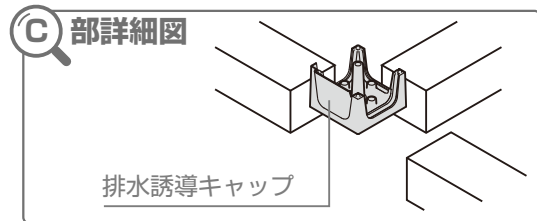
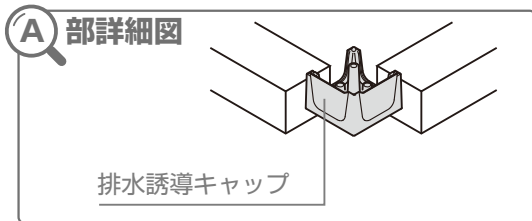
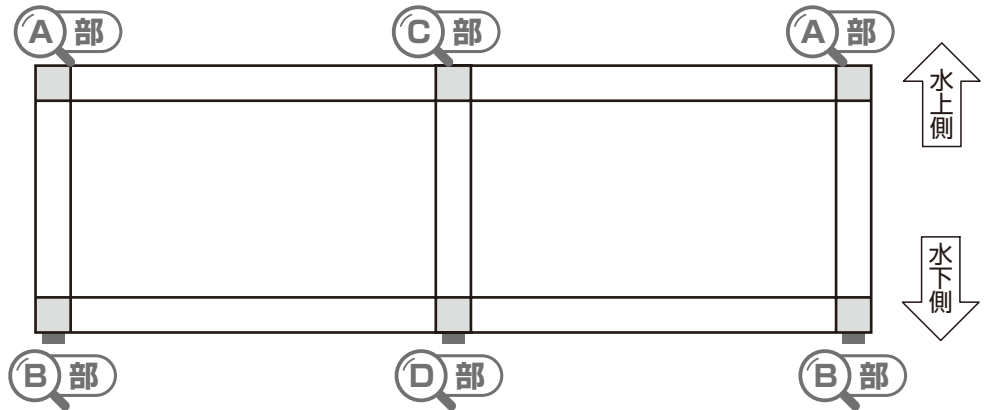
お願い

●連棟にする際は、排水誘導キャップの取付け位置を確認してください。

▼ L連棟の場合 ▼

補足

●右図はコーナー排水の場合を示します。



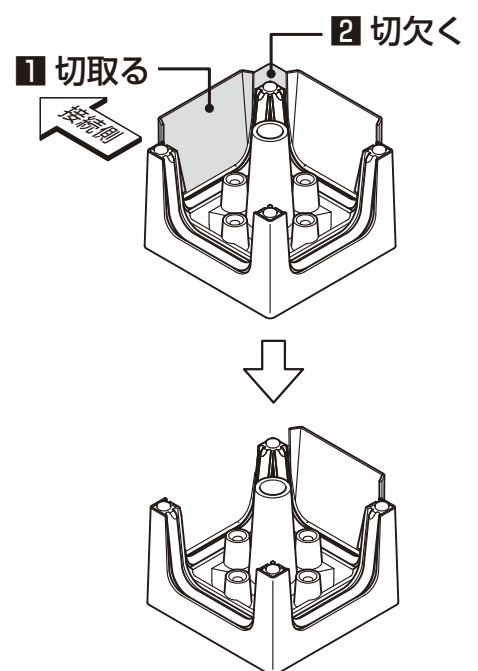
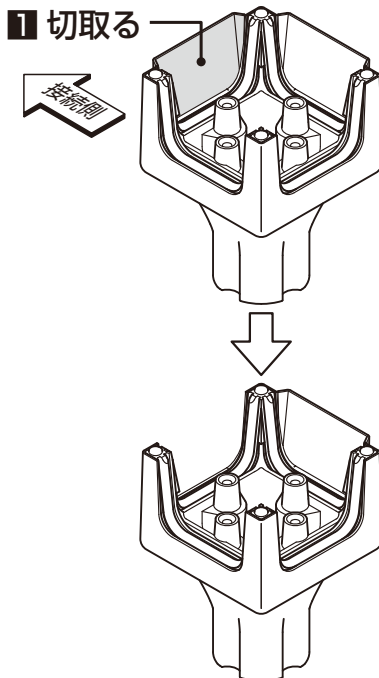
(2) 排水キャップと排水誘導キャップの加工

▼ 排水キャップの場合 ▼

▼ 排水誘導キャップの場合 ▼

1: 排水キャップ、排水誘導キャップの側面を切り取る

2: 排水誘導キャップを切り欠く



お願い

●図の排水キャップはコーナー排水用のものです。躯体側排水キャップ、フレーム中間部排水キャップも排水路に注意して切り欠いてください。

●連棟の接合部分となる排水キャップと排水誘導キャップには加工が必要です。

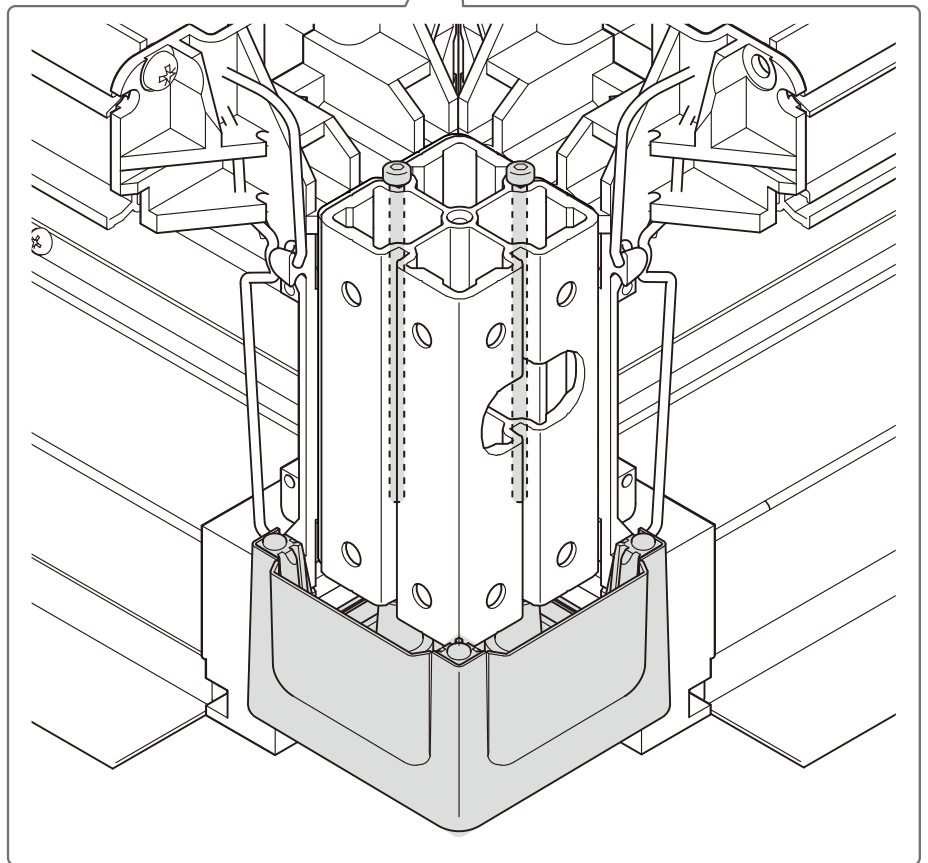
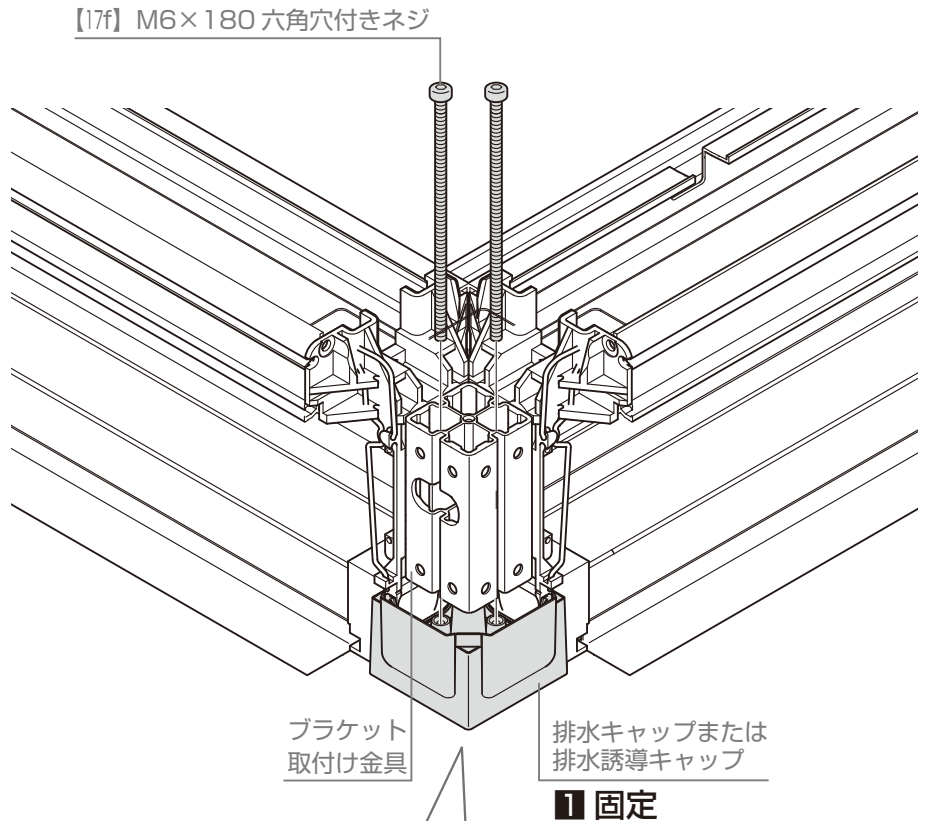
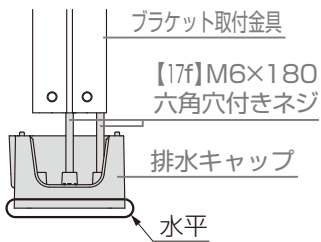
8-3 フレームの取付け

8-3-10 排水キャップ、排水誘導キャップの固定（単体の場合）

1: 排水キャップ、排水誘導キャップを
ブラケット取付け金具に【17f】で固定

 **お願い**

- 【17f】ネジを締める時は、排水キャップが水平になるようにしてください。雨漏れの原因となります。



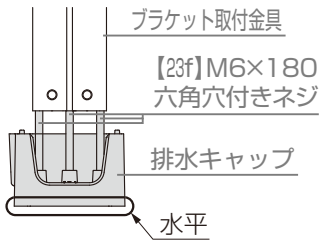
8-3 フレームの取付け

8-3-11 排水キャップ、排水誘導キャップの固定（連棟の場合）

■:排水キャップ、排水誘導キャップを
ブラケット取付け金具に【23f】で固定

🔧 お願い

- 【23f】ネジを締める時は、排水キャップが水平になるようにしてください。雨漏れの原因となります。



【23f】 M6×180 六角穴付きネジ

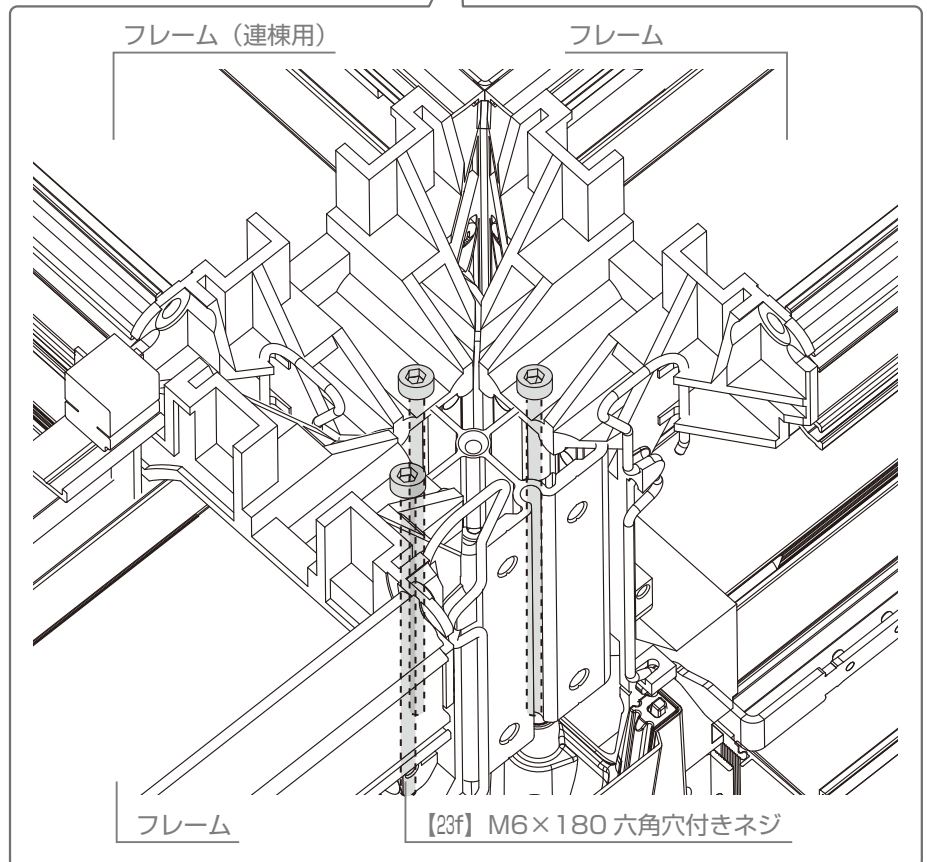
フレーム（連棟用）

フレーム

フレーム

排水キャップまたは
排水誘導キャップ

ブラケット取付け金具



8-3 フレームの取付け

8-3-12 モーター本体の取付け

注意

●モーター本体を設置、固定する際は、配線を傷つけないように注意してください。漏電や故障のおそれがあります。

1: モーター本体の引っ掛け穴をフレームのモーター取付けボタンに引っ掛けて仮固定

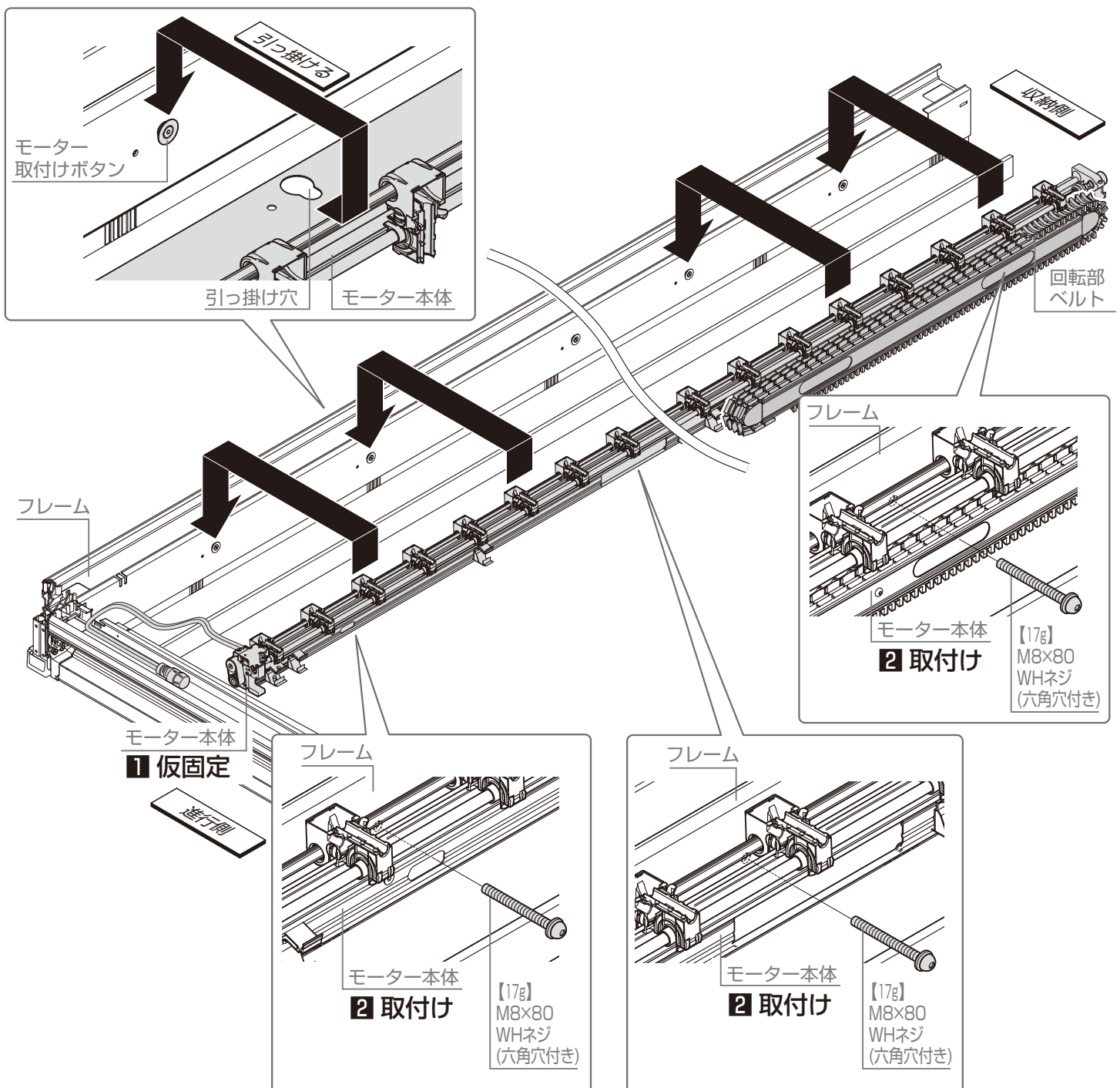
補足

- モーター取付けボタンは、水下の方が30mm低い位置にあります。
- 収納側に回転部ベルトが向くように取付けてください。

2: モーター本体をフレームに【17g】で取付け

補足

- 回転部ベルト側のネジ穴は、溝の内部にあります。



8-3 フレームの取付け

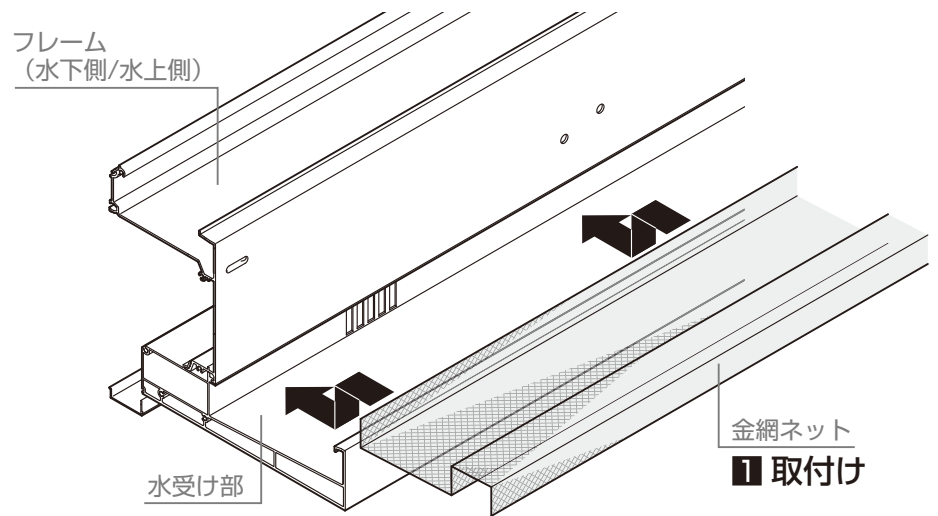
つづき

8-3-13 金網ネットの取付け

1: 雨受け部用金網をフレーム(水下側/水上側)の水受け部に取付け

お願い

- 金網ネットの向きに注意してください。排水路を塞ぐと詰まりの原因になります。
- 金網ネットは設置の状況に応じてカットまたは重なるように設置してください。



8 本体の施工

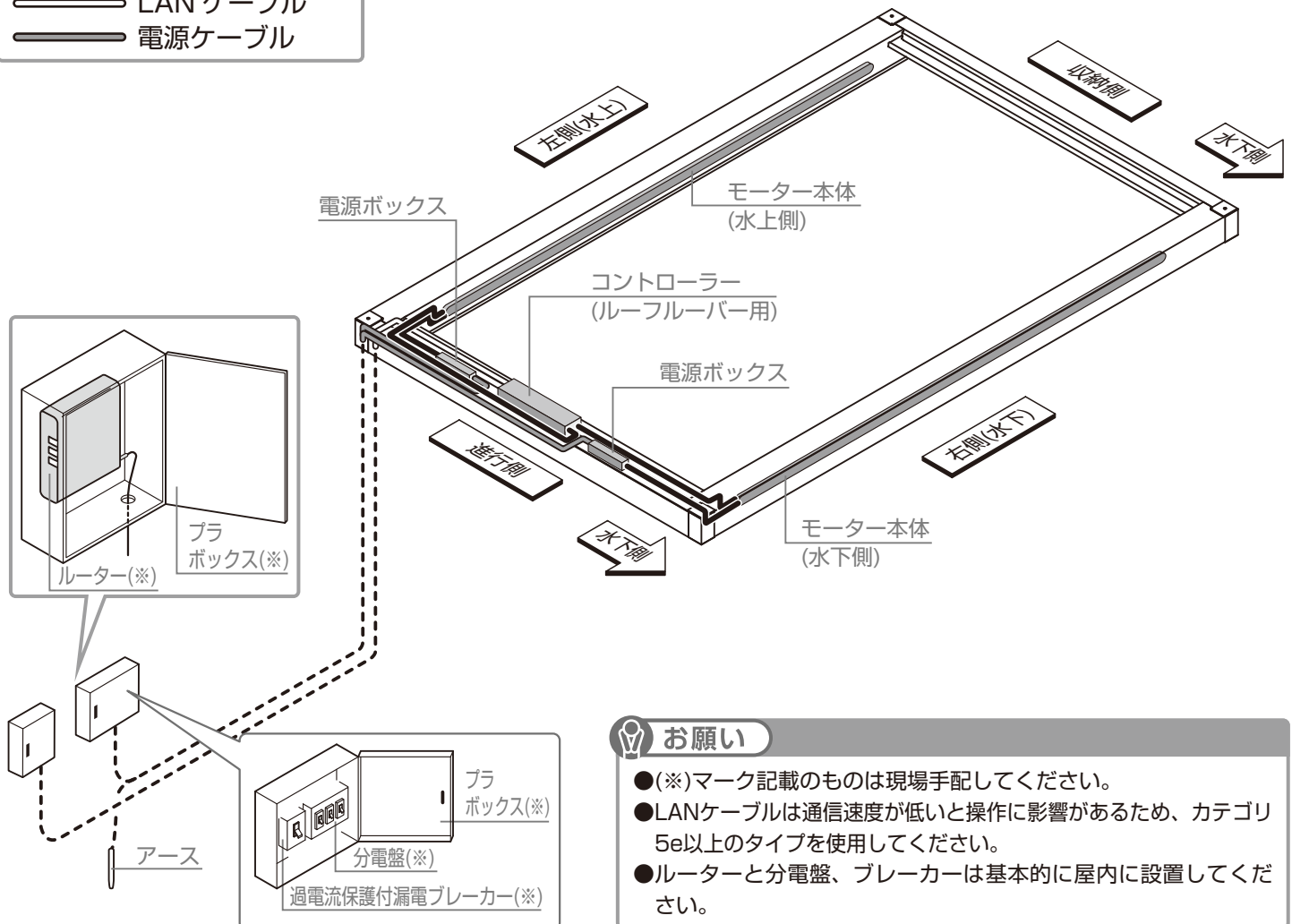
8-4 電気ケーブルとネットワークケーブルの接続

8-4-1 本体とケーブルの取り回し位置の確認

お願い

- 各コントローラーボックスは、メンテナンスを考慮し、1~2つのフレームにまとめて設置してください。

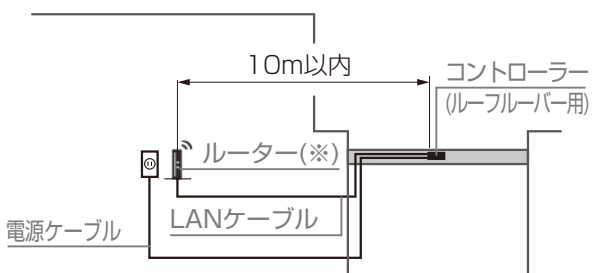
- モーターケーブル
- LANケーブル
- 電源ケーブル



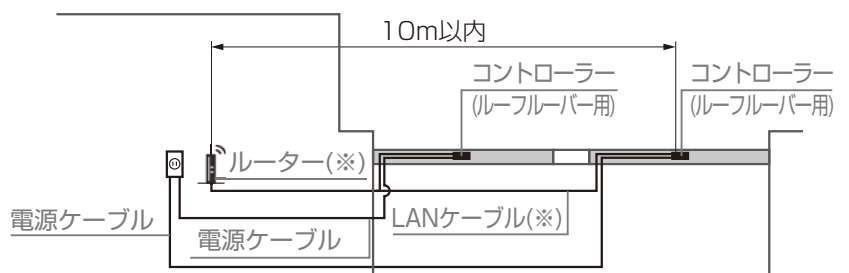
お願い

- (※)マーク記載のものは現場手配してください。
- LANケーブルは通信速度が低いと操作に影響があるため、カテゴリ5e以上のタイプを使用してください。
- ルーターと分電盤、ブレーカーは基本的に屋内に設置してください。

▼ 単体時の接続 ▼

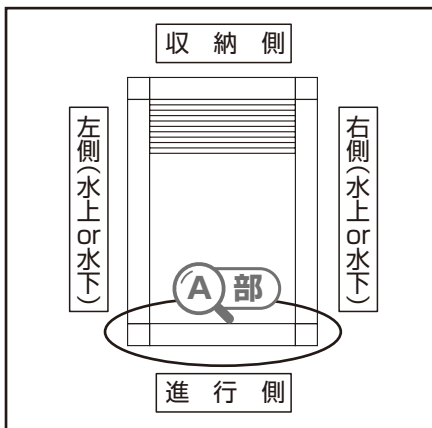


▼ 連棟時の接続 ▼



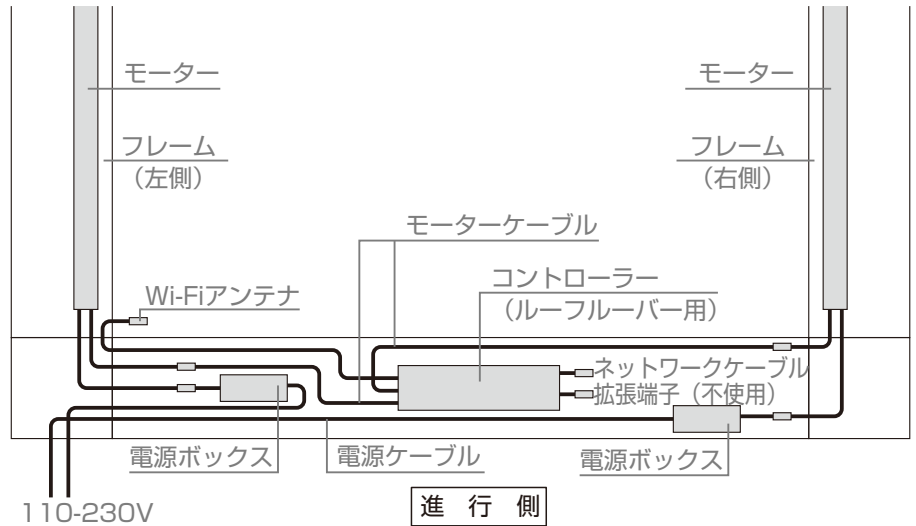
8-4 電気ケーブルとネットワークケーブルの接続

8-4-2 | コントローラー（ルーブローバー用）と電源ボックスの設置

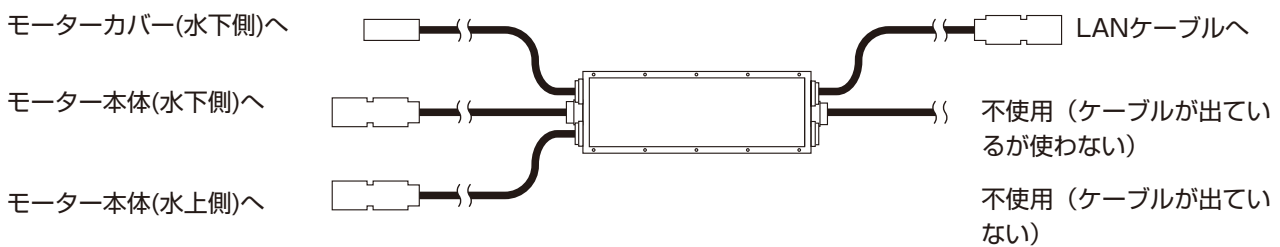


1: コントローラー(ルーブローバー用)と電源ボックスをフレーム(水上側)の中に設置

A部詳細図



8-4-3 | コントローラー（ルーブローバー用）の確認

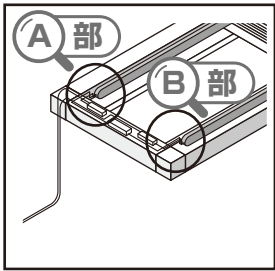


補足 1

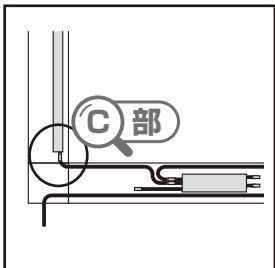
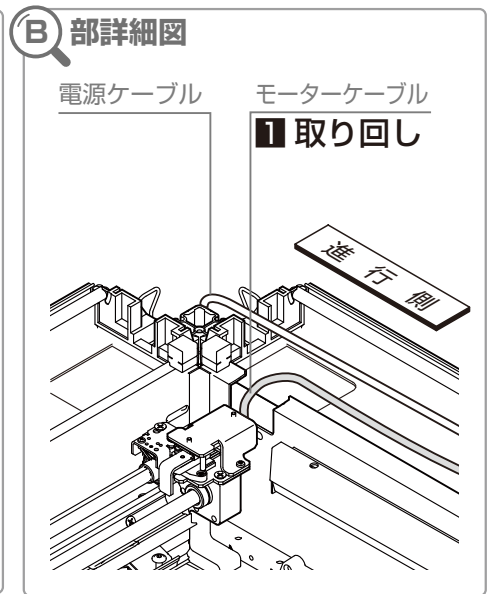
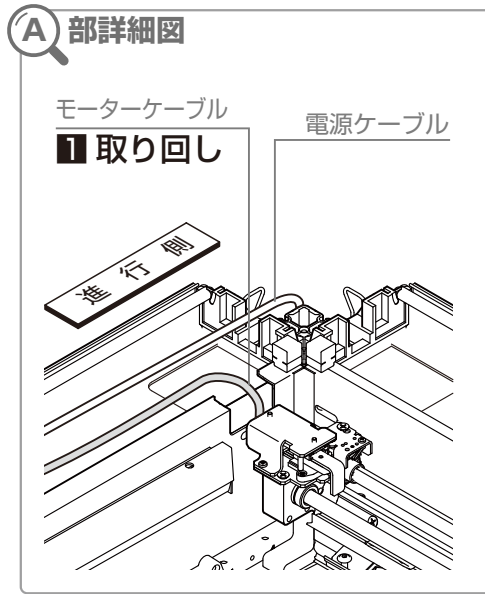
●電源が入ると、電源ランプが順番にすべて点灯します。点灯しない場合は、電源ケーブルが正しく接続されているか確認してください。

8-4 電気ケーブルとネットワークケーブルの接続

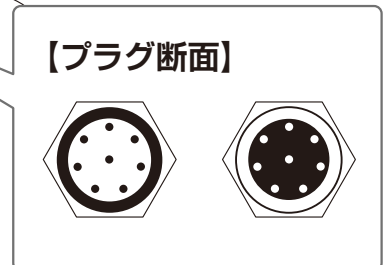
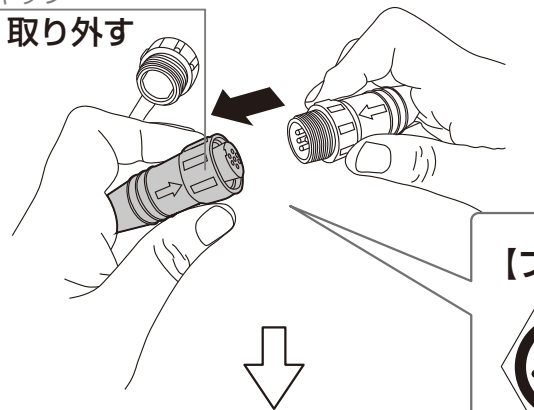
8-4-4 | モーターケーブルとコントローラー（ルーフルーバー用）の接続



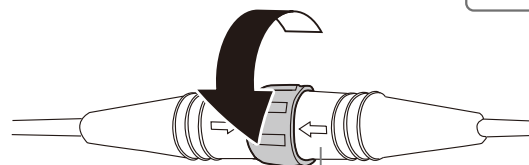
1: モーターケーブルをコントローラー（ルーフルーバー用）側へ取り回し



2: ケーブル端部のキャップを取り外す



3: モーターから伸びるケーブルとコントローラーから伸びるケーブルを接続

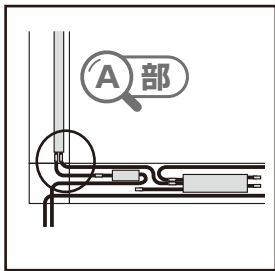


モーターケーブル
3 接続

お願い

- モーター本体からはモーターケーブルと電源ケーブルがそれぞれ1本ずつあります。それぞれ同じ形状のコネクタ同士を接続してください。
- 矢印の刻印の向きが一致するように差し込んでください。

8-4-5 | モーターと電源ボックスの接続

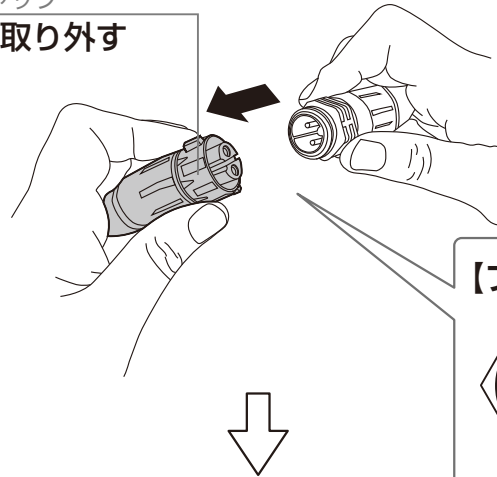


1: ケーブル端部のキャップを取り外す

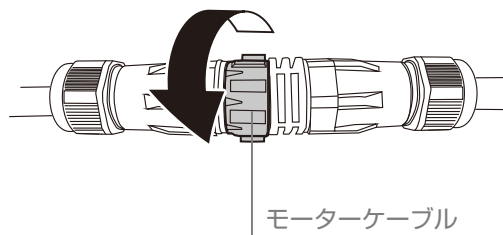
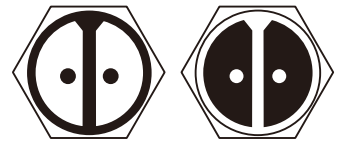
2: モーターから伸びるケーブルと電源ボックスから伸びるケーブルを接続

A 部詳細図

キャップ
1 取り外す



【プラグ断面】



2 接続

お願い

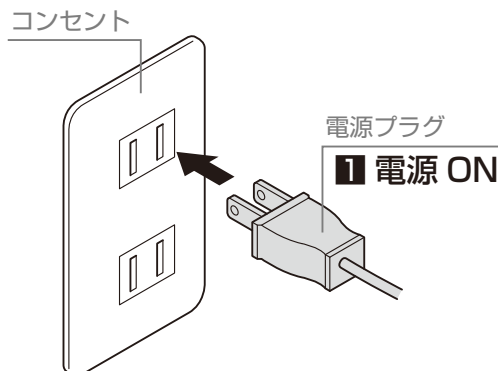
- モーター本体からはモーターケーブルと電源ケーブルがそれぞれ1本ずつあります。それぞれ同じ形状のコネクタ同士を接続してください。
- コネクタの形状が一致するように差し込んでください。

8 本体の施工

8-5 スマホによる初期設定

8-5-1 | コントローラーとスマホの接続

1: 本体の電源を入れる



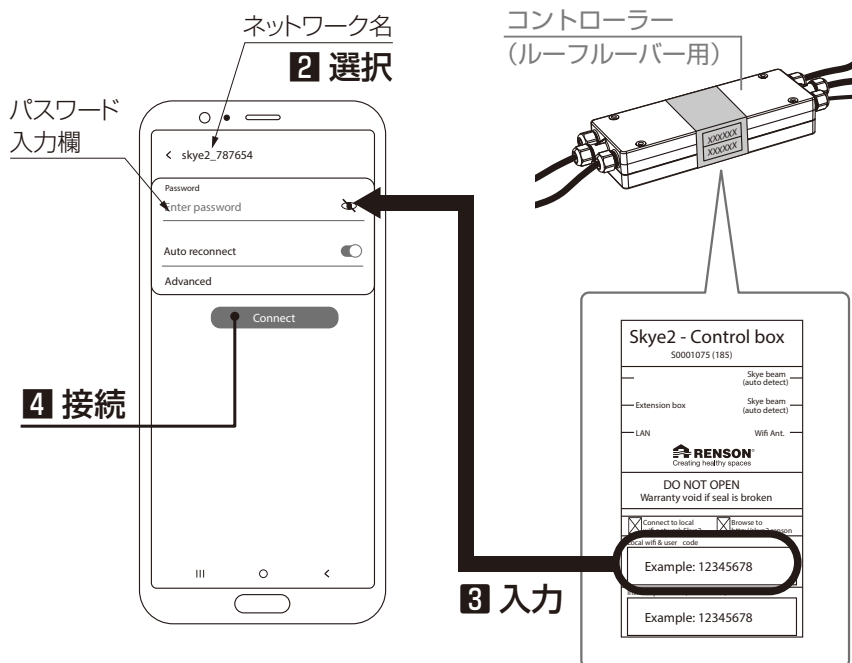
2: スマホのWi-Fi設定画面を開きネットワークを選択

補足

- Wi-Fi設定画面で、ネットワーク名 (skye2+注文番号) を選択します。

3: コントローラーの側面に記載されているパスワードを確認し、スマホのパスワード入力欄に入力

4: Connectを選択して接続



ネットワーク名	Skye2+ 注文番号
パスワード	8桁 (コントローラーへ記載の Local wifi & user code)

補足

- ネットワークが見つからない場合は電源が接続されているか確認してください。

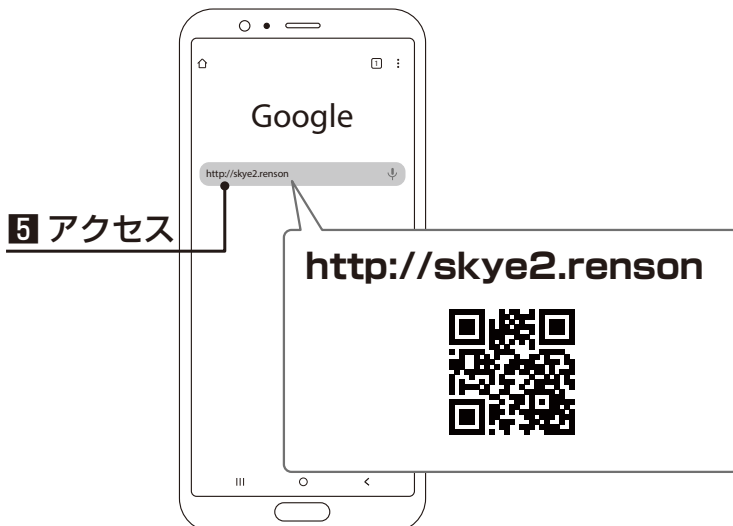
お願い

- Wi-Fiの接続時に「インターネット接続の内ネットワークです。接続しますか?」と警告が出た場合は「はい/インターネットに接続せずに使用」を選択して接続を継続してください。

5: ブラウザを開き「http://skye2.renson」へアクセス

補足

- アクセスに使用するブラウザはGoogle Chromeを推奨します。
- サイトへアクセスできない場合は、ローカルWi-Fiに接続できているか確認してください。



8-5 スマホによる初期設定

つづき

8-5-1 | コントローラーとスマホの接続

つづき

4: Installation Portal Sky2.0画面で「Professional」を選択

5: コントローラーに記載されているパスワードを入力

パスワード 10桁
(コントローラーへ記載の Installer password (Professional))

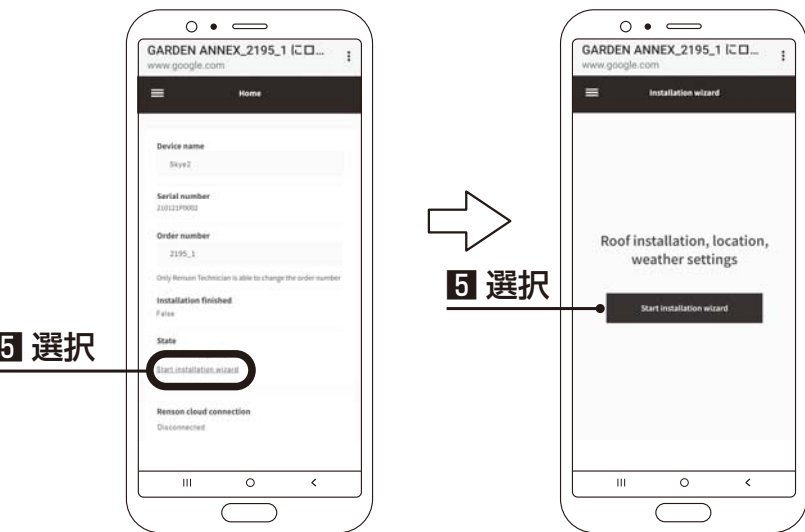
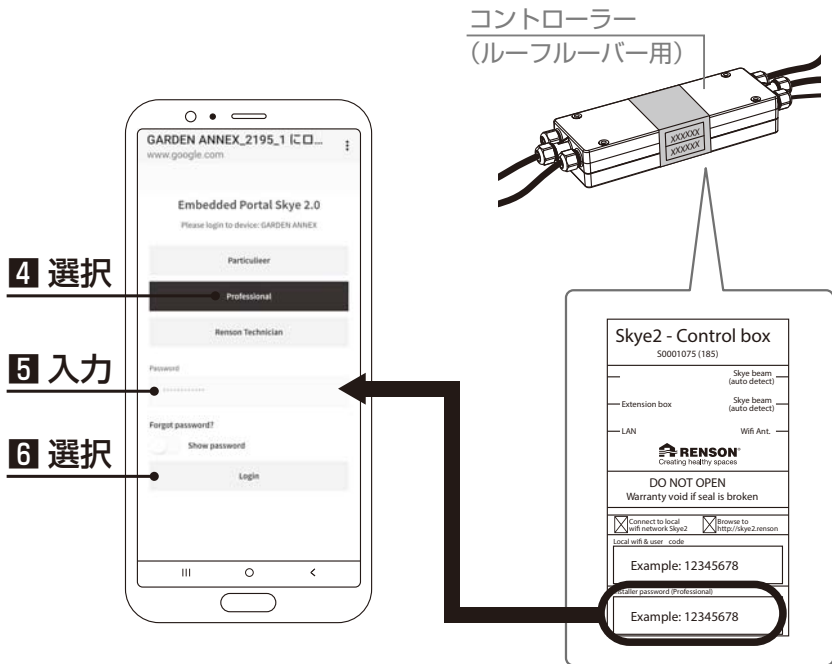
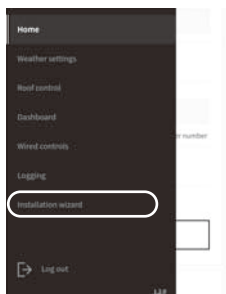
補足
●パスワードは注文番号の上6桁+7593からも取得可能です。

6: 「Login」を選択

5: 「Start installation wizard」を選択

お願い
●「Start installation wizard」選択後はマニュアル(英語版)がスマホ上で確認できます。以降はスマホのマニュアルも参考にしながら同時進行で進めてください。

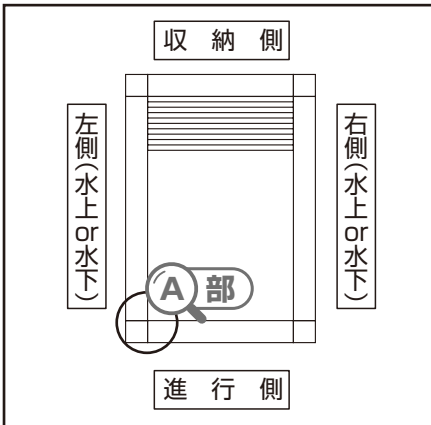
補足
●2回目以降は、☰メニューから「Installation wizard」を行えます。



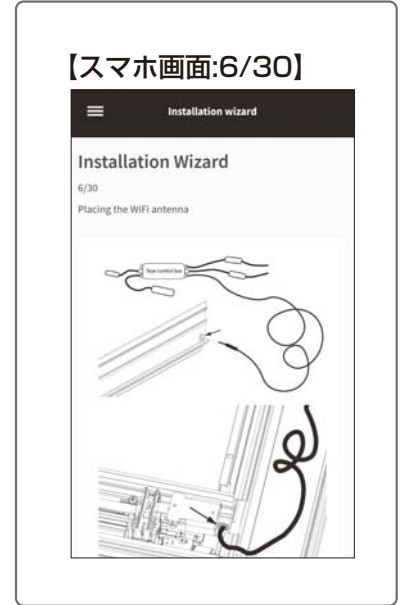
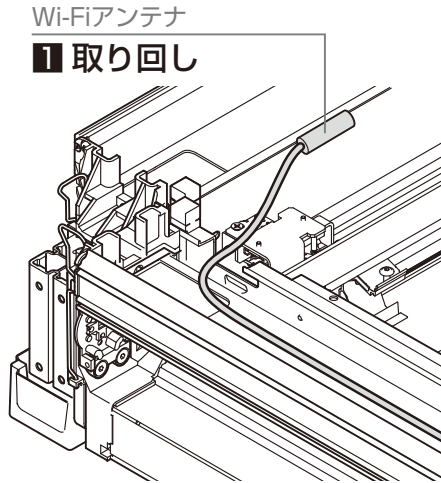
補足
●「Installation wizard」の1/30～5/30ページは、前ページで行った手順です。内容を確認し「NEXT」を押して6/30ページまで進めてください。

8-5 スマホによる初期設定

8-5-2 Wi-Fiアンテナの接続(Installation wizard:6/30)



A部詳細図



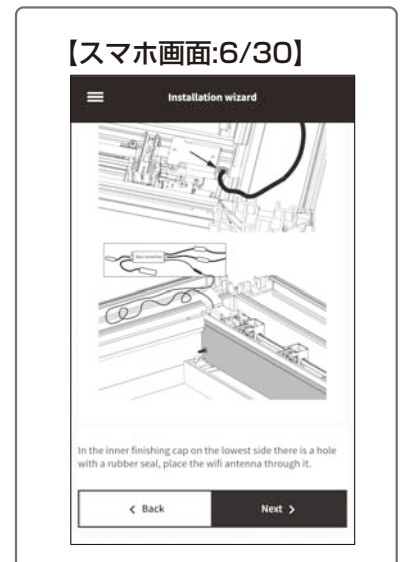
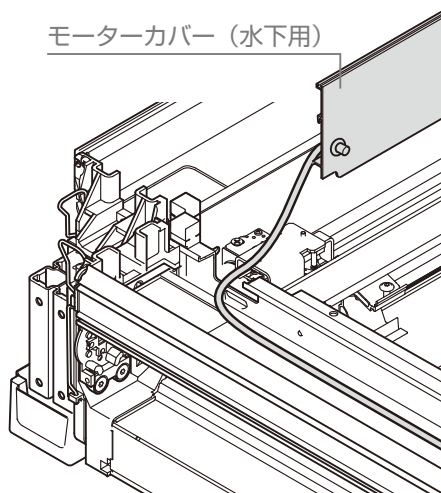
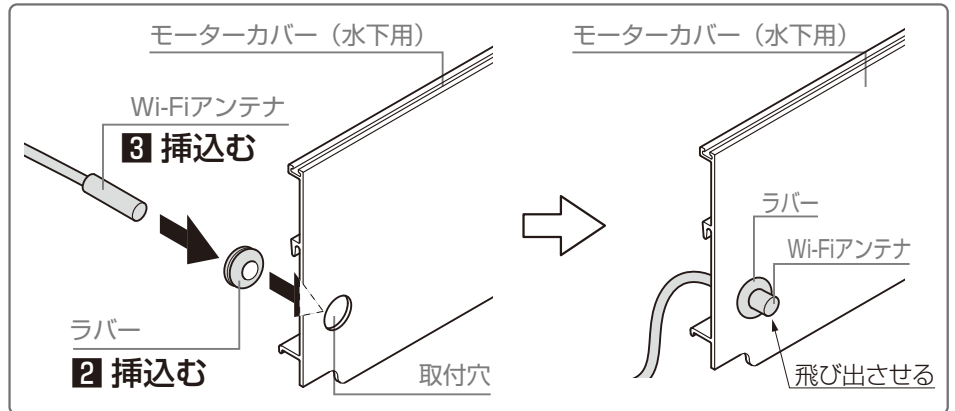
1: Wi-Fiアンテナをフレーム(水下側)へ取り回し

2: ラバーをモーターカバーの取付穴へ挿込む

3: モーターカバー(水下用)のラバー部へWi-Fiアンテナを挿込む

お願い

●Wi-Fiアンテナはモーターカバーの裏側から表側へ差し込んでください。



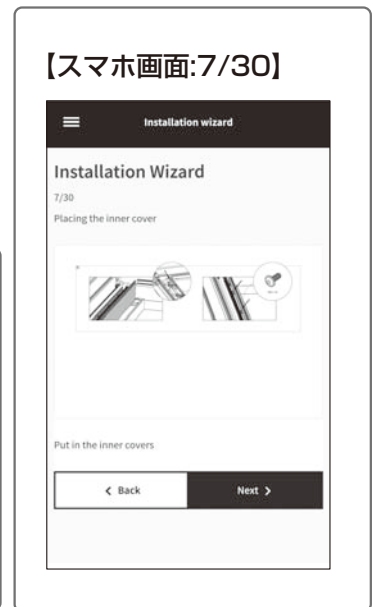
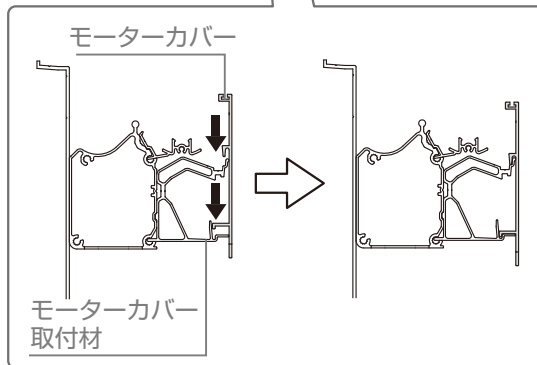
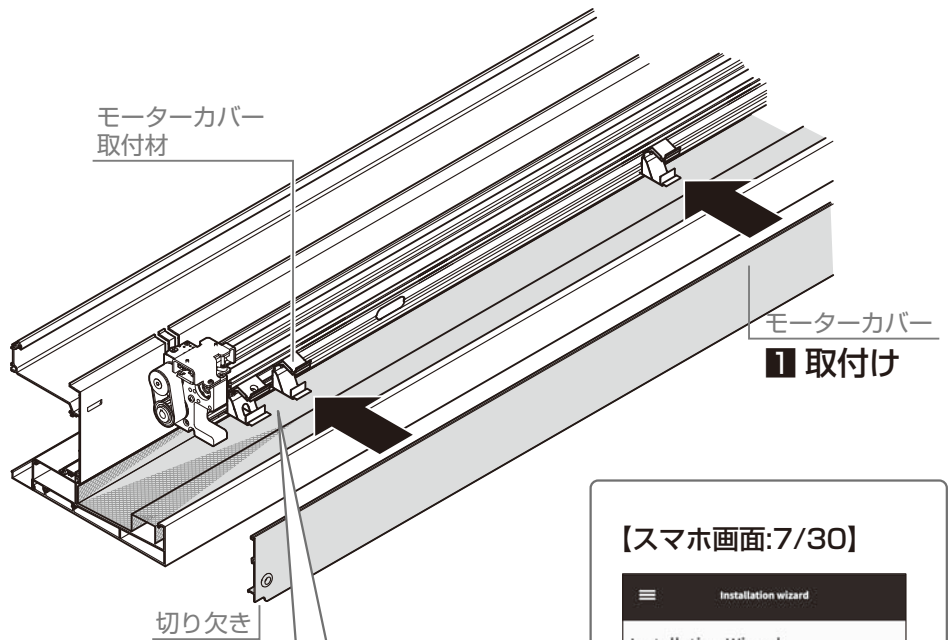
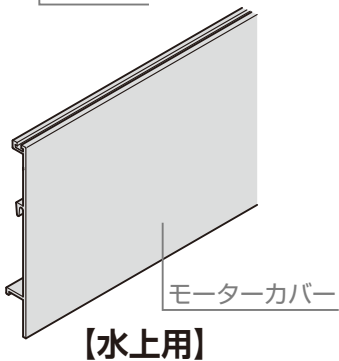
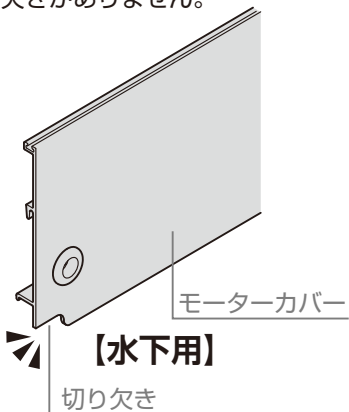
8-5 スマホによる初期設定

8-5-3 モーターカバーの取付け(Installation wizard: 7/30)

1: モーターカバーをモーターカバー取付材に取付け

お願い

● 水下側(排水路のある側)のカバーは、両端に切り欠きが付いています。水上側のカバーには、切り欠きがありません。



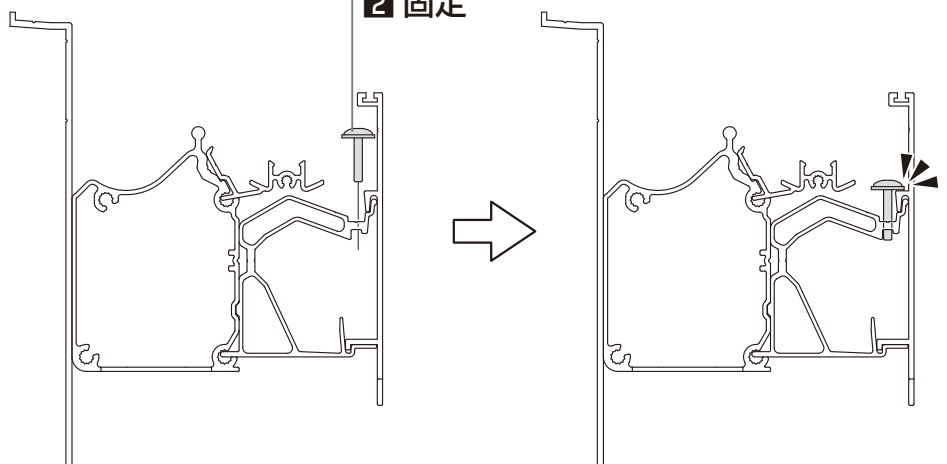
2: モーターカバーをモーターカバー取付材に【17h】で固定

お願い

● 【17h】ネジは締めすぎないください。

【17h】 M6×16WHネジ
(六角穴付き)

2 固定



8-5 スマホによる初期設定

8-5-4 見切り材の取付け (Installation wizard: 8/30)

▼ 進行側の場合 ▼

お願い

- 見切り材には、収納側用と進行側用があります。確認して取付けてください。

見切り材(進行側用)	見切り材(収納側用)

補足

- 見切り材は収納側、進行側のどちらも、製品のL寸法によって長くなったり短くなったりします。
- ご注文いただいた製品のL寸法に合わせてカットした部材が納品されます。

1: 見切り材(進行側用)を見切り材受けに差し込み

お願い

- 見切り材(進行側用)は、見切り材受けの奥に突き当たるまでしっかりと差し込んでください。

2: 見切り材(進行側用)を見切り材受けに【17i】で取付け

3: 見切り材受けにシーリングを塗布

【17i】φ4×12 六角穴付ネジ

2 取付け

見切り材受け

見切り材(進行側用)

【17i】φ4×12 六角穴付ネジ

見切り材(進行側用)

受け金具

見切り材受け

【スマホ画面:8/30】

シーリング

3 シーリング

見切り材受け

シーリング

見切り材(進行側用)

シーリング

見切り材受け

8-5 スマホによる初期設定

8-5-5 見切り材の取付け (Installation wizard: 8/30)

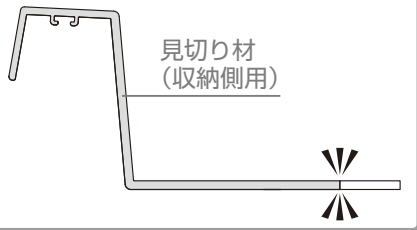
▼ 収納側の場合 ▼

お願い

- 見切り材には、収納側用と進行側用があります。確認して取付けてください。

補足

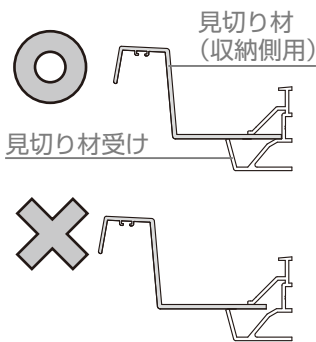
- 見切り材は収納側、進行側のどちらでも、製品のL寸法によって長くなったり短くなったりします。
- ご注文いただいた製品のL寸法に合わせてカットした部材が納品されます。



1: 見切り材(収納側用)を見切り材受けに差し込み

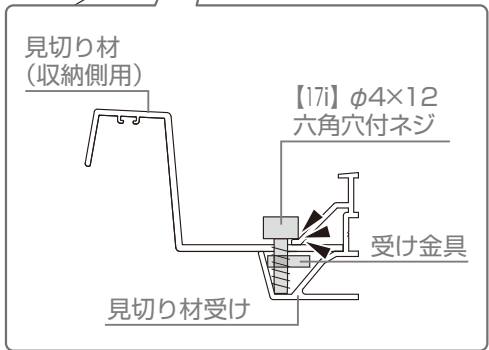
お願い

- 見切り材(収納側用)は、見切り材受けの奥に突き当たるまでしっかりと差し込んでください。



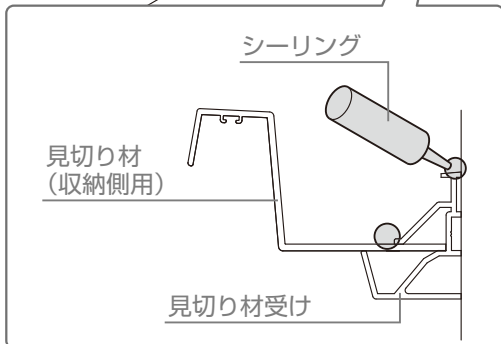
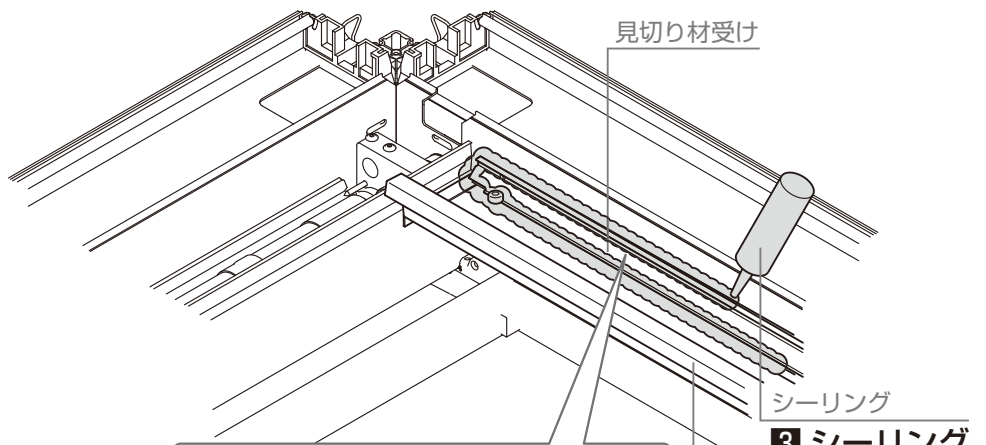
2: 見切り材(収納側用)を見切り材受けに【17i】で取付け

3: 見切り材受けにシーリングを塗布



見切り材(収納側用)

1 差し込み



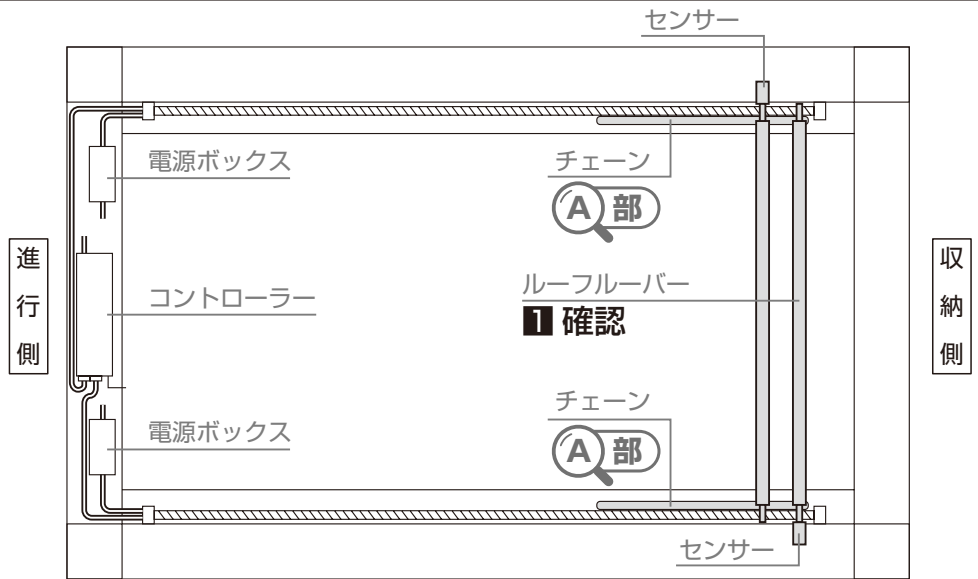
8-5 スマホによる初期設定

8-5-6 設定用ルーフルーバーの取付け位置確認(Installation wizard:9/30)

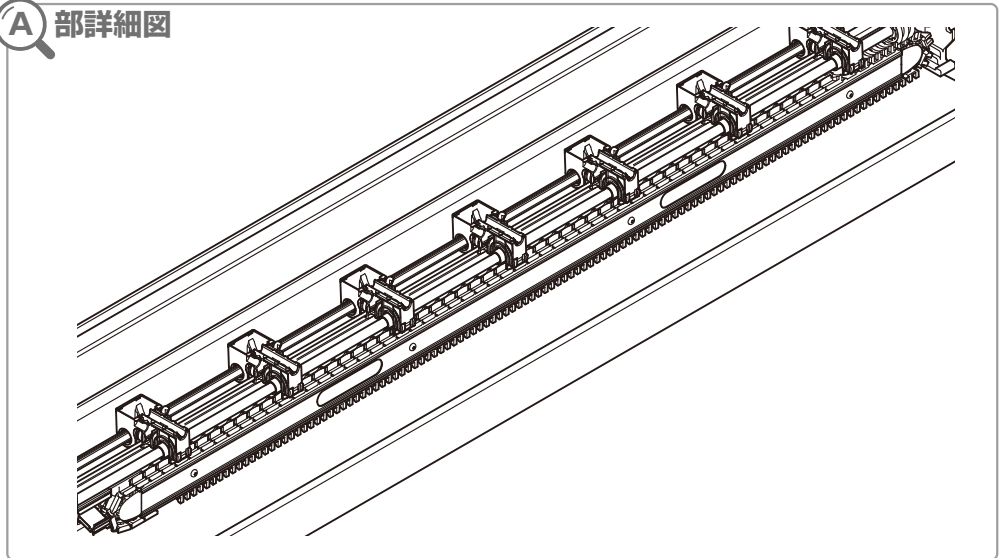
1: 設定用ルーフルーバーの取付け位置と向きを確認

補足

- 収納側の一番端に、ルーフルーバーを2つ取付けてください。
- ルーフルーバーは垂直になるように取付けてください。

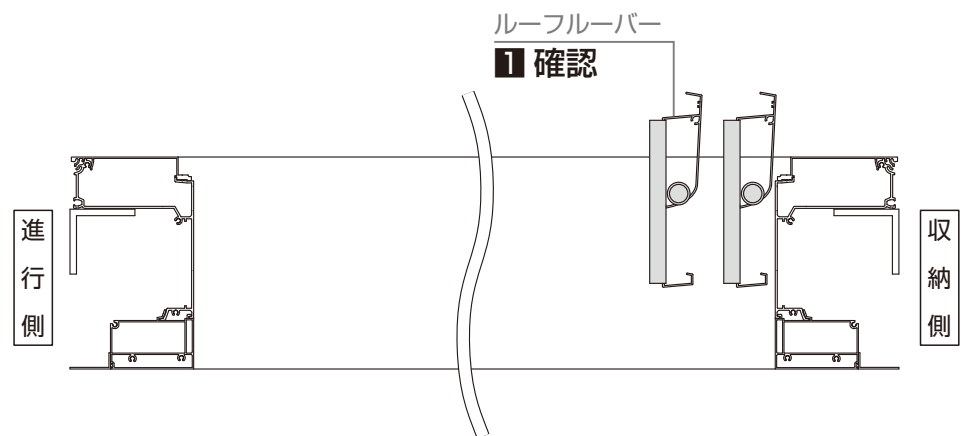


A部詳細図



お願い

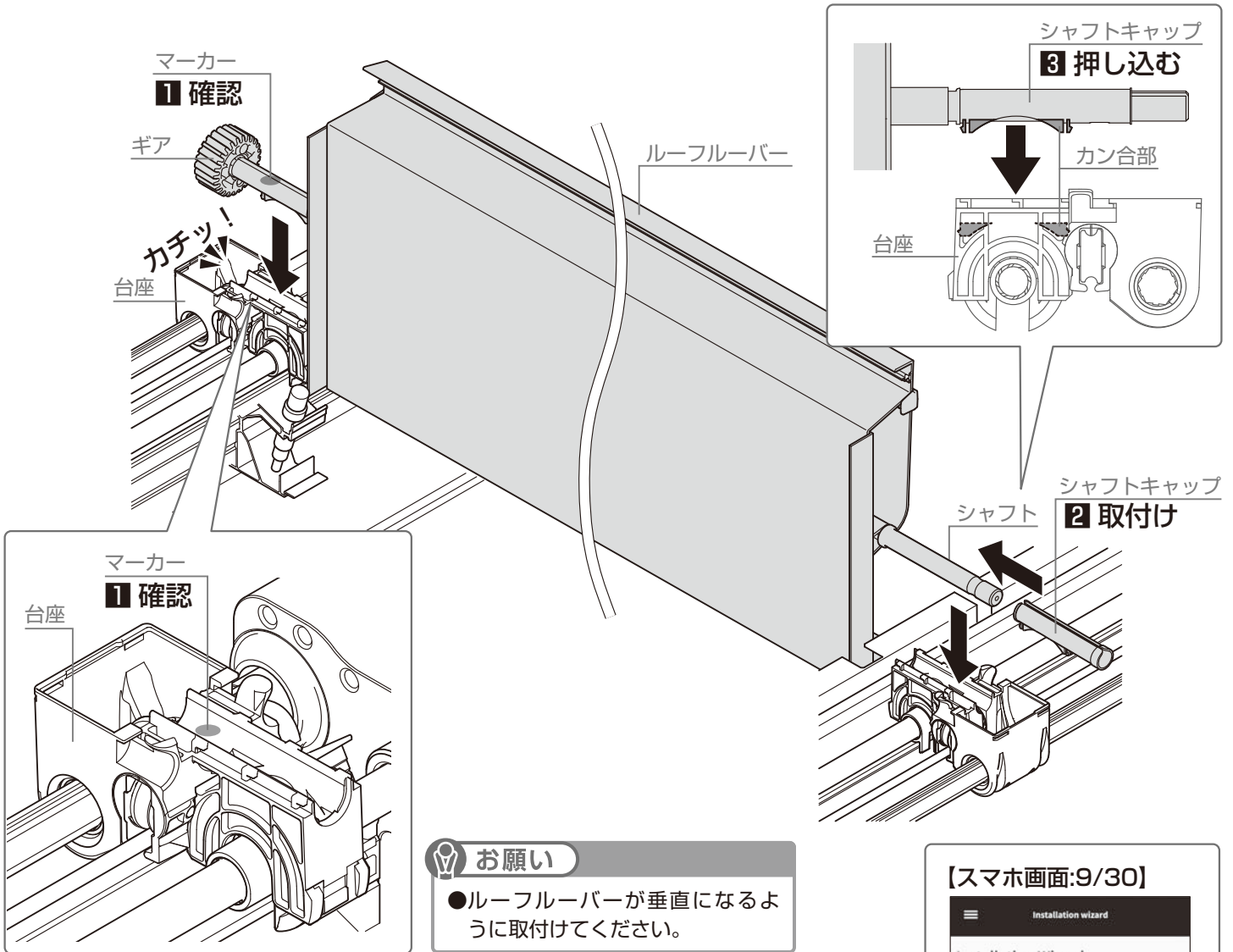
- 設定用ルーフルーバーは必ず図の向きに取付けてください。



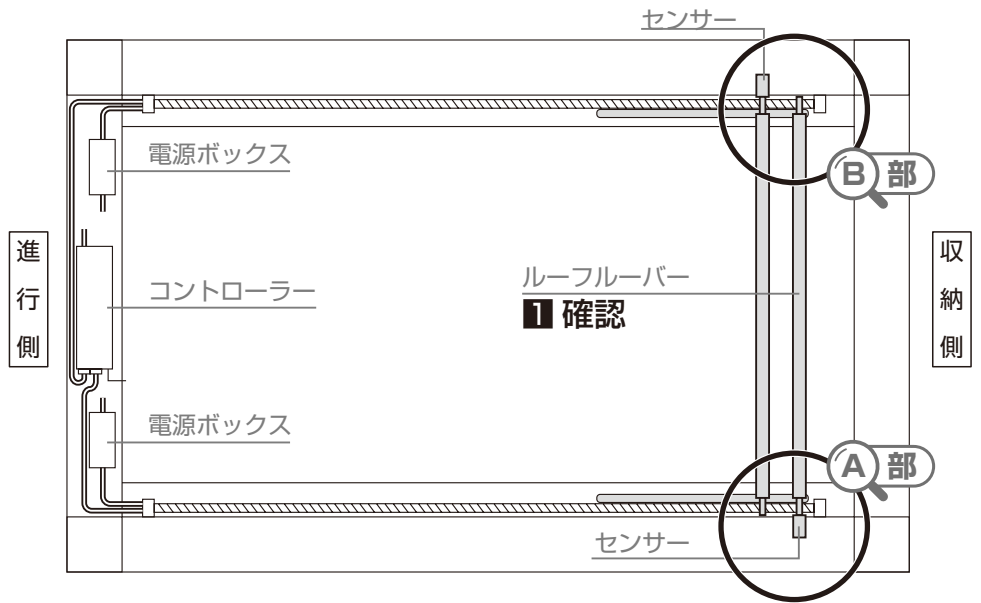
8-5 スマホによる初期設定

8-5-7 設定用ルーフルーバーの取付け(Installation wizard:9/30)

- ❶:ギア側の台座と、シャフトキャップのマーカーの色を確認
- ❷:ギア側と逆側のシャフトにシャフトキャップを取付け
- ❸:ルーフルーバーのシャフトキャップ部分を台座に垂直に押し込む

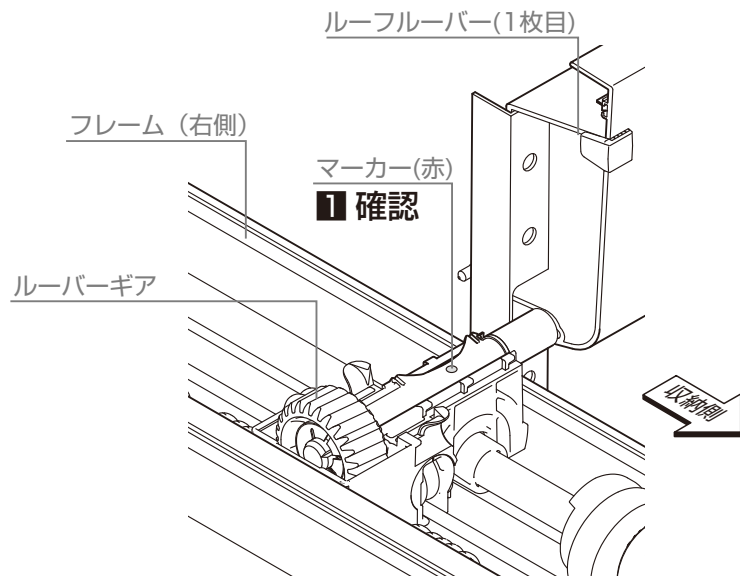


8-5-8 センサーの接続(Installation wizard: 10/30)

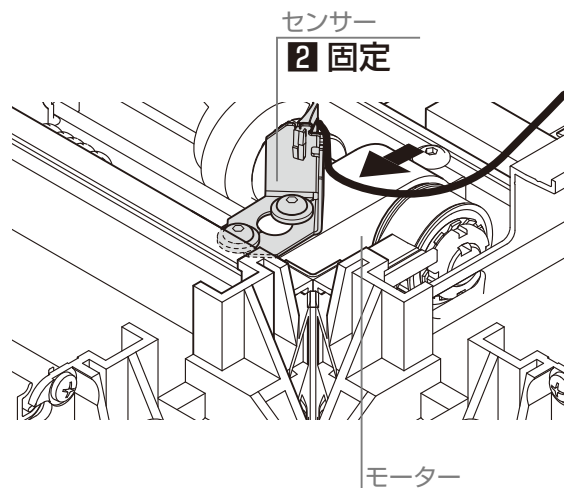


A 部詳細図

1: 1枚目のルーバーギアに赤色のマーカーが付いていることを確認



2: モーターにセンサーを固定



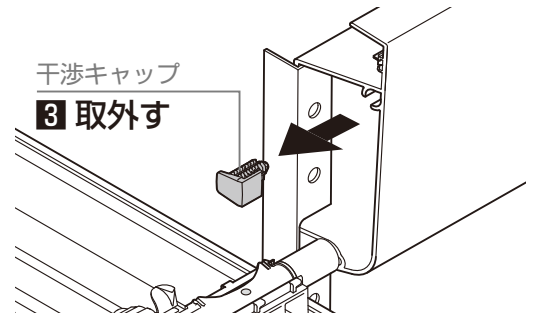
8-5 スマホによる初期設定

つづき

8-5-8 センサーの接続(Installation wizard: 10/30)

つづき

3: 干渉キャップを取外す

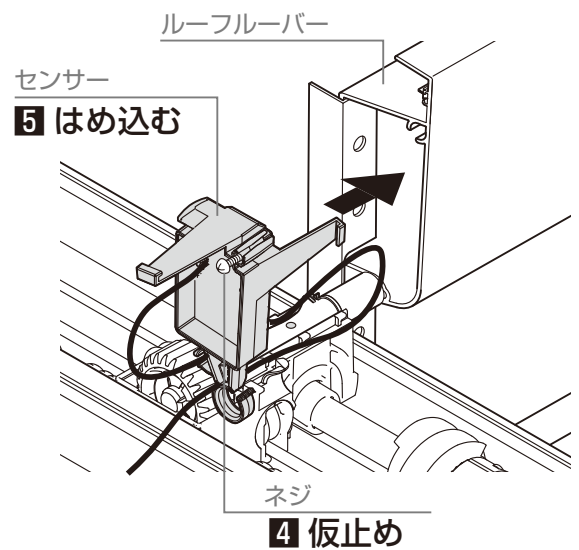


4: ネジをセンサーのネジ穴に仮止め

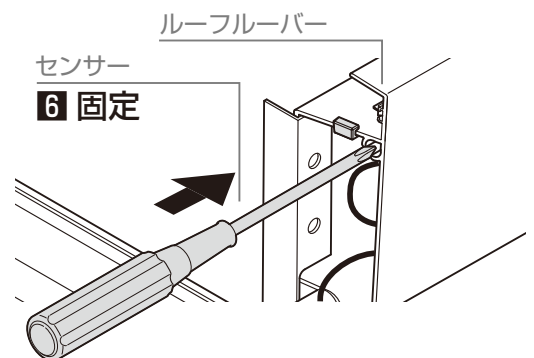
5: センサーをルーフルーバーへはめ込む

補足

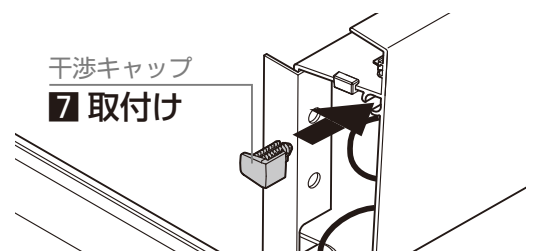
- 余分なケーブルはルーフルーバーの内部へ収納してください。



6: センサーをルーフルーバーへ固定



7: 干渉キャップを取付け



8-5 スマホによる初期設定

つづき

8-5-8 センサーの接続(Installation wizard: 10/30)

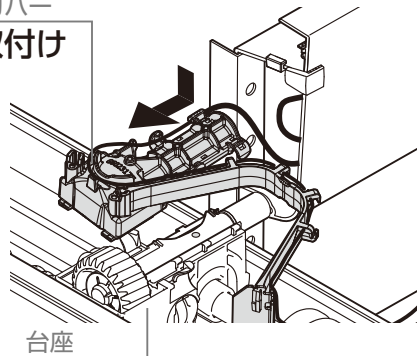
つづき

8: 台座カバーを取付け

お願い

- 「8-5-13 ルーフルーバーの取り付け」を参照してください。

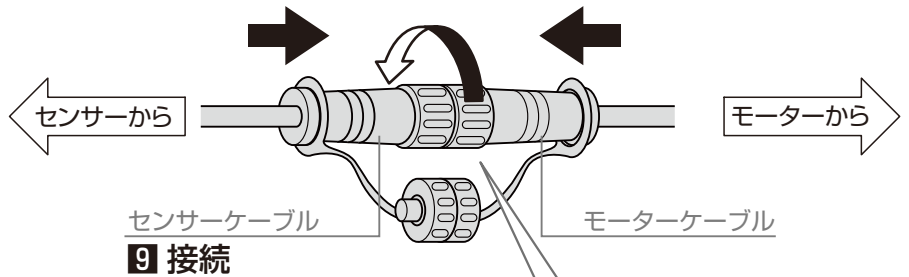
台座カバー
8 取付け



9: センサーケーブルとモーターケーブルを接続

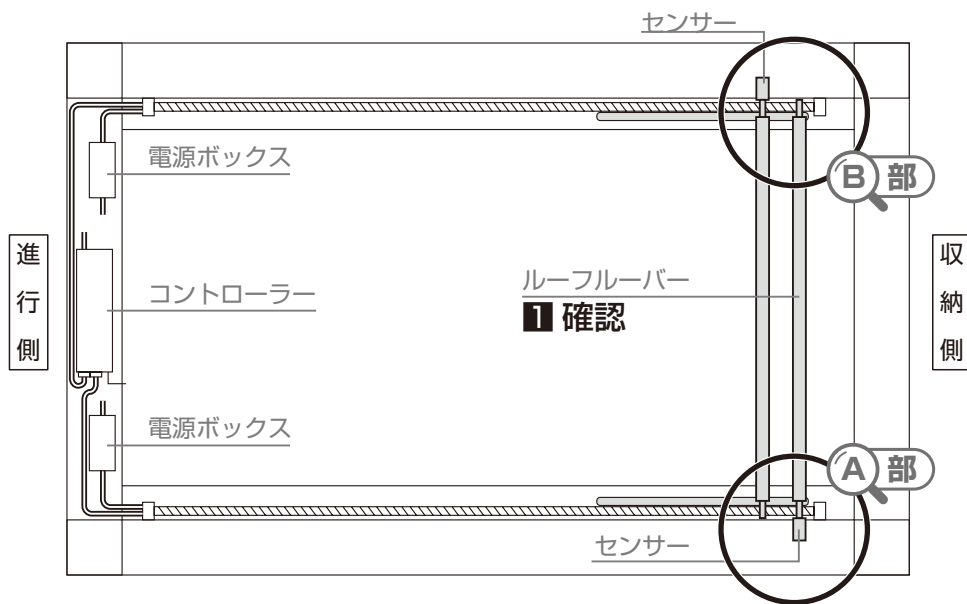
補足

- 接続後、ルーフルーバーに取付けたセンサーが点灯していることを確認してください。



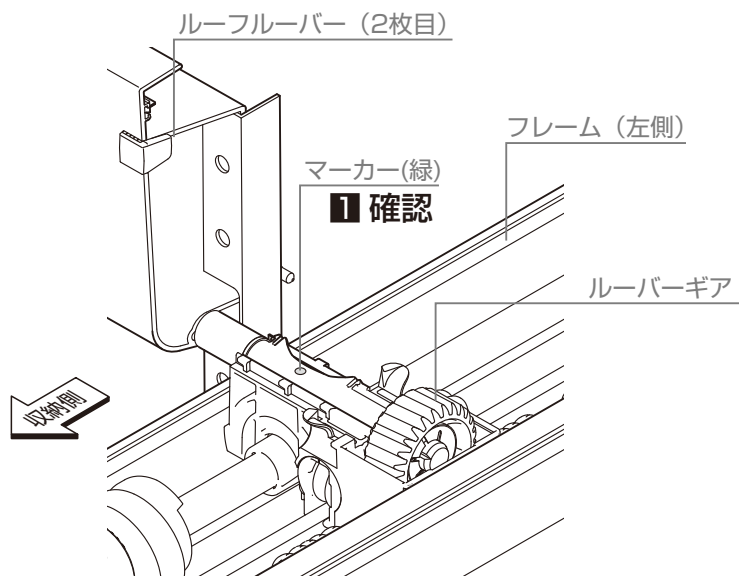
8-5 スマホによる初期設定

8-5-9 センサーの接続(Installation wizard: 11/30)

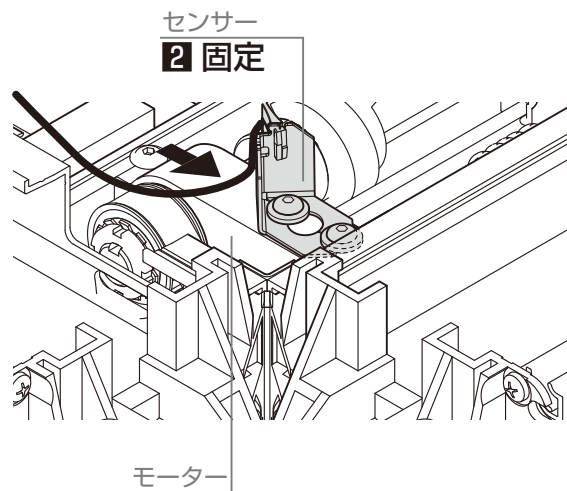


B 部詳細図

1: 2枚目のルーバーギアがあることを確認。緑色のマーカが付いていることを確認。



2: モーターにセンサーを固定



8-5 スマホによる初期設定

つづき

8-5-9 センサーの接続(Installation wizard: 11/30)

つづき

3: 干渉キャップを取外す

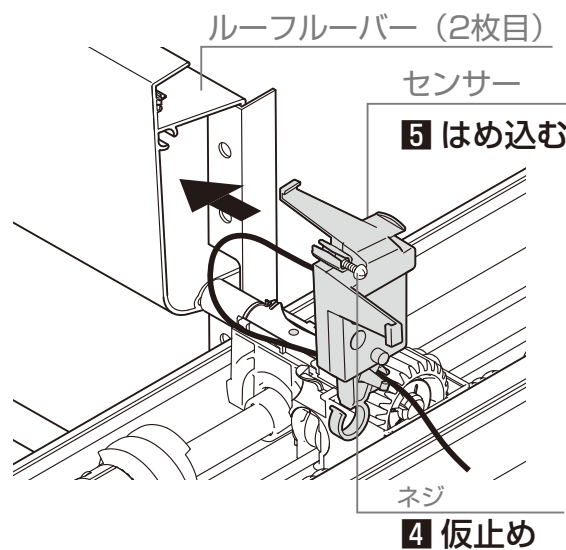
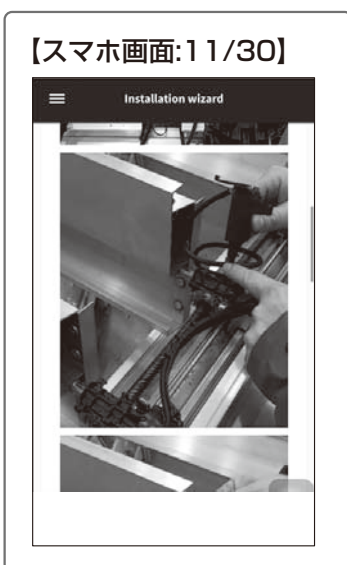


4: ネジをセンサーのネジ穴に仮止め

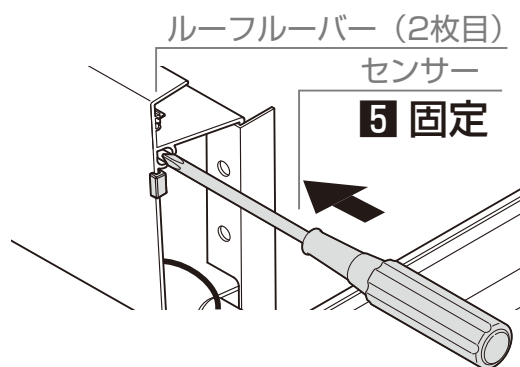
5: センサーをルーフルーバーへはめ込む

補足

- 余分なケーブルはルーフルーバーの内部に収納してください。



5: センサーをルーフルーバーへ固定



6: 干渉キャップを取付け



8-5 スマホによる初期設定

つづき

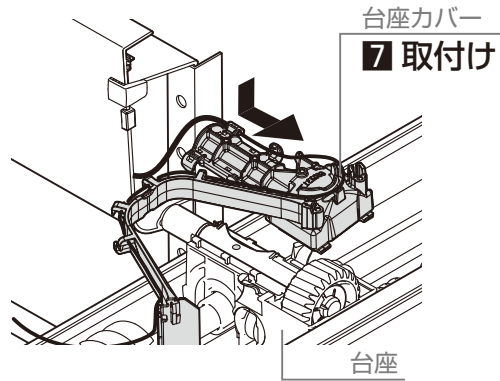
8-5-9 センサーの接続(Installation wizard: 11/30)

つづき

7: 台座カバーを取付け

お願い

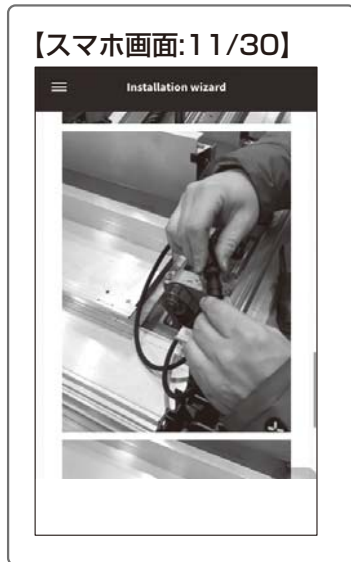
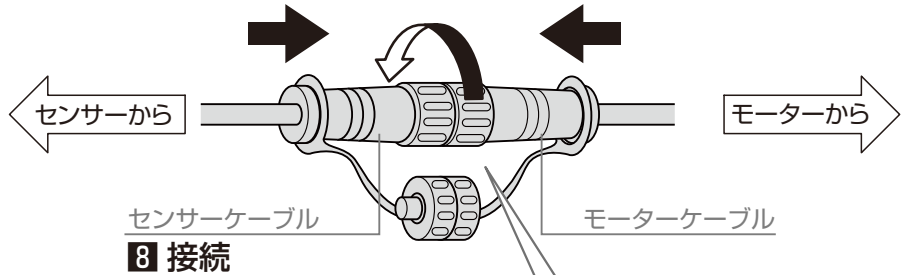
- 「8-5-13 ルーフカバーの取り付け」を参照してください。



8: センサーケーブルとモーターケーブルを接続

補足

- こちらのセンサーは、取付け向きが逆になるので点灯による通電確認はできません。



8-5 スマホによる初期設定

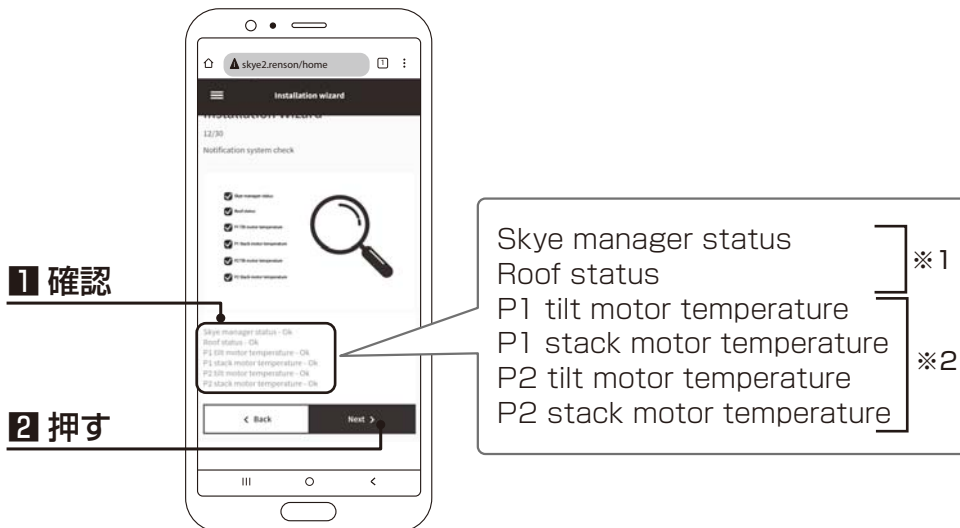
8-5-10 システムチェック(Installation wizard: 12/30)

1: システムが正常かスマホで確認
すべてOKであることを確認

お願い

※1 「Skye manager status」,
「Roof status」がNGと表示され
る場合は、8-4 8-5 の手順を見
直し、ケーブルやセンサーが正常
に取り付いているか、全てのルー
プバーが垂直に取り付いているか
ご確認ください。

※2 「P1 tilt motor temperature」
「P1 stack motor temperature」
「P2 tilt motor temperature」 「P2
stack motor temperature」がNGと
表示される場合は、モーター部が
高温となり安全装置が作用してい
ます。30分以上時間を置いてか
ら再度確認してください。



2: NEXTを押す

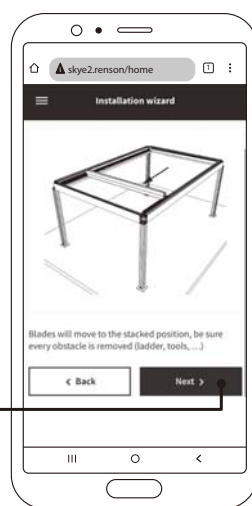
8-5-11 動作の確認(Installation wizard: 13 ~ 14/30)

1: 周囲に障害物がないことを確認し
NEXTを押す

お願い

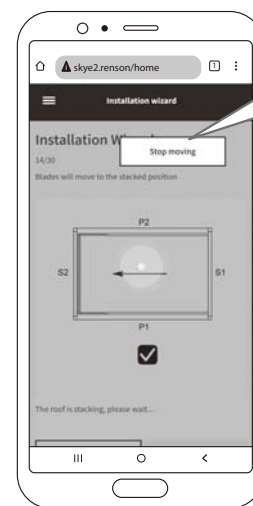
●NEXTを押すとルーフルーバーが
動作を始めます。事前に周囲に障
害物がない事を確認してください。

【スマホ画面:13/30】



1 押す

【スマホ画面:14/30】



動作を止める場合は
「Stop moving」

補足

●「8-5 スマホによる初期設定」の
途中でWi-Fiの接続が切れた場合
や画面が止まった場合は、Wi-Fi
に再接続し、再読み込みを行って
ください。

お願い

- ルーフルーバーが自動的に停止す
るまで電源を抜いたり、ブラウザ
を落としたりしないでください。
- 緊急時にはスマホ上の「stop
moving」を押して動作を停止させ
てください。

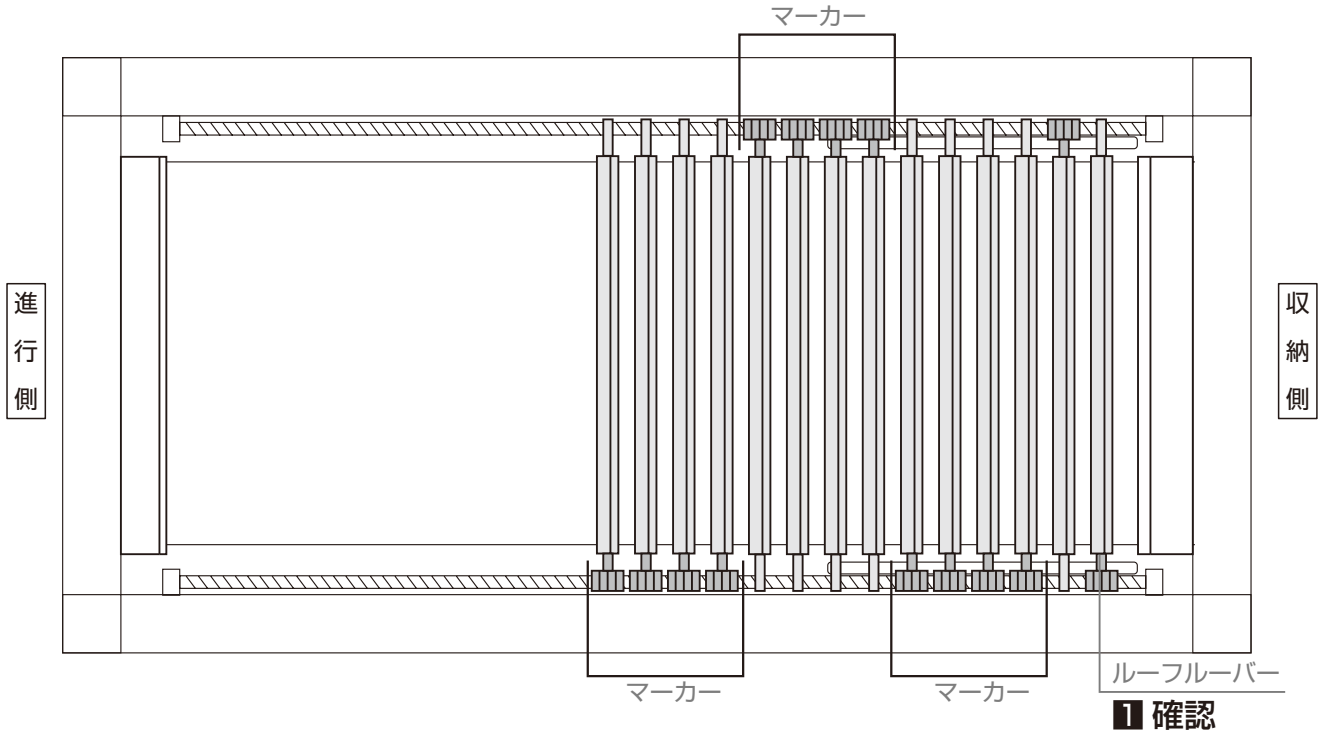
8-5 スマホによる初期設定

8-5-12 ルーフルーバー設置前の確認(Installation wizard: 15/30)

1: ルーフルーバーの取付け位置と種類を確認

補足

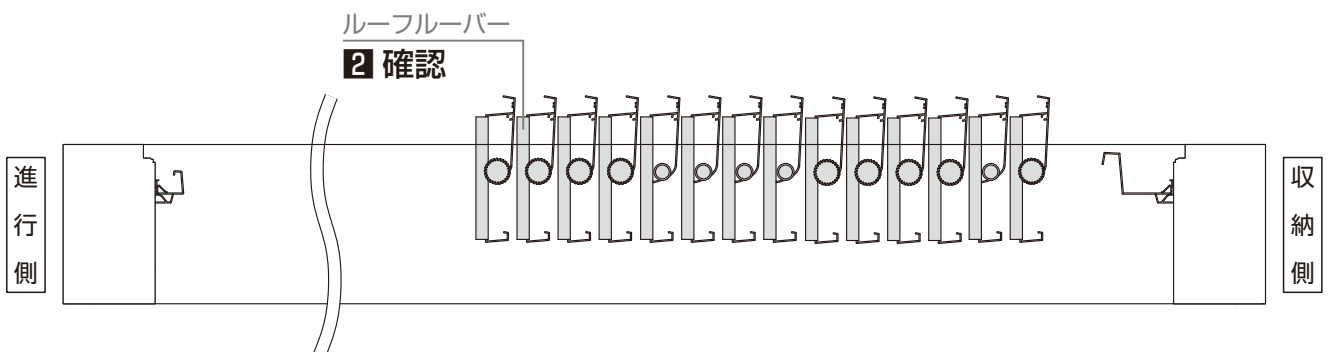
- ルーフルーバーは、フレーム(収納側)の端から取付け始め、フレーム(進行側)へ移っていきます。
- 台座は端から目安として4つずつ赤と緑で色分けがされています。



2: ルーフルーバーの向きを確認

お願い

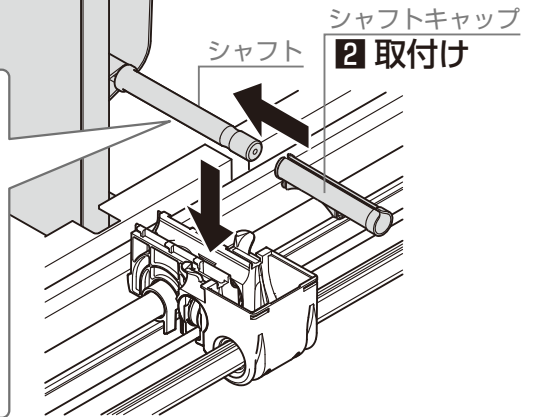
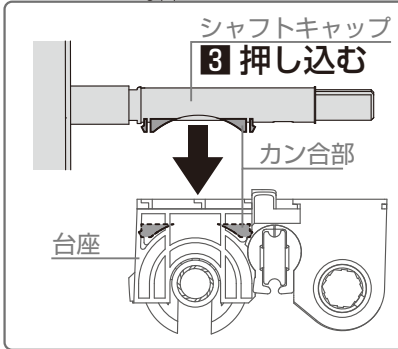
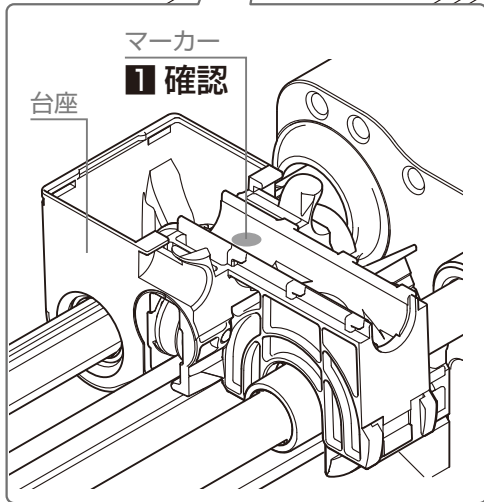
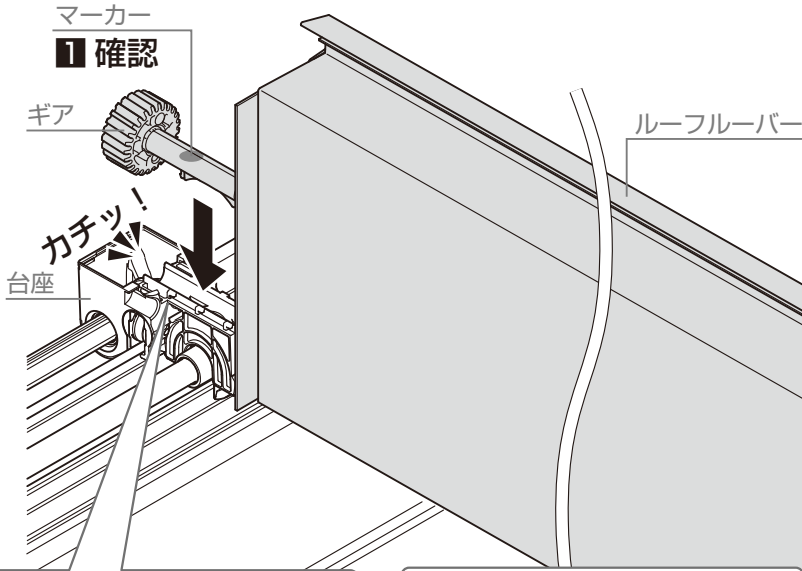
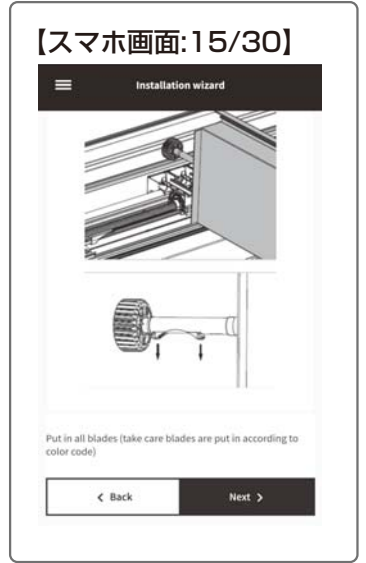
- 取付ける前に、ルーフルーバーの向きを必ず確認してください。



8-5 スマホによる初期設定

8-5-13 ルーフルーバーの取付け (Installation wizard: 15/30)

- ❶: ギア側の台座と、シャフトキャップのマーカーの色を確認
- ❷: ギア側と逆側のシャフトにシャフトキャップを取付け
- ❸: ルーフルーバーのシャフトキャップ部分を台座に垂直に押し込む

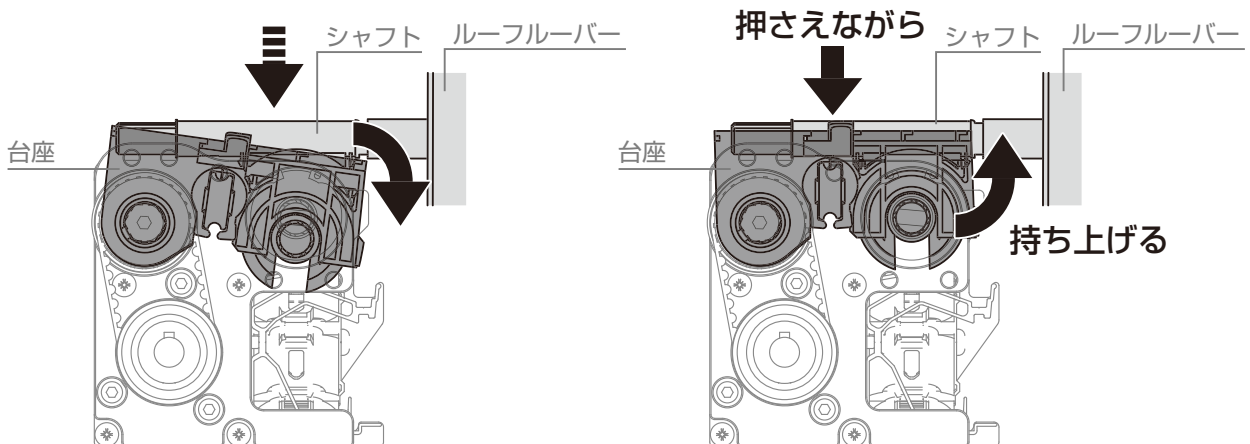


お願い

- ルーフルーバーが垂直になるように取付けてください。

補足

●ルーフルーバーを押し込むと台座が転んで上手く入らない場合があります。押し込んだ後に台座を持ち上げてキチンと取付けていることを確認してください。



8-5 スマホによる初期設定

つづき

8-5-13 ルーフルーバーの取付け (Installation wizard: 16/30)

つづき

4: 回転ローラーに台座カバーをかぶせてスライド

お願い

- 台座カバーと台座に隙間がないように取付けてください。
- 台座カバーをカチッと音がするまで押し込んでください。

台座カバー

カチッ!

台座

揃える

台座カバー

4 かぶせてスライド

台座



補足

▼ 台座カバーを外す場合 ▼

- ①のストッパーを両側から押しながら②の方向へスライドさせて外します。

台座カバー

台座

1

2

お願い

- 最初は進行側の両端には取付けません。両端は屋根部の取付けが完了してからになります。

台座

台座カバー

進行側

収納側

取付完了後

8-5-14 動作の確認(Installation wizard : 17/30)

1: 周囲に障害物がないことを確認し
NEXTを押す

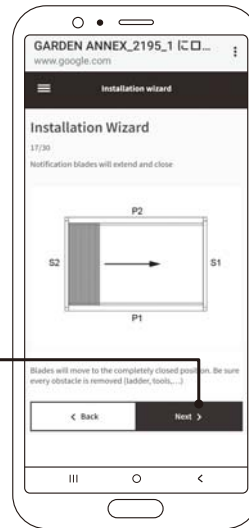

お願い

- NEXTを押すとルーフルーバーが動作を始めます。事前に周囲に障害物がない事を確認してください。


お願い

- ルーフルーバーが自動的に停止するまで電源を抜いたり、ブラウザを落としたりしないでください。
- 緊急時にはスマホ上の「stop moving」を押して動作を停止させてください。

1 押す



8-5 スマホによる初期設定

8-5-15 ルーフルーバーの位置調整(Installation wizard : 18/30~20/30)

1: ルーフルーバーと見切り材が干渉していないか確認

お願い

- ルーフルーバーと見切り材が干渉した場合、端のルーフルーバーが傾きますので元の位置へ戻してください。

▼ 干渉していない場合 ▼

2: 「Yes」を押してP.63の手順1へ

▼ 干渉していた場合 ▼

2: 「No」を選択して調整画面へ

3: 数値を入力して干渉を調整

お願い

- ルーフルーバーが干渉している場合は、4/7が表示されてから手で垂直に戻したあと数値を入力します。
- 数値は±5mmの間です。数値は両方とも同じ値にしてください。
- アプリ内の「P1」と「P2」は下記方向を表します。

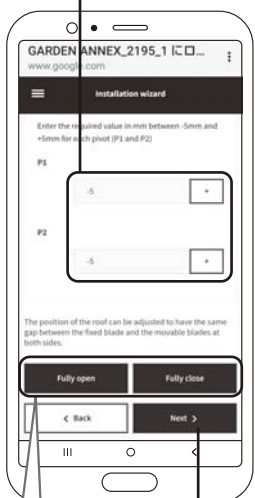
4: 調整が完了したら「NEXT」を押す
5: 確認して干渉していなければ「Yes」を押す



干渉していない場合→P.63へ

干渉していた場合

3 [必要数値] 入力



4 [NEXT] を押す



5 [Yes] を押す

[Fully open]:ルーフルーバーを開いて確認できます
[Fully close]:ルーフルーバーを閉じて確認できます

8-5 スマホによる初期設定

8-5-16 ルーフルーバーの仕上げ(Installation wizard : 21/30~22/30)

1: 台座カバーの取付け

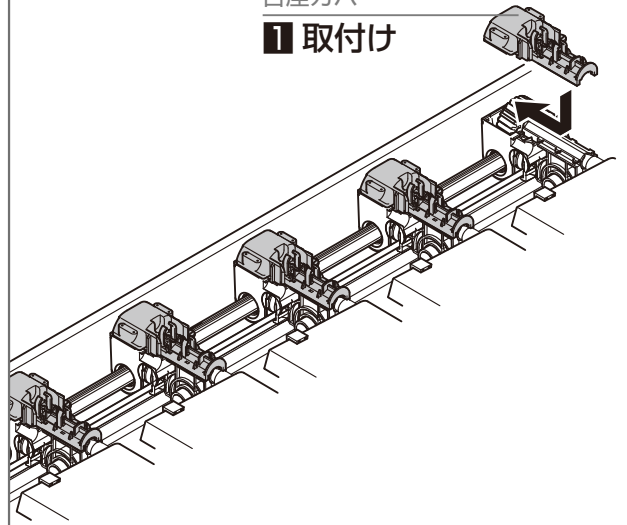
お願い

- 設定中にルーフルーバーがずれた場合、台座カバーを外して元の向きに戻してください。



台座カバー

1 取付け



2: 住所等、地域情報を入力

3: 入力が完了したら「Next」を押す

お願い

- 地域情報の欄は、すべて入力しないと[Next]を押せません。
- 地域情報は天候センサー用(不使用)のため仮情報でも構いません。

2 入力



2 入力



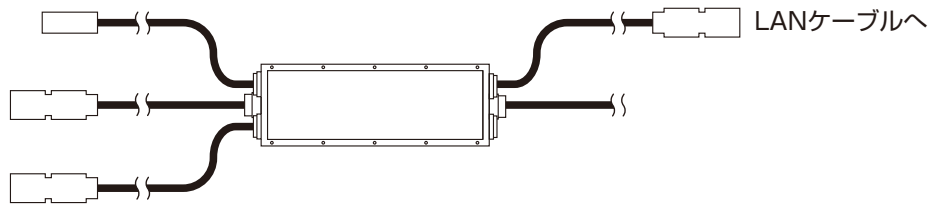
3 [Next] を押す

【入力例】

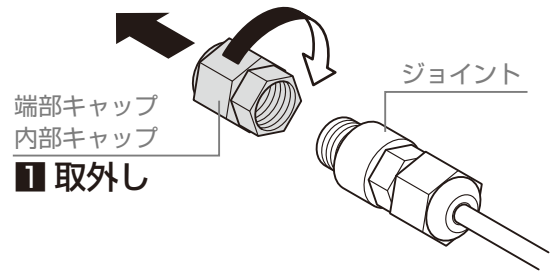
Country(国): JAPAN
 Postal code(郵便番号): 123-4567
 City(都市): 東京都
 Street(市町村): ○○市○○町
 No/Bus(番地): 1-2-3

8-5 スマホによる初期設定

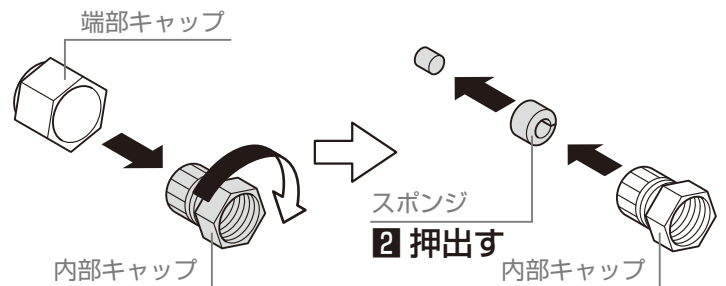
8-5-17 LANケーブルの接続(Installation wizard : 23/30~)



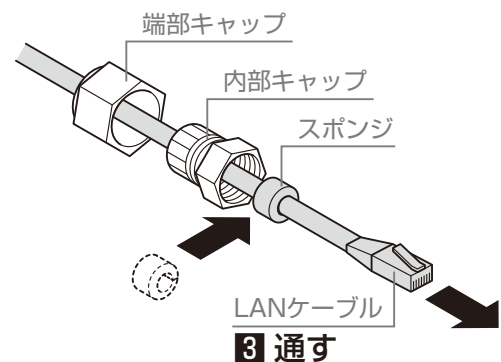
1: ジョイント部品から端部キャップと内部キャップを取外し



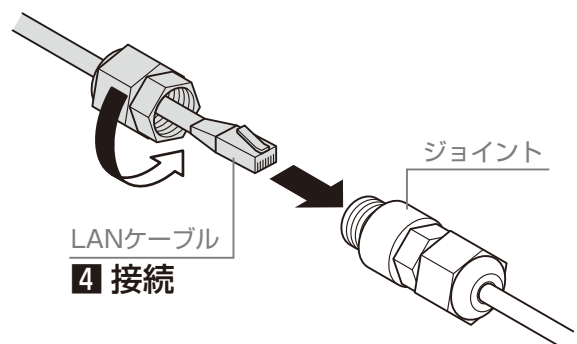
2: 内部キャップのスポンジを押し出す



3: LANケーブルをスポンジに通し端部キャップを通す



4: LANケーブルコネクタへ接続



8-5 スマホによる初期設定

8-5-18 | 仕上げ(Installation wizard : 24/30~30/30)

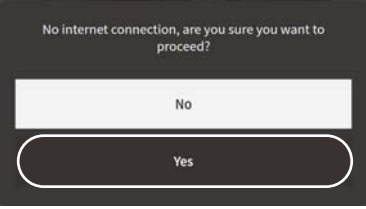
1: 「Next」を押し28/30ページまで移動

お願い

- Installation wizardの24/30 ~ 28/30ページは設定を行ないません。すべて「NEXT」を押して飛ばしてください。

補足

- インターネット接続エラーが表示された場合は「Yes」を選択してください。



- 設定操作中にスマートフォンが反応しなくなった場合は、再読み込みを行ってください。

2: 製品の名称を登録

推奨名称	SKYE2
------	-------

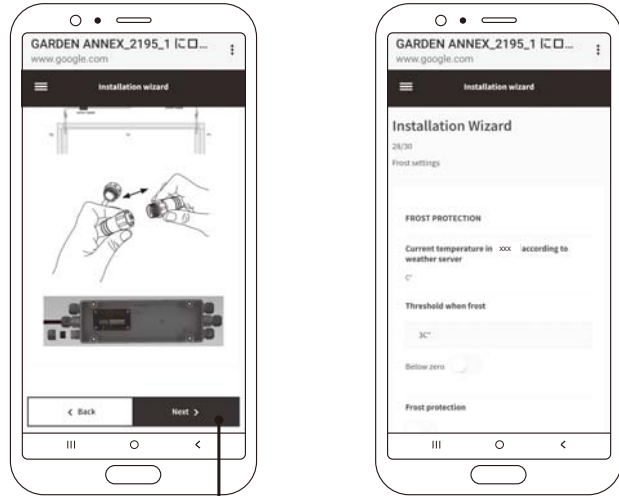
補足

- 登録名称を変更した場合、**8-5-1 | コントローラーとスマホの接続** ローカルWi-Fiのネットワーク名が変更されます。

3: 最終ページ(30/30)で「Finish」を押す

お願い

- 「10仕上げ」をご参照し、施工を進めてください。「FINISH」を押してすべての設定が完了します。
- LEDなどのオプション品の取付を行う場合は、本体のスマホでの設定をすべて完了させてから行ってください。「FINISH」を押さなかった場合、正常に設定が完了されません。



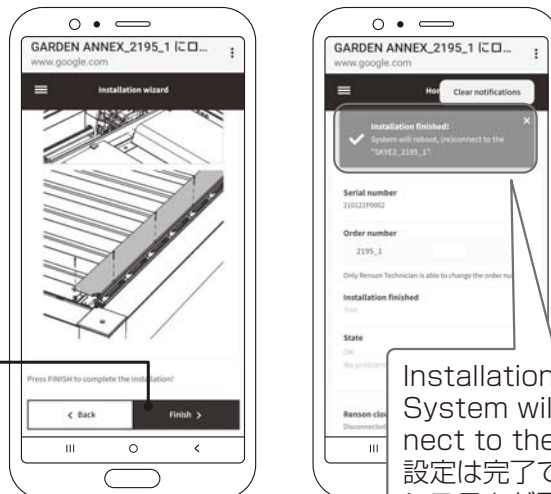
1 押す

【スマホ画面:29/30】



2 登録

【スマホ画面:30/30】



3 押す

Installation finished!
System will reboot,(re)connect to the "xxxx" .
設定は完了です。
システムが再起動されるので、Wi-Fiの再接続を行ってください。

9 オプションの施工

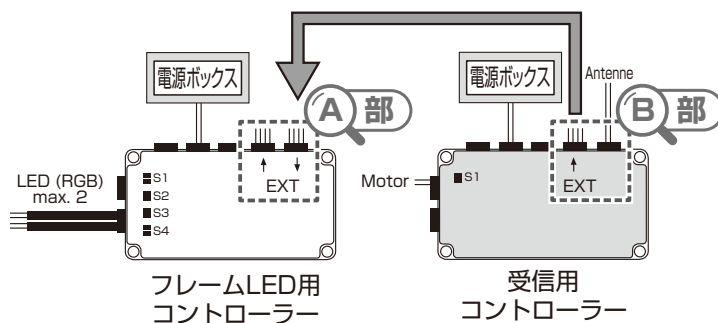
9-1 フレームLEDの取付け

9-1-1 | コントロールボックスの接続 ※コントロールボックスが複数ある場合

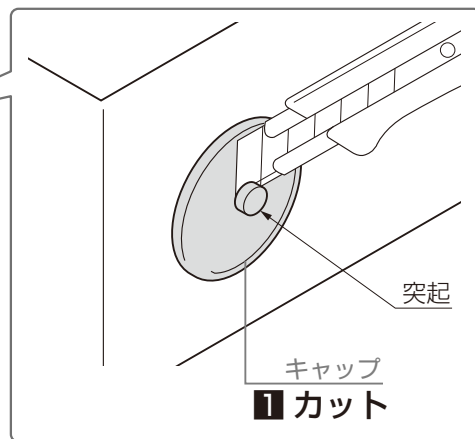
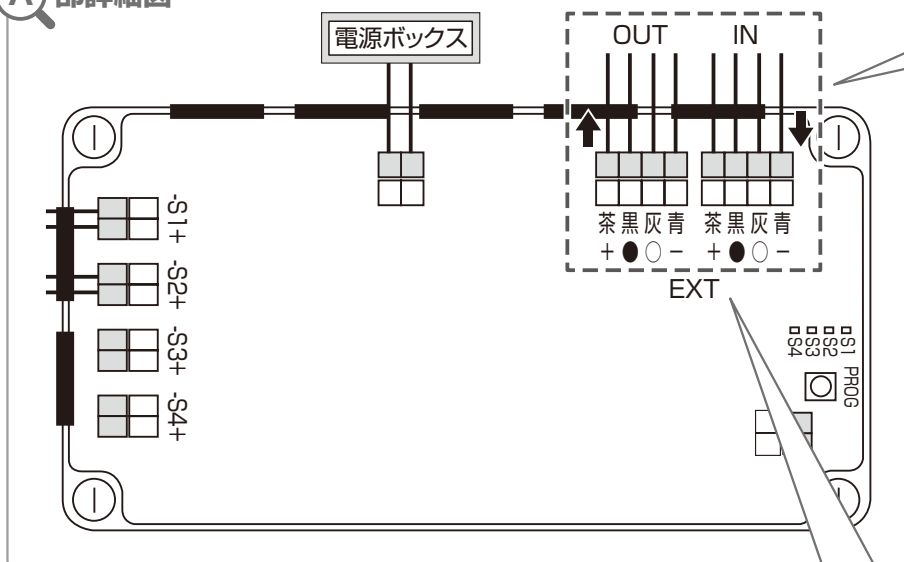
- 1: キャップ部分をカットして穴あけ
- 2: 各コントローラーを連結ケーブルで接続

お願い

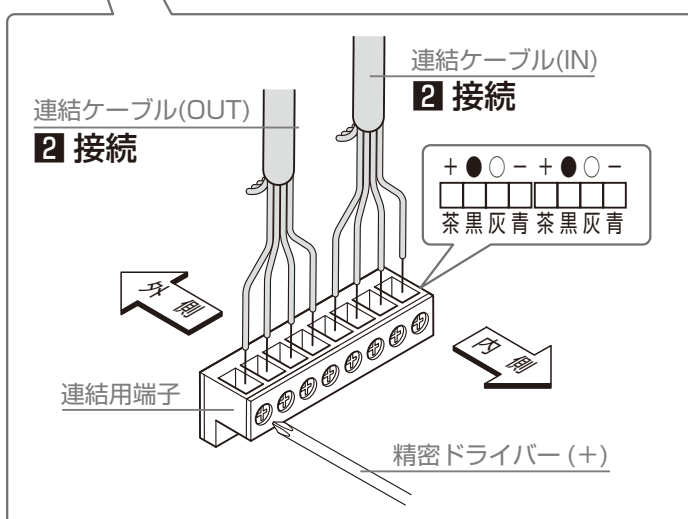
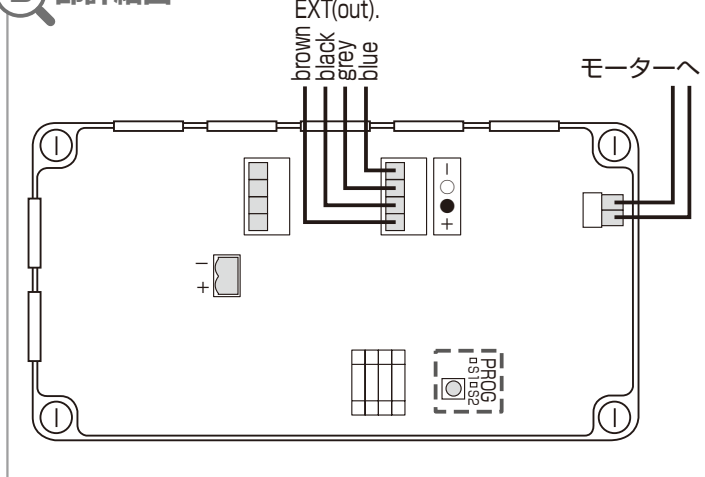
- モーター用コントロールボックスを起点としてください。
- OUT→INで接続してください。



A部詳細図



B部詳細図



9-1 フレームLEDの取付け

9-1-2 フレームLEDの接続

①: LED本体のケーブルと、コントローラボックスのLEDケーブルを接続

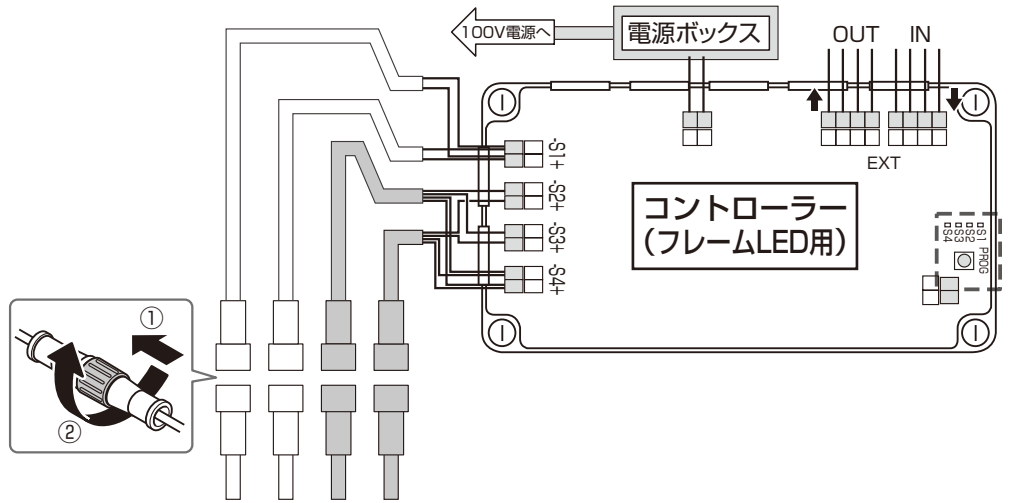
補足

- コントローラ(LED用)1個につきLEDを4カ所まで接続可能です。

例 : フレームLED(RGB)…2カ所
 フレームLED(電球色)…2カ所
 コントローラ(LED用)

LEDの種類	
LED(White)	
LED(RGB)	

※同色のケーブルを接続する。



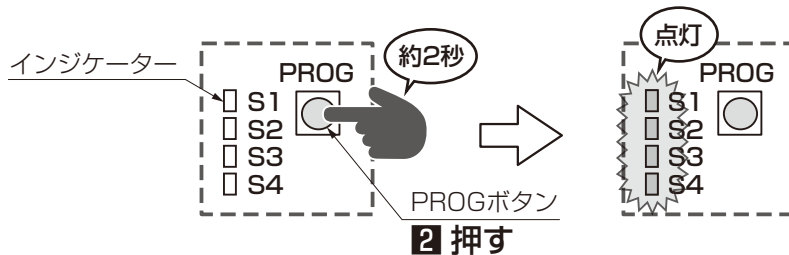
9-2 LEDの初期設定

9-2-1 フレームLEDの設定

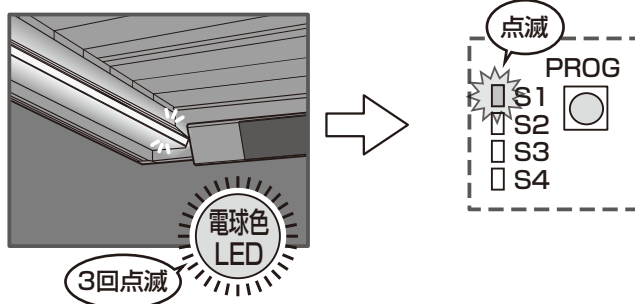
1:コントロールボックスのインジケータ
ターが同時に点灯するまでPROGボ
タンを押す(約2秒)

補 足

●確認のためLEDが3回点滅したあ
と、S1のインジケータが点滅
します。



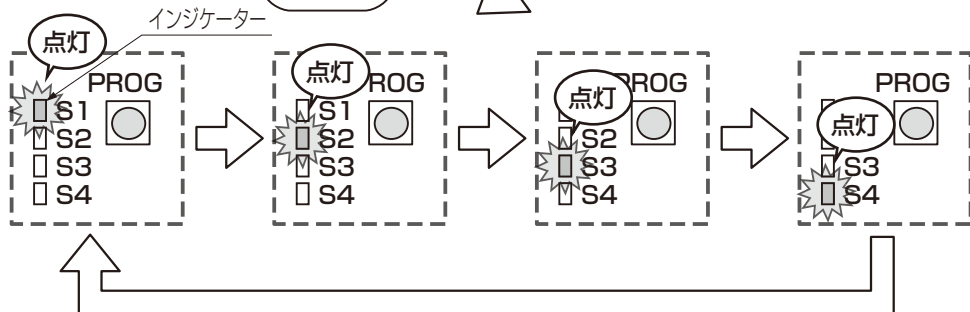
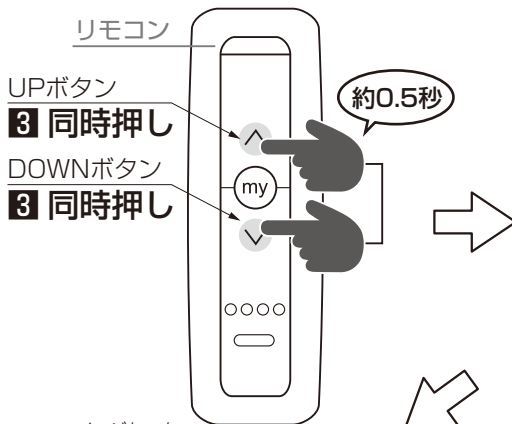
2 押す



2:リモコンのUPボタンとDOWNボタ
ンを同時に押す(約0.5秒)

補 足

●確認のためLEDが3回点滅したあ
と、S1～S4のインジケータが
順番に点灯をくり返します。



9-2 LEDの初期設定

つづき

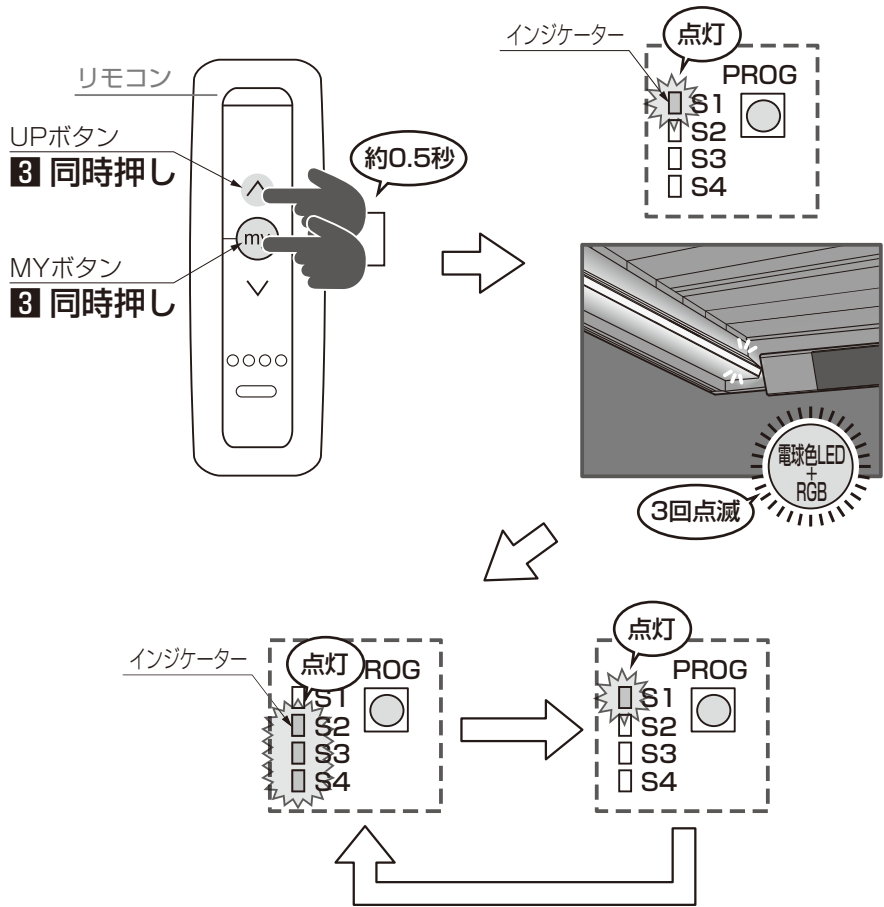
9-2-1 フレームLEDの設定

つづき

3: リモコンのUPボタンとMYボタンを同時に押す(約0.5秒)

補足

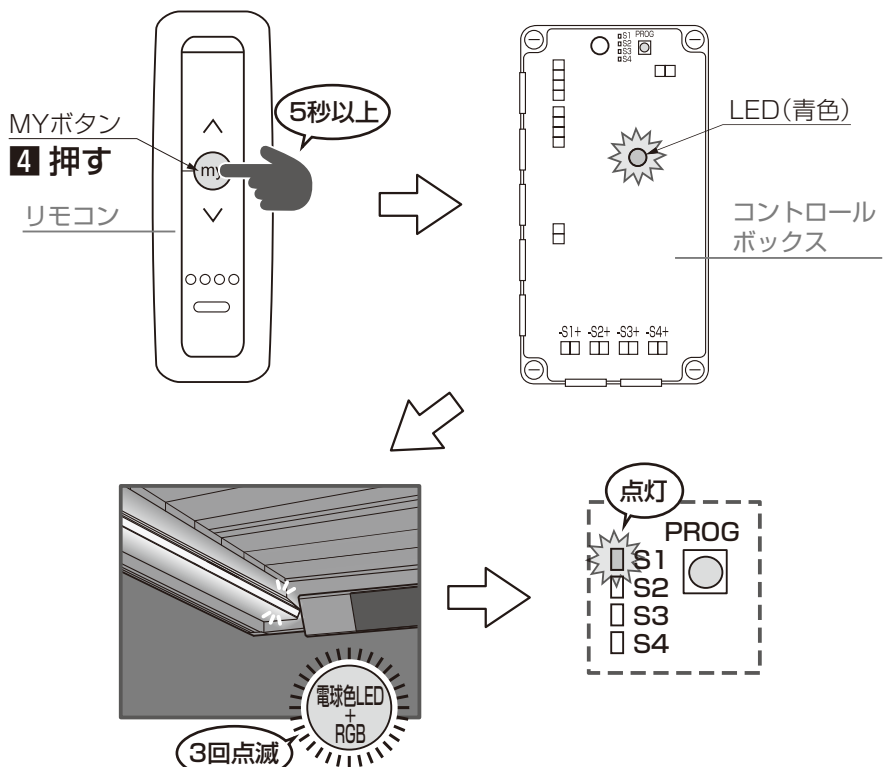
●確認のためS1のインジケータが点灯し、同時にLEDが3回点滅します。
 続いて「S2、S3、S4のインジケータが同時に点灯」→「S1が点灯」が繰り返されます。



4: コントロールボックスのLED(青色)が点灯するまで、リモコンのMYボタンを押し続ける(5秒以上)

補足

●確認のためLEDが3回点滅したあと、コントロールボックスのS1が点灯します。



9-2 LEDの初期設定

つづき

9-2-1 フレームLEDの設定

つづき

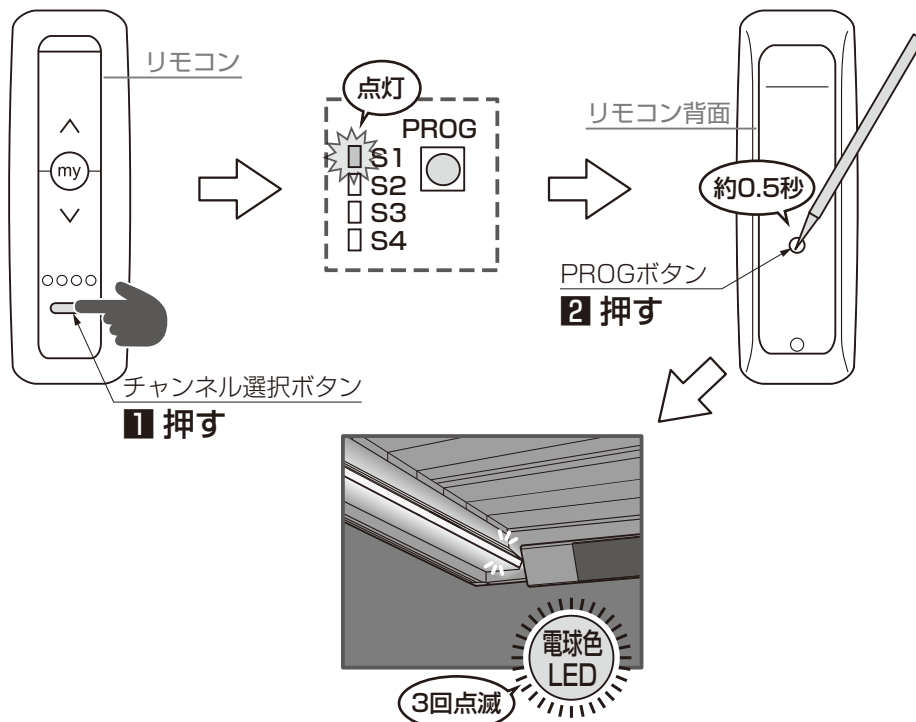
▼ 電球色LEDの登録 ▼

1: リモコンで任意のチャンネルを選択

2: リモコン背面のPROGボタンを押す (約0.5秒)

補足

●確認のためLED (電球色) が3回点滅します。



▼ RGB LEDの登録 ▼

1: LEDコントロールボックスのPROGボタンを押す (約2秒)

補足

●確認のためコントロールボックスのS2、S3、S4が同時に点滅したあと、LED本体のLED (赤/緑/青) が3回点滅します。

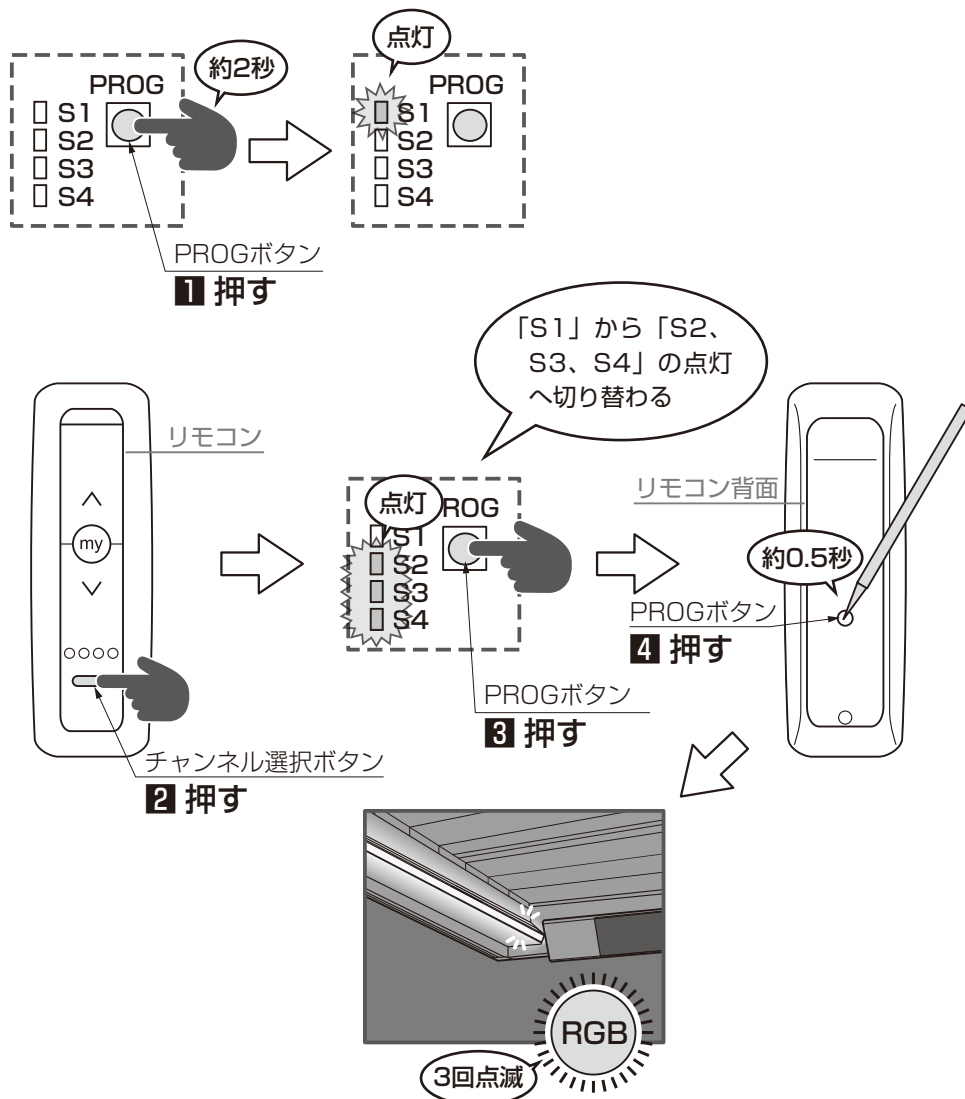
2: リモコンで任意のチャンネルを選択

3: LEDコントロールボックスのPROGボタンを押す (約0.5秒)

4: リモコン背面のPROGボタンを押す (約0.5秒)

補足

●確認のためLED (赤/緑/青) が3回点滅します。



9-2-2 | コントロールボックスの初期化

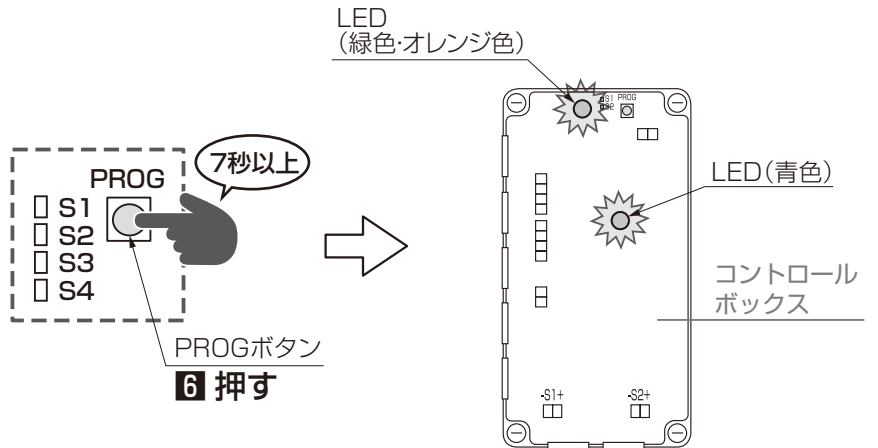
●LEDが正常に作動しない場合は、以下の初期化を実行し、設定しなおしてください。

▼ LED用コントロールボックス ▼

1: コントロールボックスの緑、オレンジ、青のLEDが点灯するまでPROGボタンを押し続ける(7秒以上)

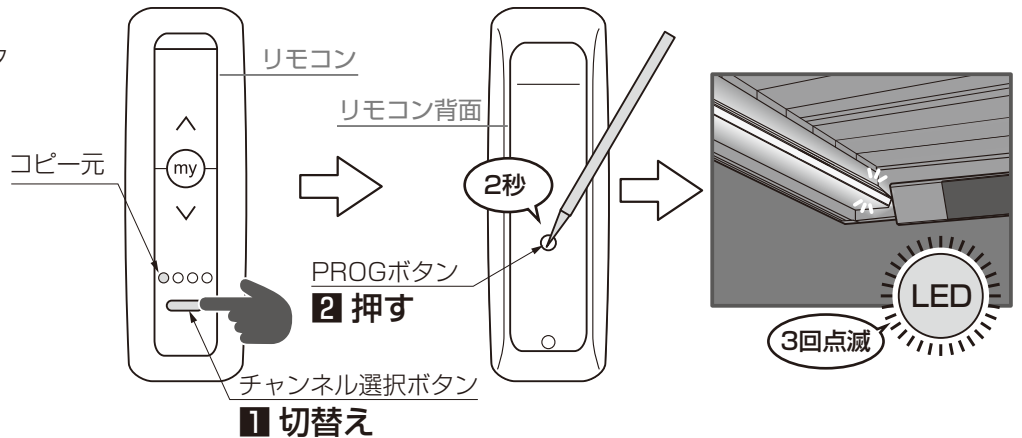
お願い

- LEDの設定方法は P.68 |9-2-3| フレームLEDの設定を参照してください。



9-2-3 | 一斉操作の設定

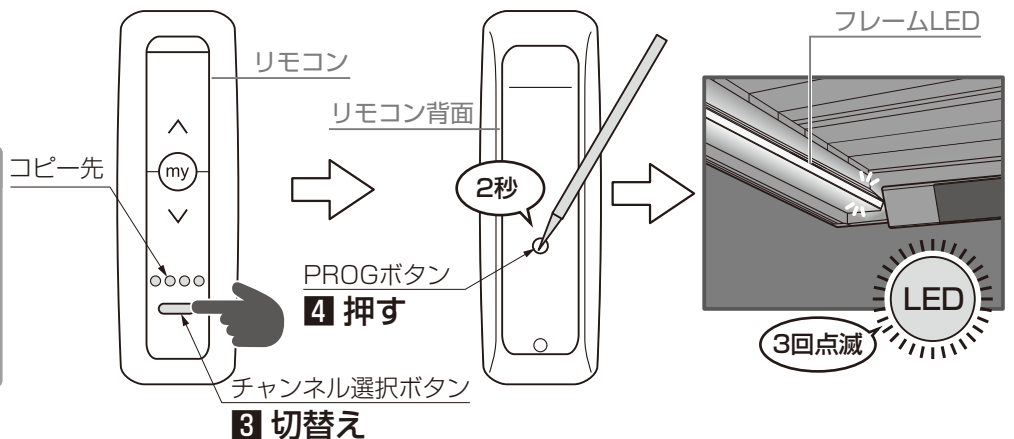
1: コピーしたいチャンネルに切替え
2: リモコンの背面にある「PROGボタン」を押す(2秒)



3: コピー先のチャンネルに切替え
4: リモコンの背面にある「PROGボタン」を押す(2秒)

お願い




- 複数のLEDを登録する場合は1~4を繰り返してください。
- 一斉操作設定後、解除する場合は解除したいチャンネルを選択後、1~4を行ってください。



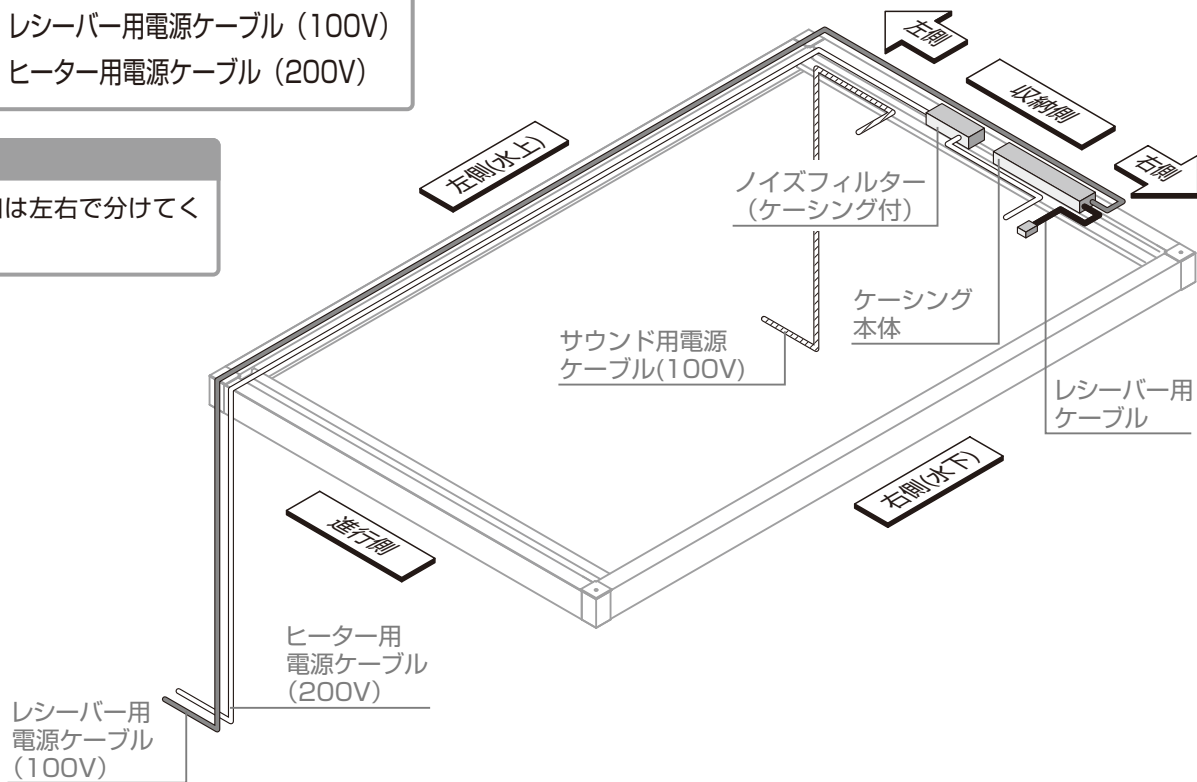
9-3 サウンド&ヒーターの取付け

9-3-1 本体とケーブルの取り回し位置の確認

左側  サウンド用電源ケーブル (100V)

右側  レシーバー用ケーブル
 レシーバー用電源ケーブル (100V)
 ヒーター用電源ケーブル (200V)

お願い
 ●ケーブルの出口は左右で分けてください。



補足
 ●ケージングはヒーター1基につき2つ設置します。

9-3 サウンド&ヒーターの取付け

お願い

- フレームを躯体に取付ける前に、配線の取回しをしてください。

9-3-2 吊り金具の取付け

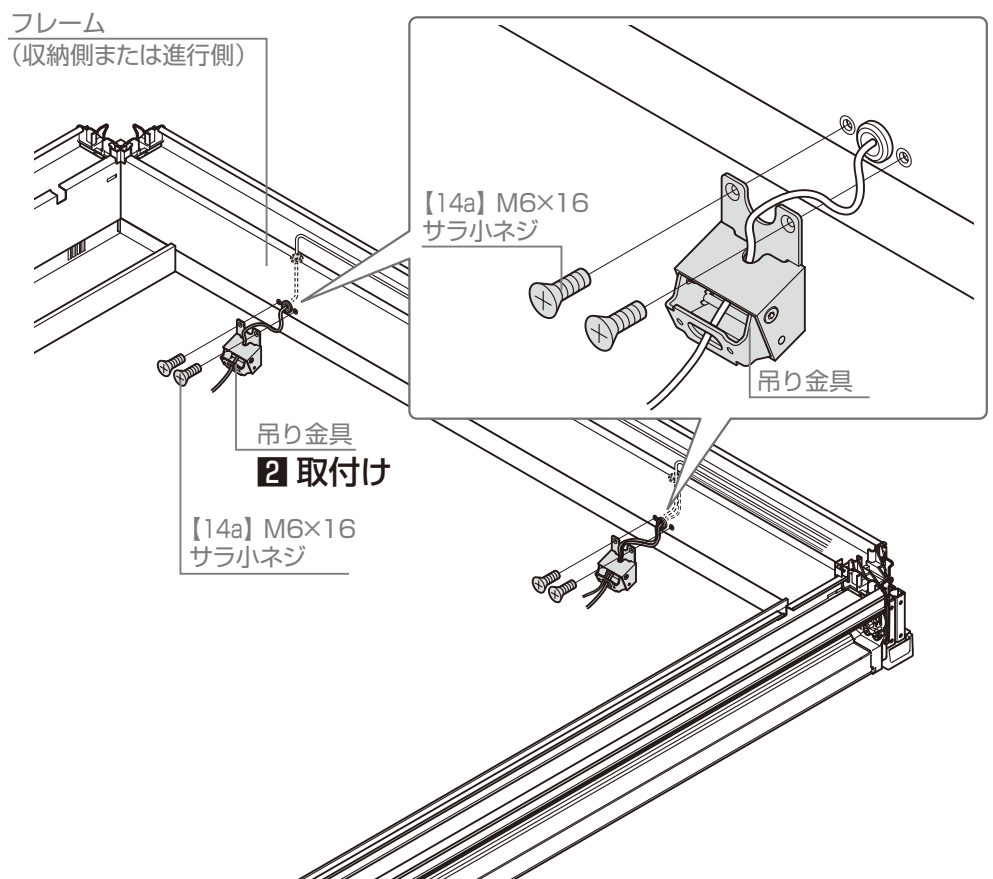
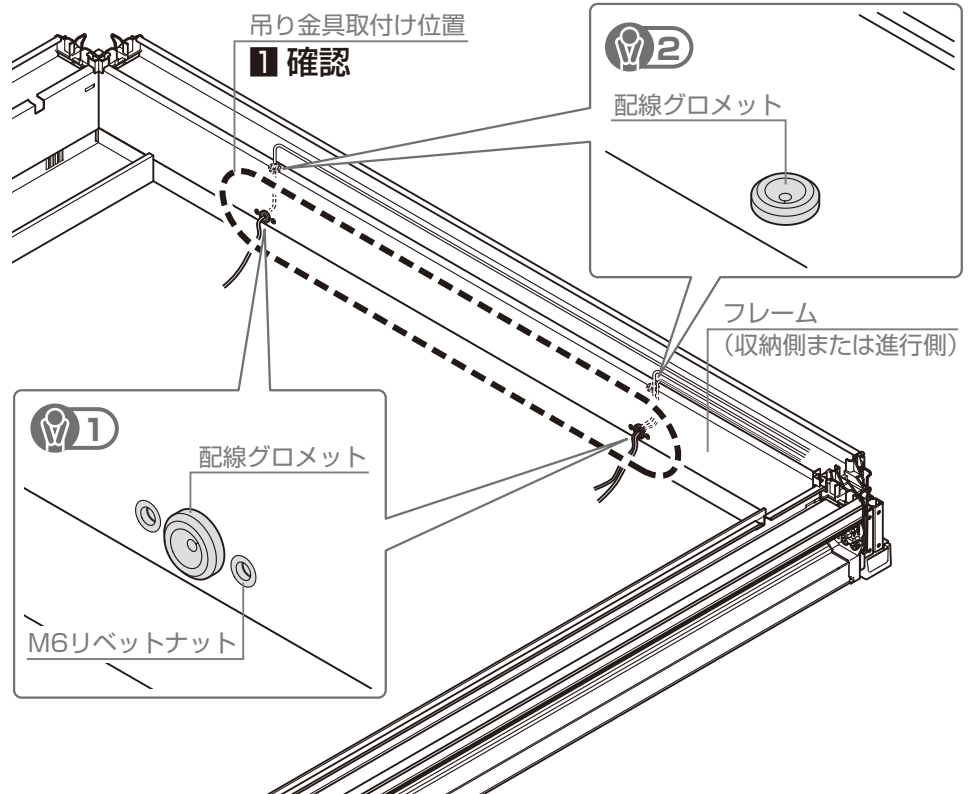
- 1**: フレーム (収納側または進行側) の吊り金具取付け位置を確認

お願い 1

- 吊り金具取付け位置に、配線グロメットとM6リベットナットが取付けられていることを確認してください。

お願い 2

- フレーム (収納側または進行側) の上部に、配線グロメットが取付けられていることを確認してください。



- 2**: 吊り金具をフレーム (収納側または進行側) に【14a】で取付け

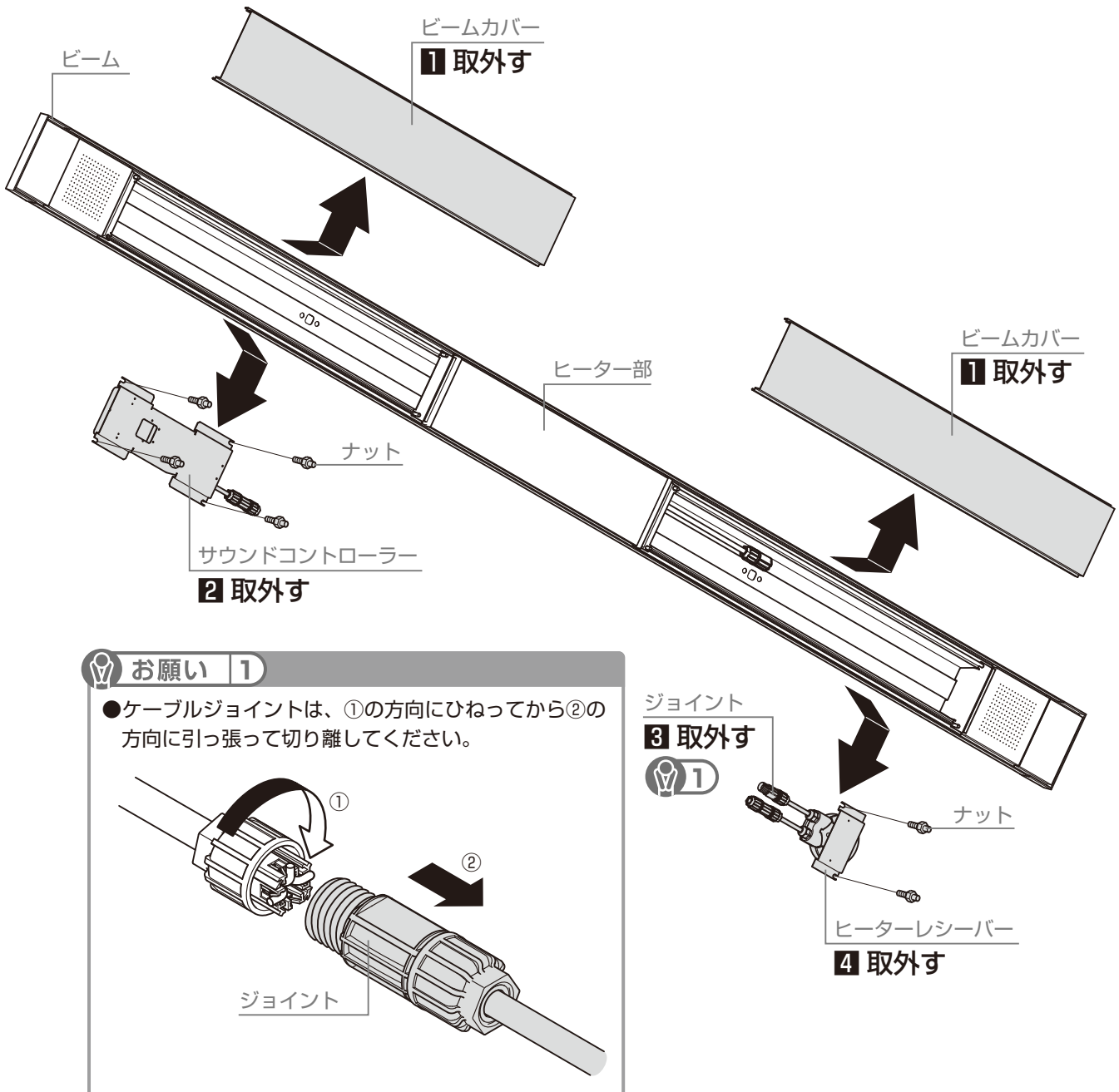
9-3 サウンド&ヒーターの取付け

9-3-3 ビームの取付け

- 1: ビームカバーをビームから取外す
- 2: サウンドコントローラーを取外す
- 3: ヒーターレシーバーとヒーターのケーブルジョイント部を取外す
- 4: ヒーターレシーバーを取外す

お願い

●取外したネジは取付けの際に使用しますので、保管してください。



お願い 1

●ケーブルジョイントは、①の方向にひねってから②の方向に引っ張って切り離してください。

9 オプションの施工

9-3 サウンド&ヒーターの取付け

つづき

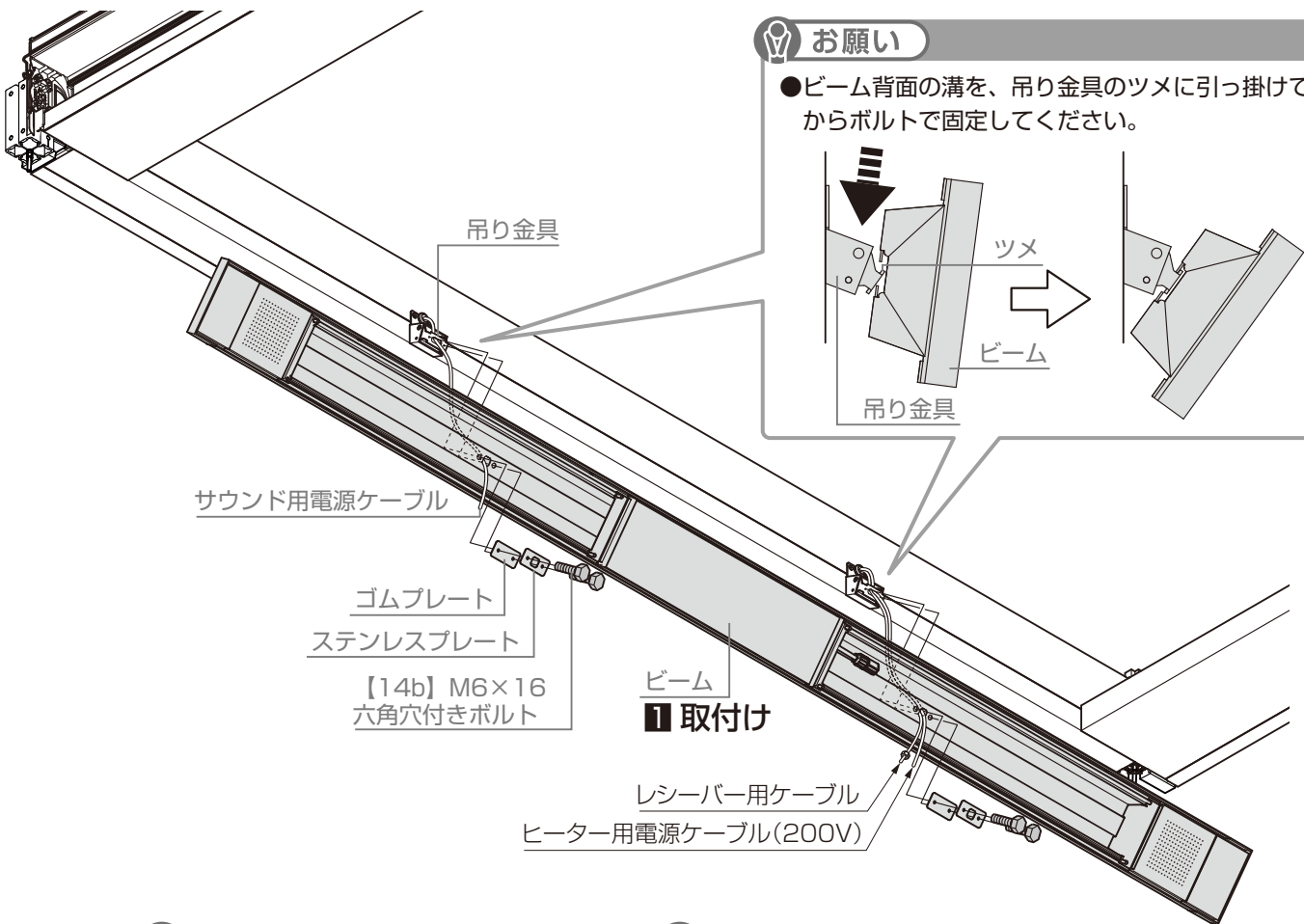
9-3-3 ビームの取付け

つづき

1: ビームを吊り金具に吊り金具正面から取外した【14b】ボルトで取付け

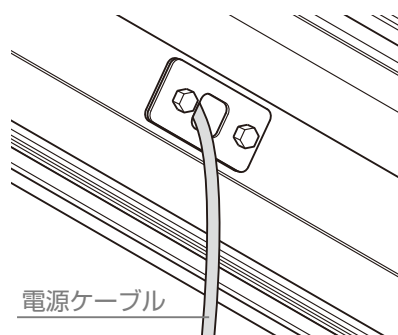
お願い

- ヒーターレシーバーは、ビームを正面から見て右側になるように取付けてください。



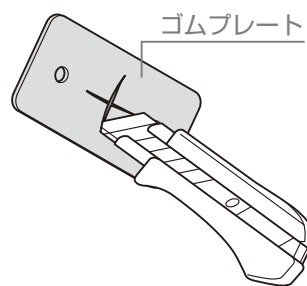
お願い

- 電源ケーブルは、ビームの開口部を通して正面側に出ている状態にしてください。



お願い

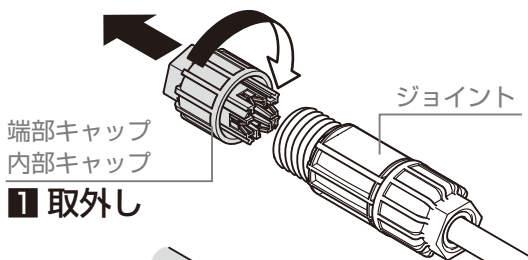
- 吊り金具の固定位置に電源ケーブルがある場合は、ゴムプレートに切り込みを入れて電源ケーブルを通してください。



9-4 ヒーターの取付け

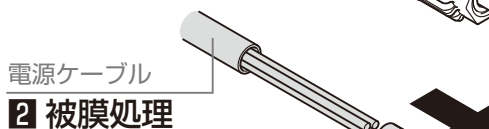
9-4-1 | 電源ケーブル (200V) の接続

1: ヒーターレシーバーのジョイント部品から、端部キャップと内部キャップを取外し



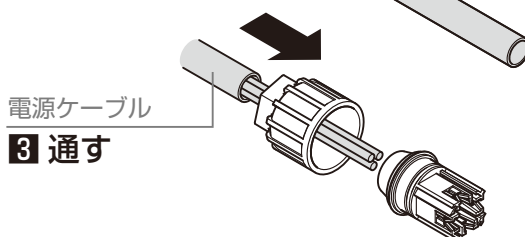
1 取外し

2: 電源ケーブルの端部をカットし、被膜処理



2 被膜処理

3: 電源ケーブルの先端を、端部キャップと内部キャップに通す

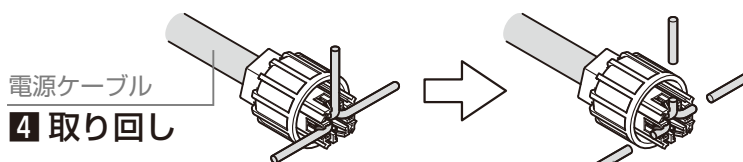


3 通す

4: 電源ケーブルの各色の先端を、内部キャップに表示されている番号へ取り回し

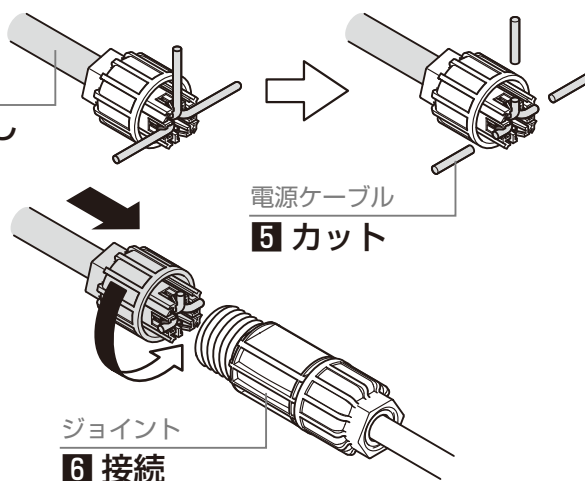
- 配線【青】→1
- 配線【茶】→2
- 配線【黄】→アース

5: 内部キャップからはみ出ている余分な電源ケーブルをカット



4 取り回し

6: 5で完成したケーブルと、ヒーターレシーバーのジョイント部品を、矢印を合わせて接続



5 カット

6 接続

お願い

- ジョイント部品は、回らなくなるところまできつく締めてください。

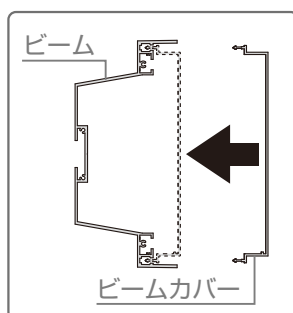
9-4-2 | ヒーターレシーバーの取付け

1: ヒーターレシーバーを元の位置に戻し、ナットでビームに取付け

2: ヒーターレシーバーとヒーターのケーブルジョイント部を接続

3: レシーバー用ケーブルをヒーターレシーバーに接続

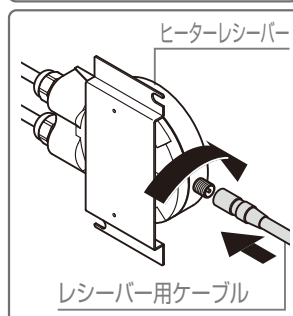
4: ビームカバーをビームに取付け



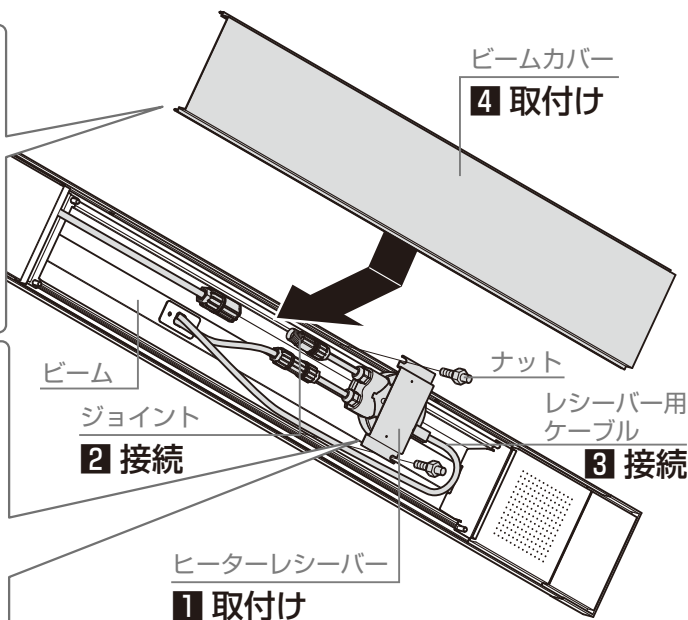
4 取付け

お願い

- 最初にヒーターレシーバーを取り外した際のナットを使用して取付けてください。
- ヒーターレシーバーを取付ける際は、表裏の向きを確認してください。



1 取付け



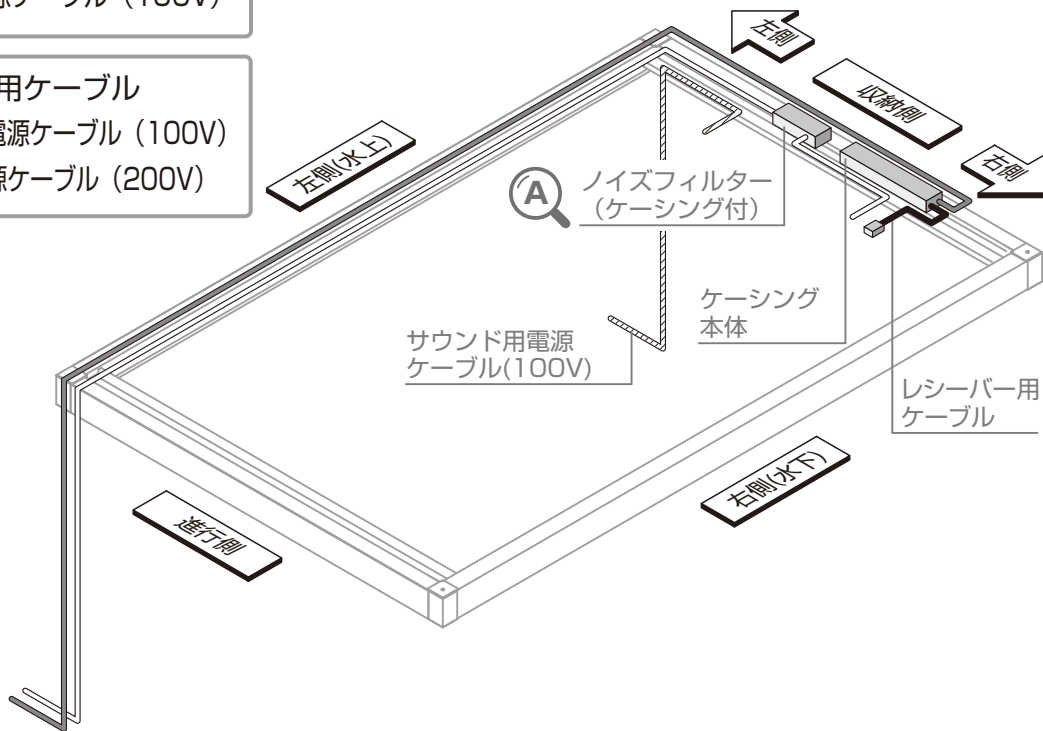
2 接続

3 接続

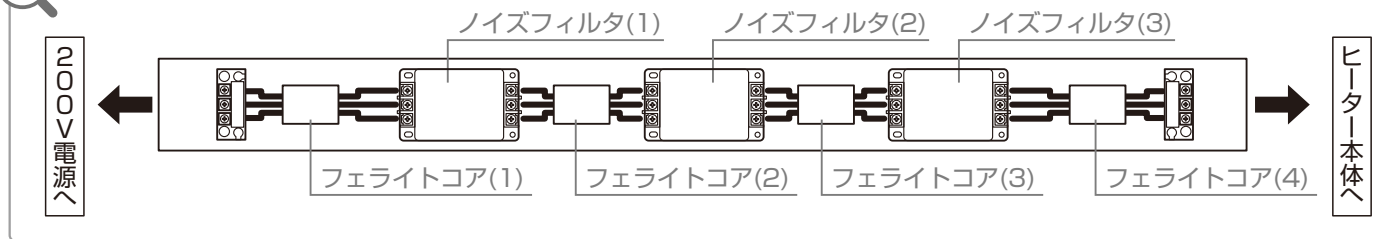
9-4 ヒーターの取付け

9-4-3 ノイズフィルタの接続

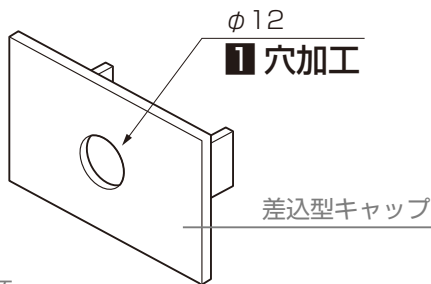
- 左側
 - サウンド用電源ケーブル (100V)
- 右側
 - レシーバー用ケーブル
 - レシーバー用電源ケーブル (100V)
 - ヒーター用電源ケーブル (200V)



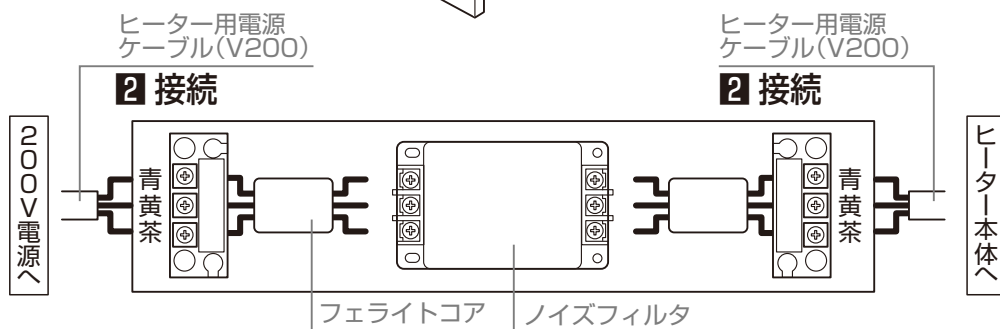
A 部詳細図



1: 差込型キャップの任意の位置にφ12の穴加工



2: 電源ケーブルを任意の位置で切断し、間にノイズフィルタを接続

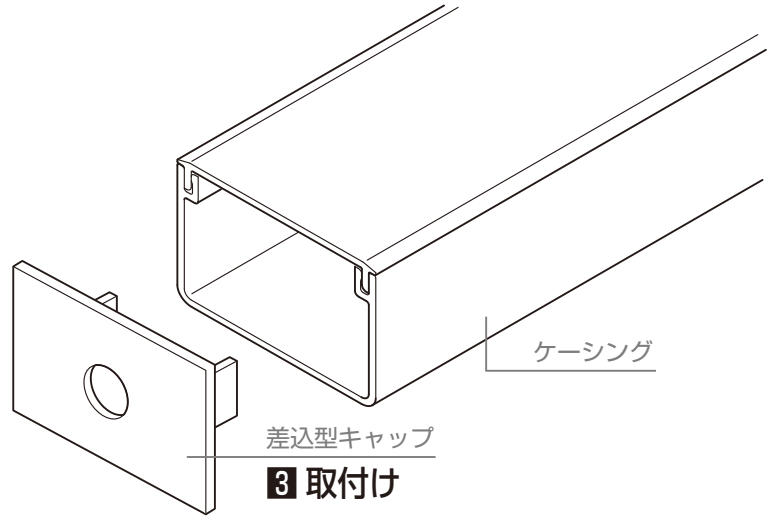


9-4 ヒーターの取付け

つづき

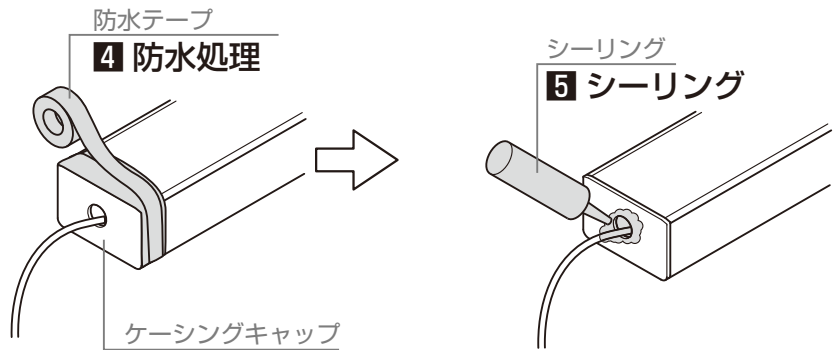
9-4-4 ノイズフィルタの接続

3: 差込型キャップをケーシング本体に取付け



4: 接合部を防水テープで防水処理

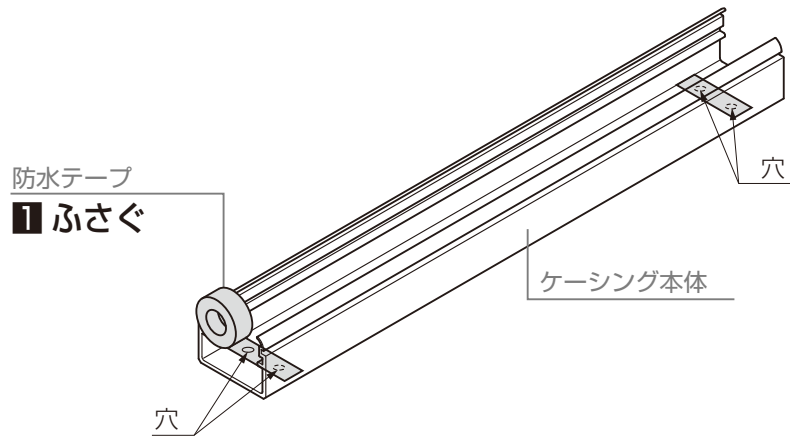
5: ケーブルを通す穴にシーリング



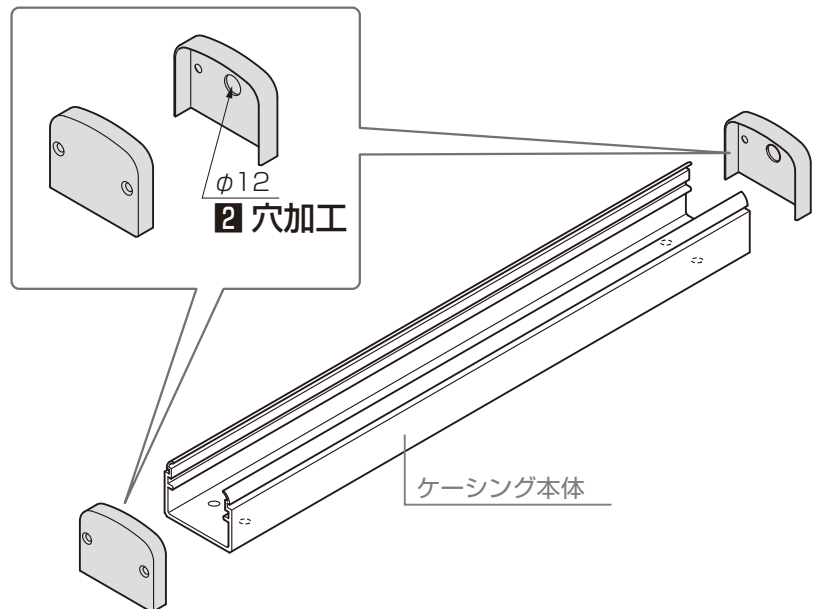
9 オプションの施工
9-4 ヒーターの取付け

9-4-5 ケーシングの準備

1: ケーシング底面のすべての穴を防水テープでふさぐ

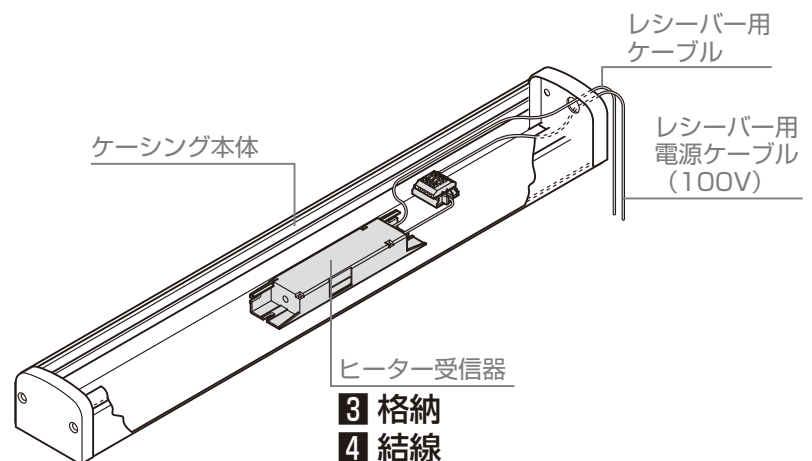


2: 任意の位置にφ12の穴加工



3: ケーシング内にヒーター受信器を格納

4: ヒーター受信器とレシーバー用ケーブル、電源ケーブル(100V)をケーシング内部で結線



💡 お願い

- ケーブルの結線の方法については P.80 |9-4-6| ケーブルの接続 を参照してください。
- 結線はケーシング内部で行なってください。

9-4 ヒーターの取付け

9-4-6 ケーブルの接続

1: レシーバー用ケーブルを端子台(A)に接続

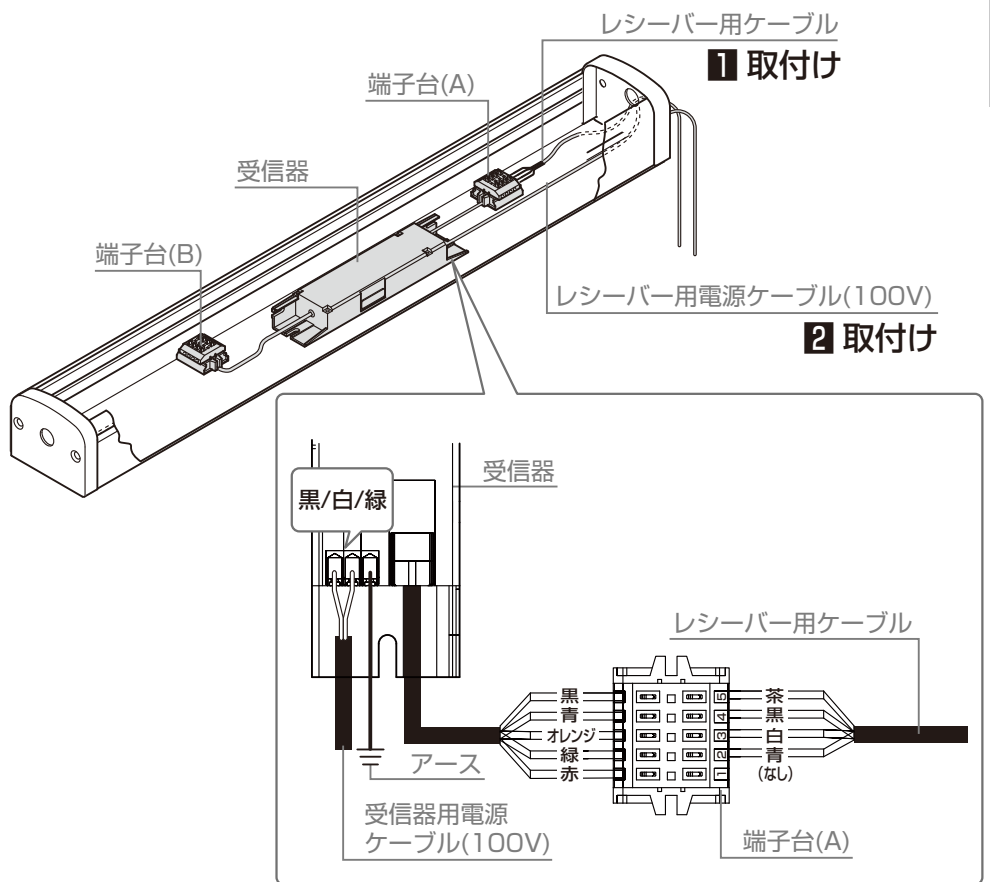
お願い

●端子は茶/黒/白/青の色で分かれています。

2: レシーバー用電源ケーブルの端子を受信器に接続

お願い

●黒/白/緑の差込み口のうち、黒と白の端子に接続してください。



9-4-7 上蓋の取付け

1: 上蓋をケーシング本体にかん合

上蓋
1 かん合

2: ケーシングキャップをケーシング本体に【14c】で取付け

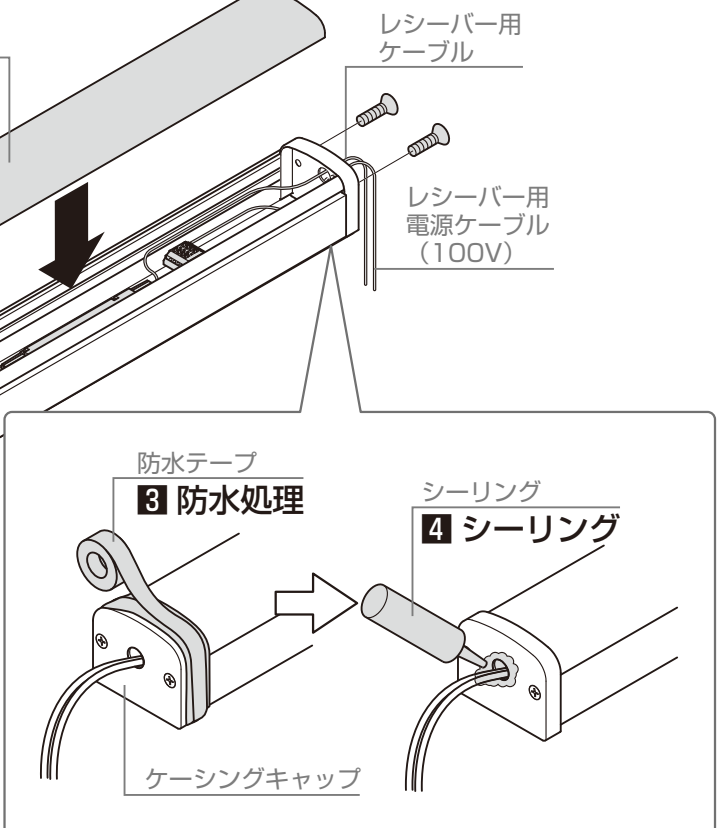
【14c】φ4×10
サラ小ネジ

ケーシングキャップ

3: ケーシング本体とケーシングキャップの接合部を防水テープで防水処理

2 取付け

4: ケーシングキャップのケーブルを通す穴にシーリング



9 オプションの施工

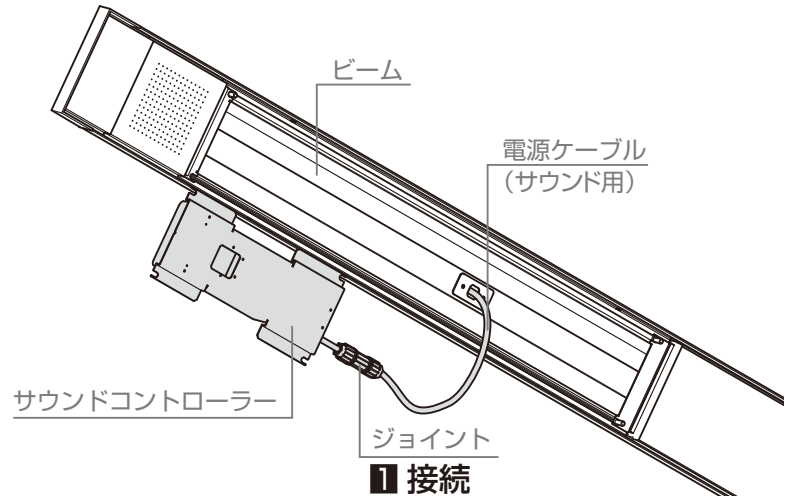
9-5 サウンドの取付け

9-5-1 サウンドコントローラーと電源ケーブルの接続

1: ビーム左側の電源ケーブルと、サウンドコントローラーのジョイント部品を接続

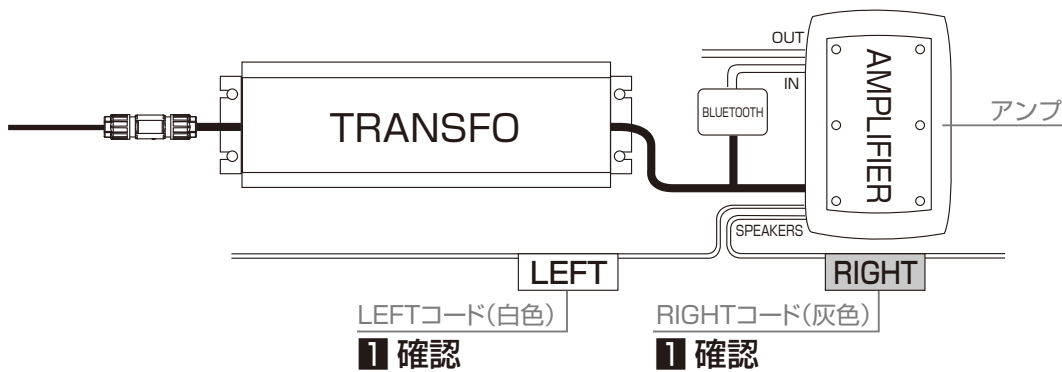
お願い

- 電源ケーブルとジョイント部品の接続方法はP.76 [9-4-1] 電源ケーブルを参照してください。

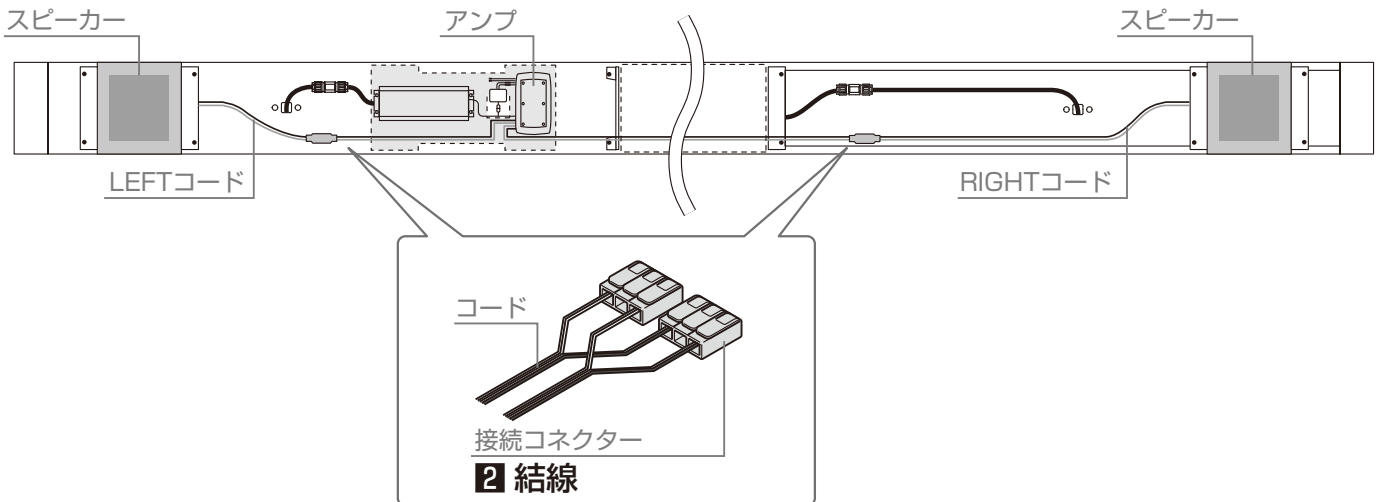


9-5-2 サウンドコントローラーとスピーカーの接続

1: サウンドコントローラーのアンプから、LEFT(白色)、RIGHT(灰色)のラベルが貼られた2本のコードが伸びていることを確認



2: 左右のスピーカーから出ているコード(LLEFT/RRIGHT)と、アンプのコード(LLEFT/RRIGHT)を接続コネクタで結線



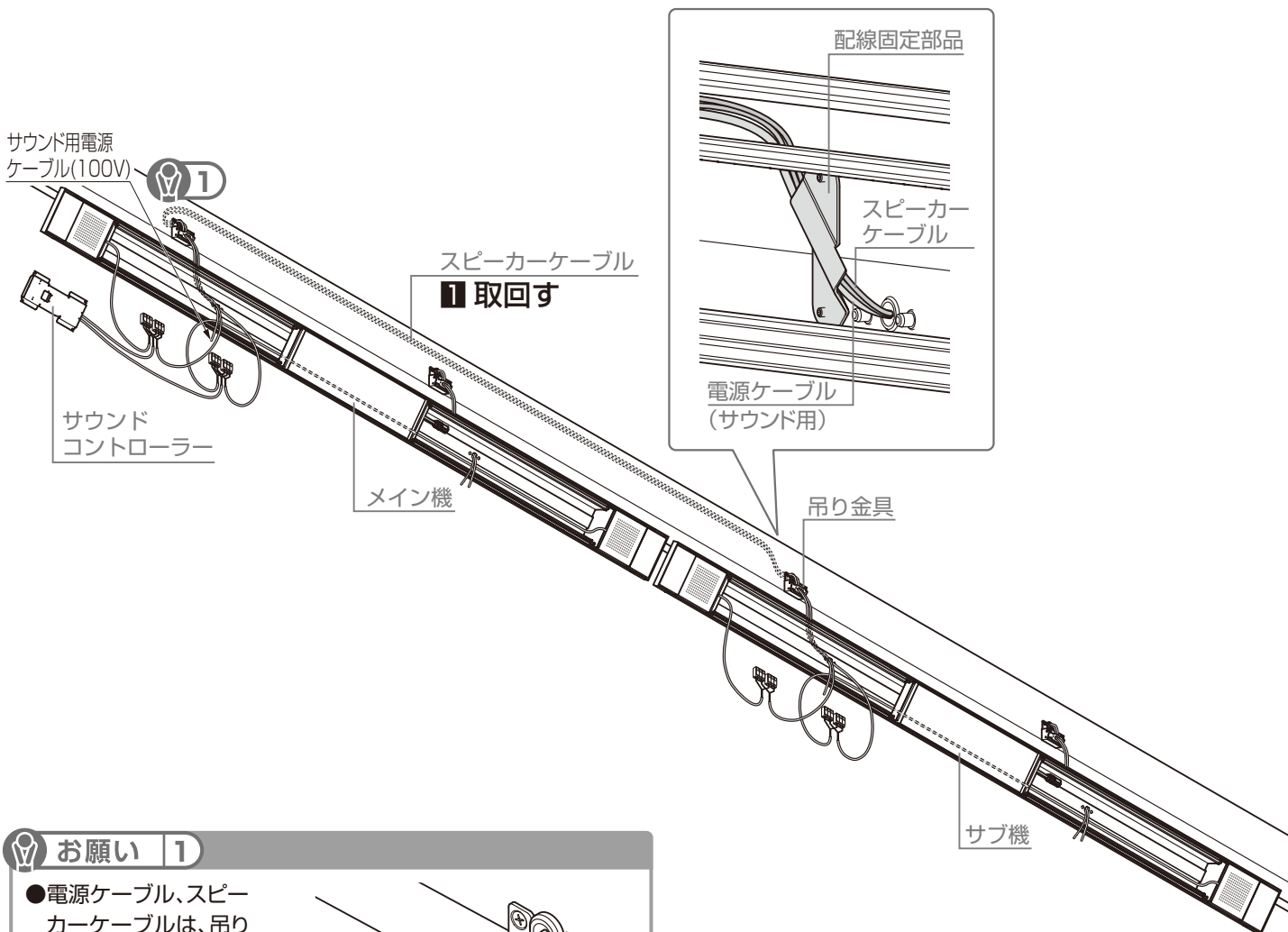
お願い

- スピーカーのコードには左右の表記がありません。ビームの正面左側にサウンドコントローラーが設置される状態を基本として、左右の判別を行なってください。
- アンプとスピーカーから出ているコードは、無地と黒線入りの2種類があります。必ず同色のコード同士で結線してください。

9-6 サウンド&ヒーターの取付け（2台以上の連結）

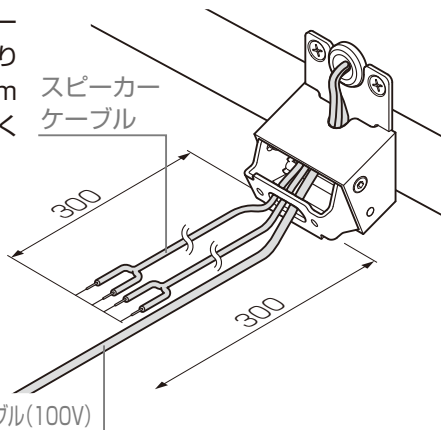
9-6-1 ケーブルの取り回し

1: スピーカーケーブルを吊り金具から取回す



1 お願い

- 電源ケーブル、スピーカーケーブルは、吊り金具から約300mm程度出しておいてください。



1 お願い

- スピーカーケーブルの結線はサウンドユニット内で行ってください。

9-6 サウンド&ヒーターの取付け (2台以上の連結)

つづき

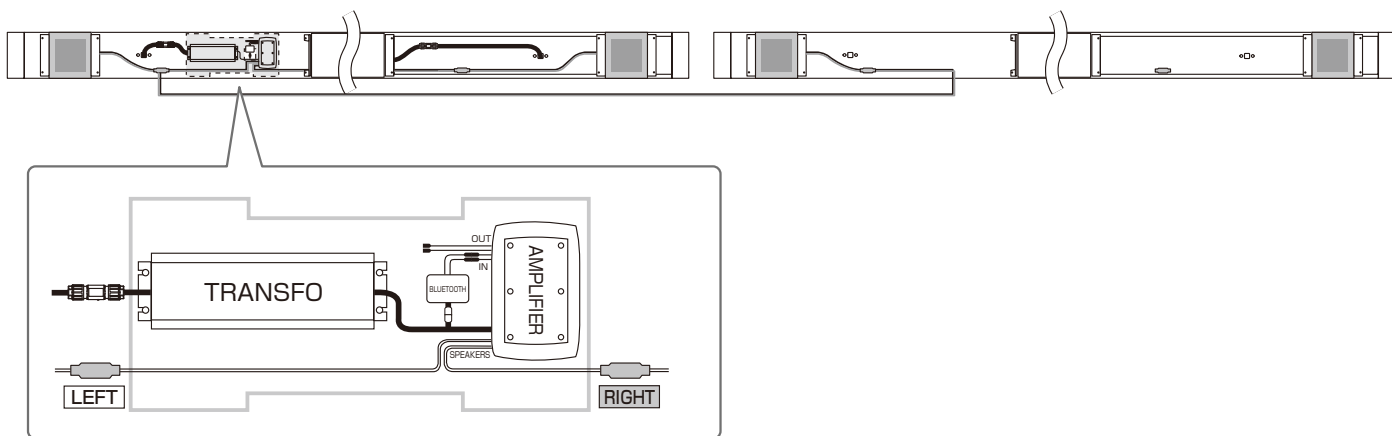
9-6-2 | メイン機とサブ機の接続

 補 足

●任意の1つのサウンドユニットを「メイン機」とし、残りのユニットを「サブ機」として設定を行ないます。

【メイン機】

【サブ機】



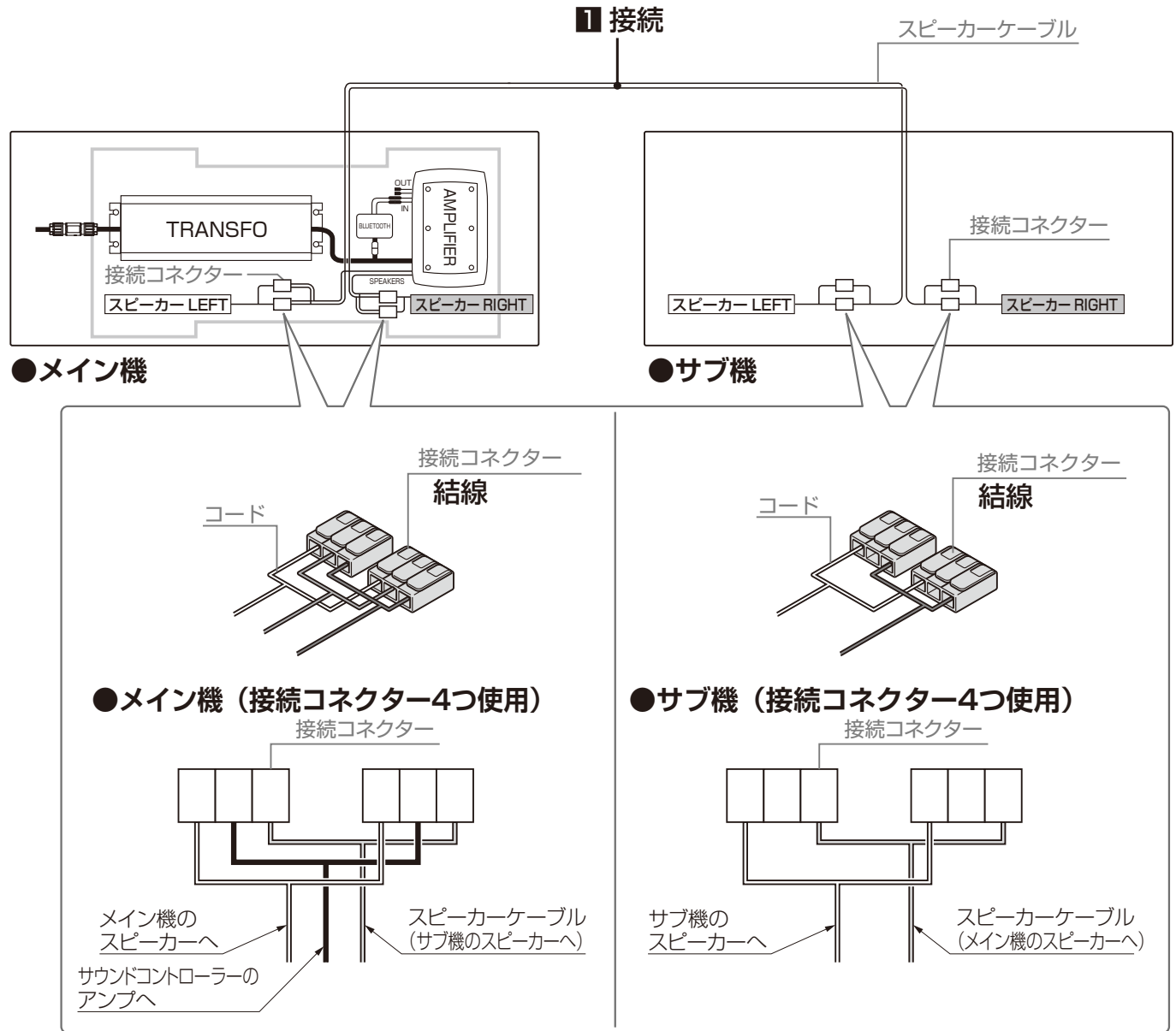
9-6 サウンド&ヒーターの取付け (2台以上の連結)

つづき

9-6-2 | メイン機とサブ機の接続

つづき

■: メイン/サブ機のスピーカーケーブルを接続



お願い

- スピーカーのコードには左右の表記がありません。ビームの正面左側にサウンドコントローラーが設置される状態を基本として、左右の判別を行なってください。
- アンプとスピーカーから出ているコードは、無地と黒線入りの2種類があります。必ず同色のコード同士で結線してください。

9 オプションの施工

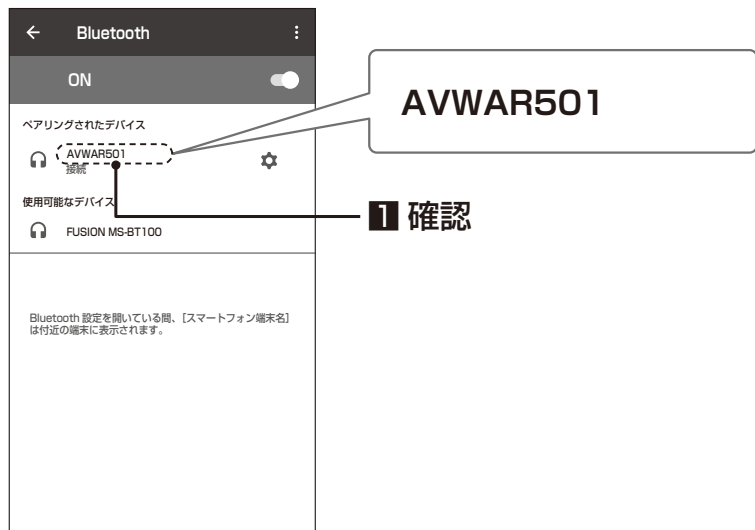
9-7 サウンド&ヒーターの仕上げ

9-7-1 サウンドコントローラーとスピーカーの接続

3: サウンド&ヒーターの電源を入れ、接続機器のBluetooth設定画面に「AVWAR501」が表示されているか確認

お願い

- ビームカバーを取付ける前に必ず接続確認を行なってください。
- 使用する接続機器によって表示画面は異なります。



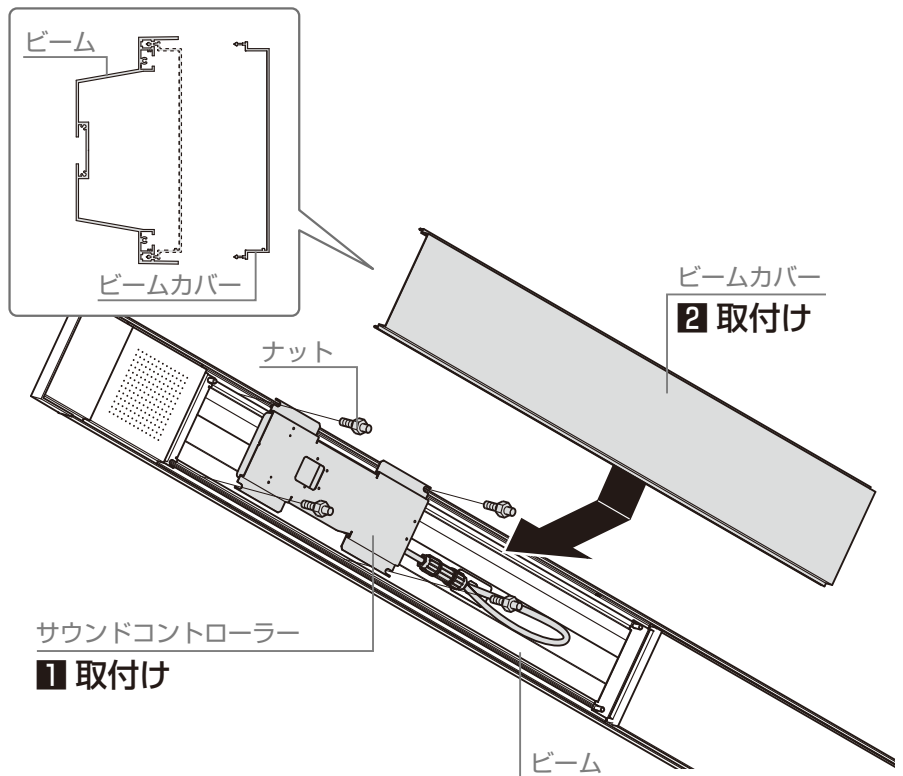
9-7-2 ビームカバーの取付け

1: サウンドコントローラーをビームに戻し、ナットでビームに取付け

補足

- 最初にサウンドコントローラーを取外した際のナットを使用して取付けてください。

2: ビームカバーをビームに取付け



9-7 サウンド&ヒーターの仕上げ

9-7-3 角度調整

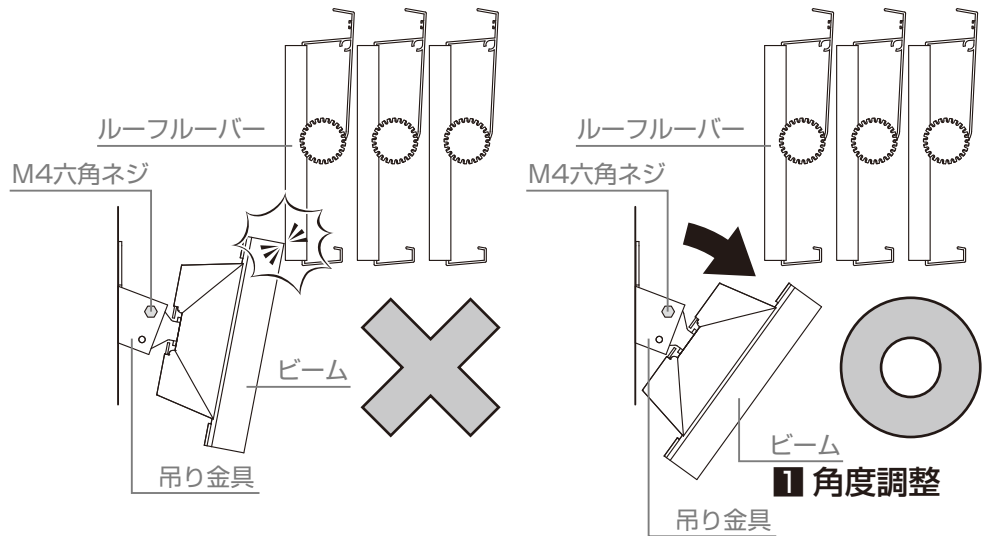
1: ビームをルーフルーバーに当たらないように角度調整

補足

●吊り金具のM4六角ネジを「ゆるめる」⇔「しめる」でビームの角度を調整できます。

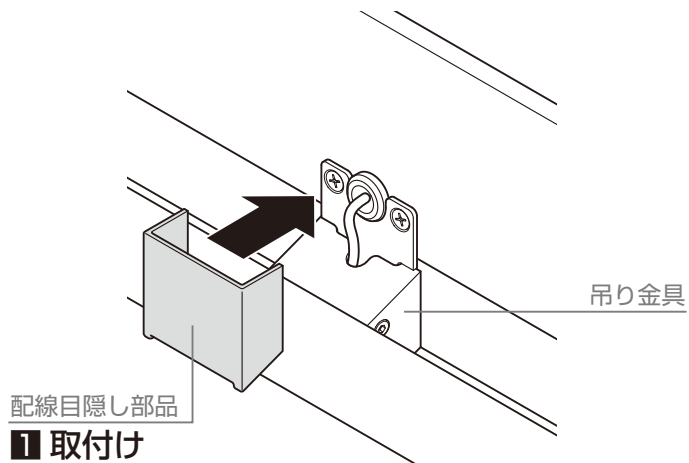
お願い

●ご使用する前に必ずビームの角度調整を行なってください。
ビームの角度調整を行わないとルーフルーバーがビームに接触する場合があります。

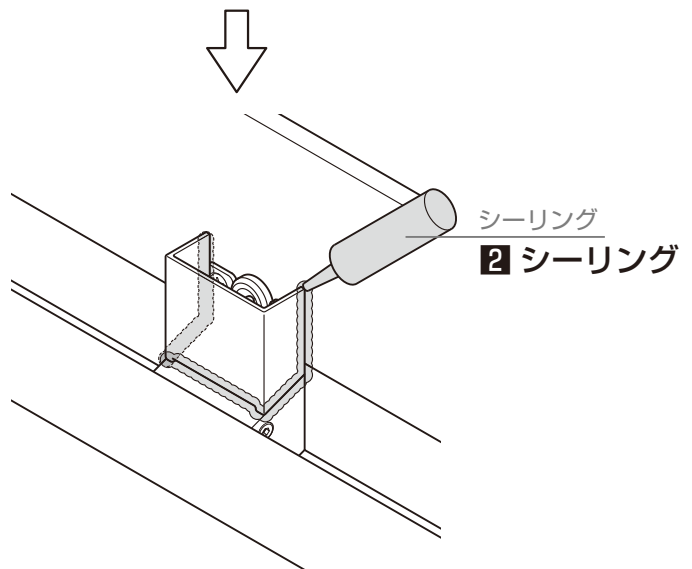


9-7-4 配線目隠し部品

1: 配線目隠し部品を吊り金具の取付け



2: 配線目隠し部品にシーリングを塗布



10-1 トップカバーの取付け

10 仕上げ

お願い

- 各種配線が正しく接続されているか確認してからトップカバーを取付けてください。

1: フレームトップカバー B(進行側、収納側)を、フレーム(進行側、収納側)に【17b】で取付け

2: フレームトップカバー B(左側、右側)とフレームトップカバー A(左側、右側)を、フレーム(左側、右側)に【17c】で取付け

補足

- フレームトップカバーB→フレームトップカバーAの順番でないと取付けられません。

お願い

- トップカバー(進行側、収納側)と干渉する場合は、トップカバー(左側、右側)の干渉する部分を、ヤスリなどで削って調整してください。

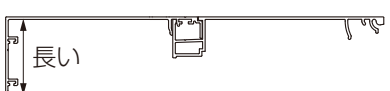
お願い 1

- トップカバーBを取付ける際に、各種配線を挟まないようにしてください。

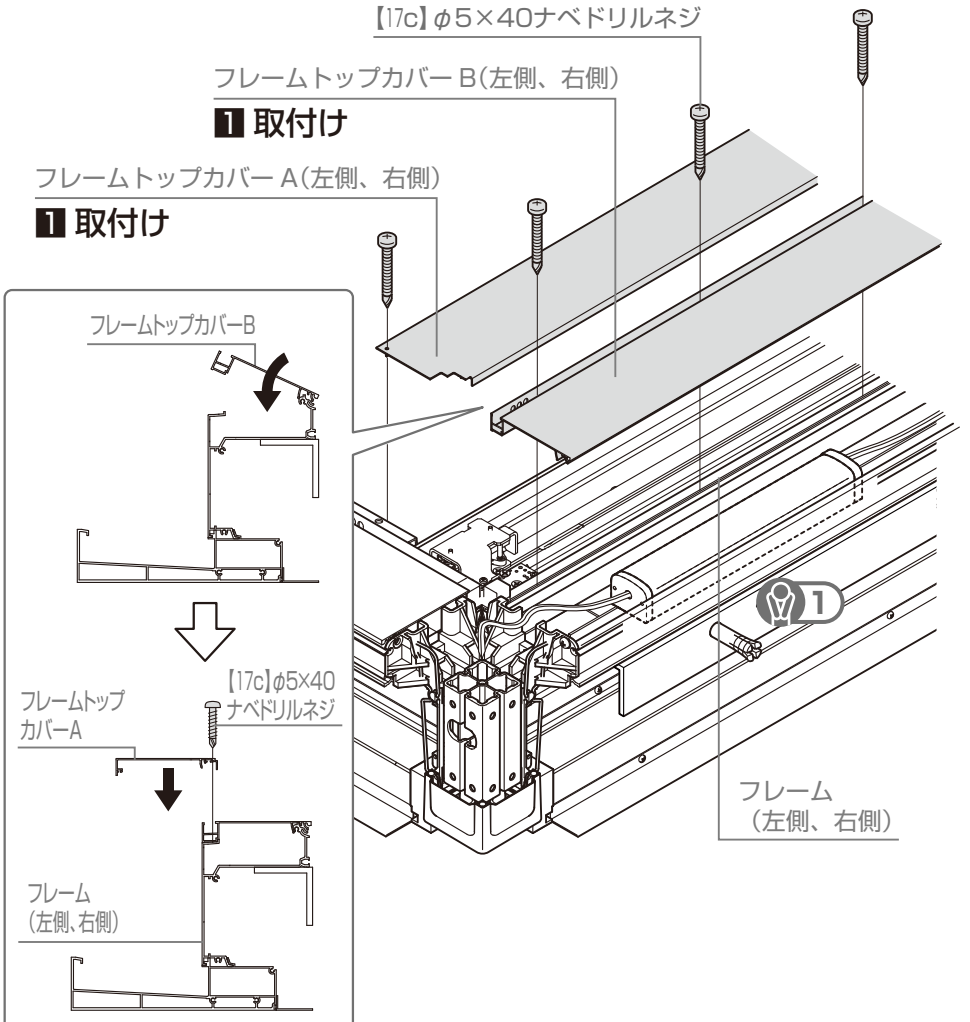
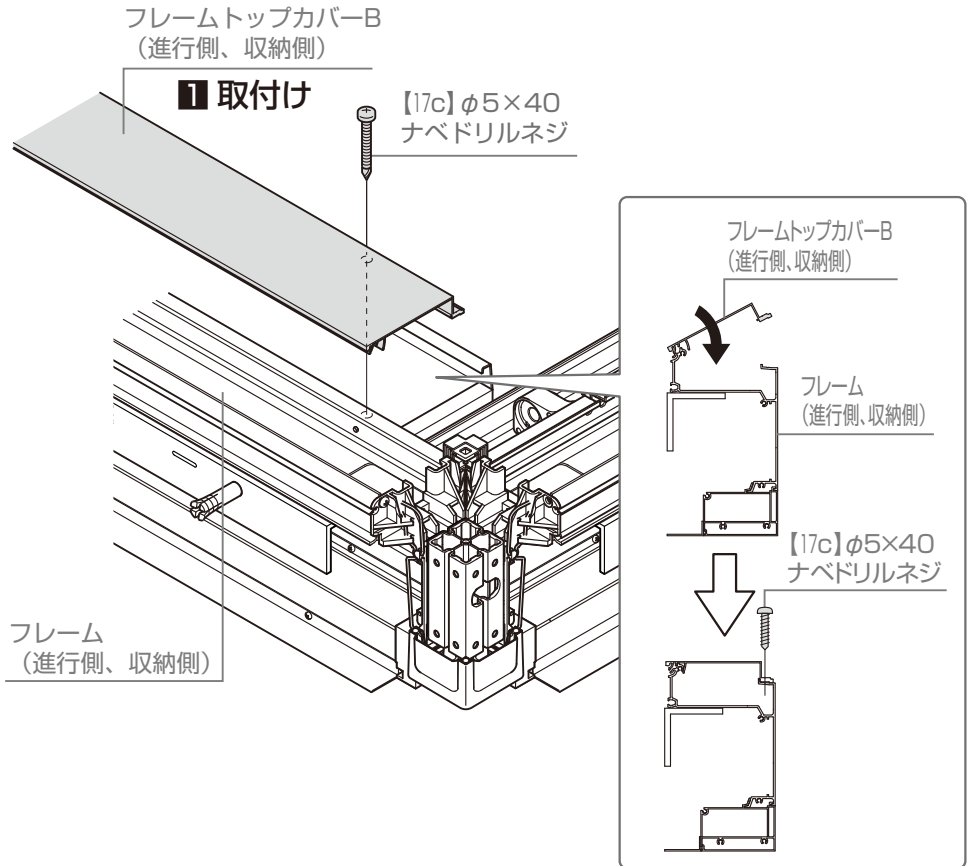
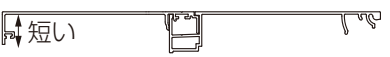
補足

- フレームトップカバーAは、水外用と水上用で形状が異なります。

▼ 水側側 ▼



▼ 水上側 ▼

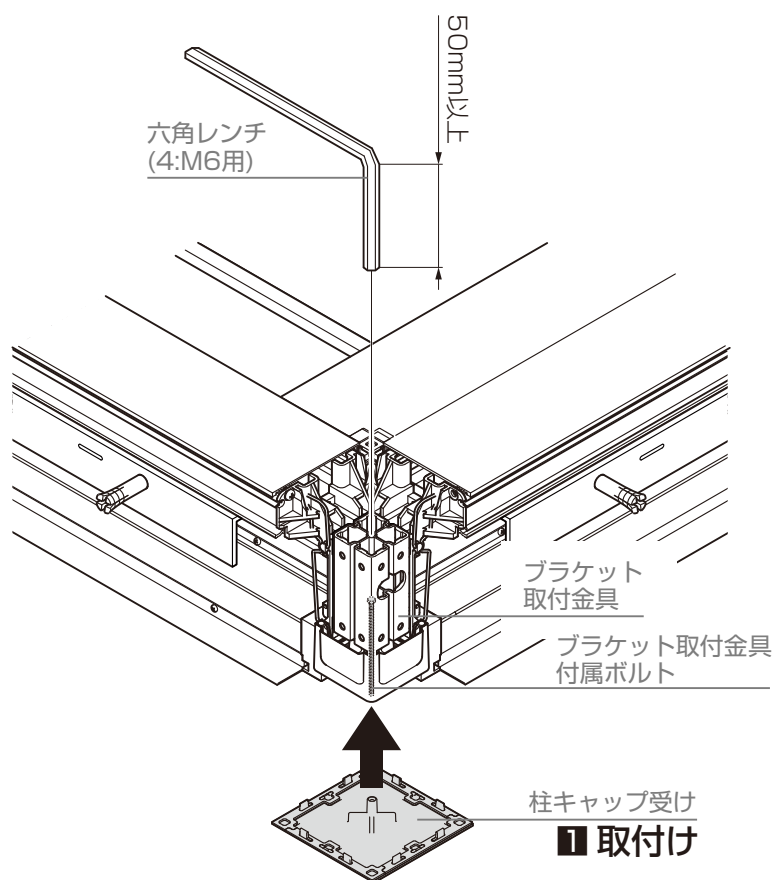


10-2 柱キャップと柱キャップ受けの取付け

1: 柱キャップ受けをブラケット取付金具にブラケット取付金具付属ボルトで取付け

補足

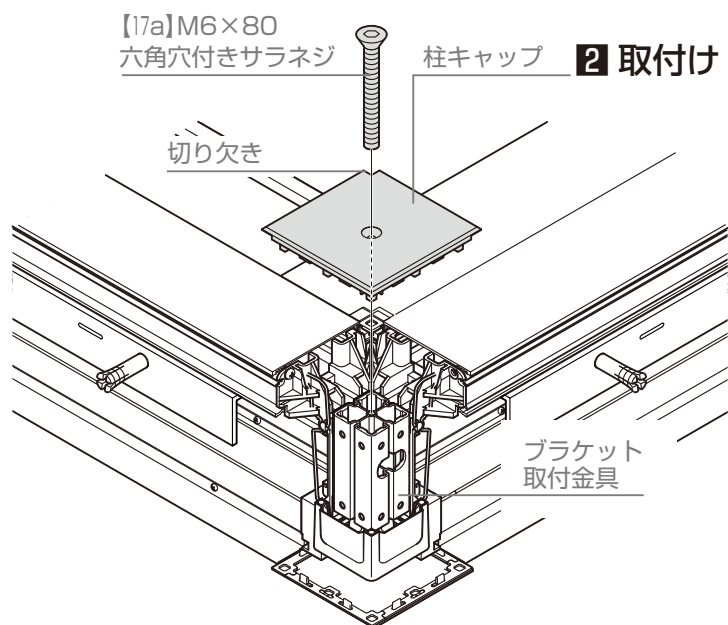
- ブラケット取付金具付属ボルトは、ブラケット取付金具に内蔵されています。
- ブラケット取付金具付属ボルトは六角レンチ（4:M6用）で締結します。



2: 柱キャップをブラケット取付金具に【17a】で取付け

お願い

- 柱キャップの切り欠きが本体の内側を向くように取付けてください。



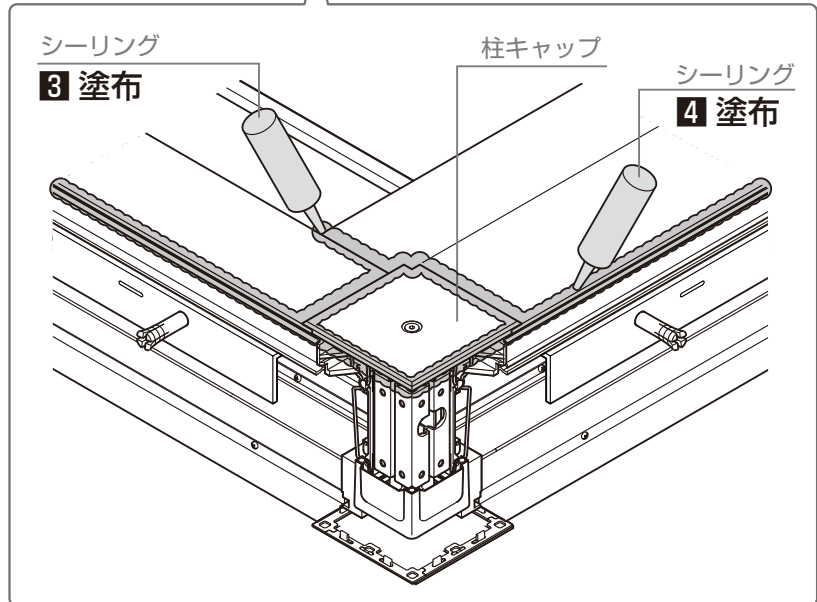
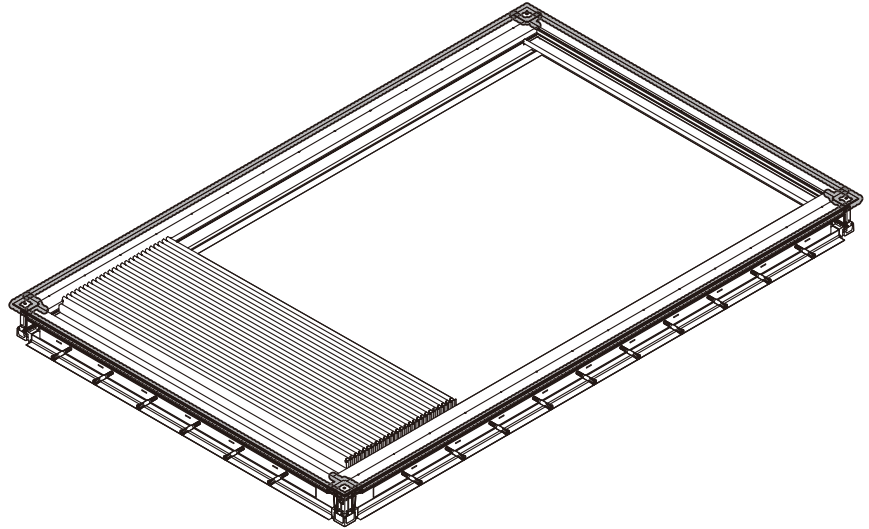
10-2 柱キャップと柱キャップ受けの取付け

3: 柱キャップにシーリングを塗布

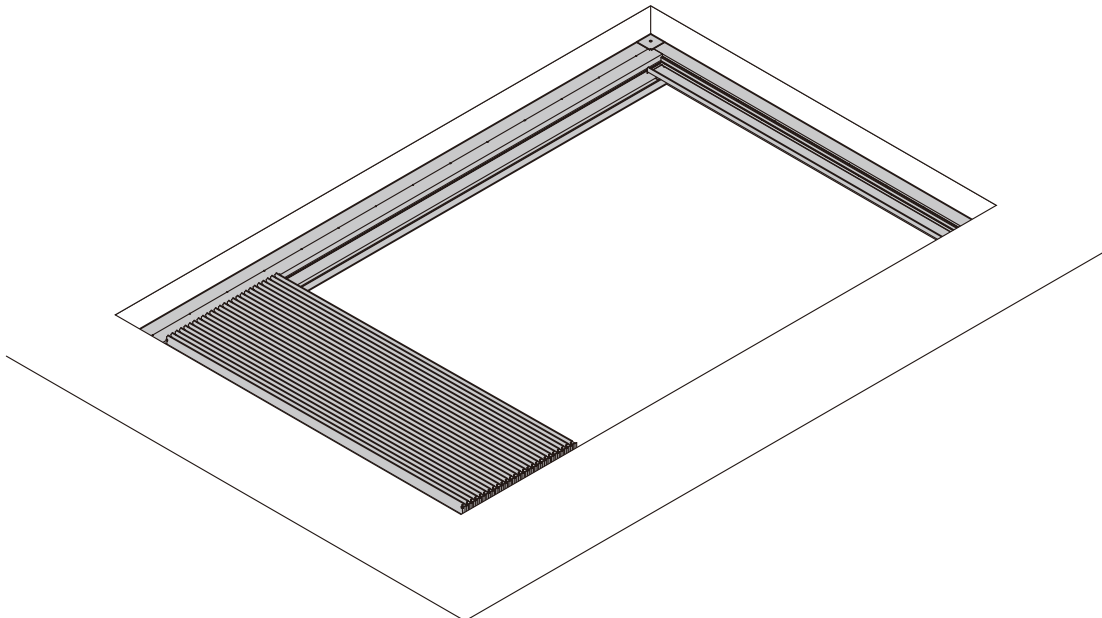
4: 躯体とフレームの間隙全体にシーリングを塗布

お願い

●シーリングは水上水下側、収納進行側の全てに塗布してください。



10-3 完成イメージ



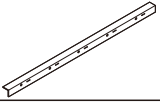


梱包明細表

注意

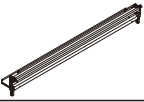
●本製品の部材、部品はGARDEN ANNEX専用です。他の商品には使用できません。

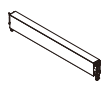
補足

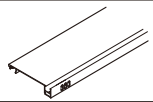
●部品点数は一部省略して表記しています。詳細は製品納品時に同封される明細表をご確認ください。

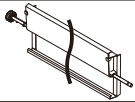
【1】 アングルセット			
名 称	略 図	員 数	
		軽量鉄骨構造	RC構造
アングル		4	4
【1a】 M16ナット		60	—
【1b】 M16×100オールアンカー		—	60

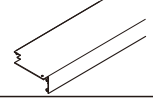
※オプションによって員数が異なります。

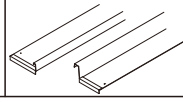
【2】 フレームセット 右側・左側（水下側・水上側）					
名 称	略 図	員 数			
		基本用		LED仕様	
		水下側	水上側	水下側	水上側
フレームセット（水上側・水下側）		1	1	1	1

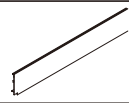
【3】 フレームセット 進行側・収納側									
名 称	略 図	員 数							
		基本用				サウンド&ヒーター仕様			
		右勾配用 進行側	左勾配用 収納側	右勾配用 進行側	左勾配用 収納側	右勾配用 進行側	左勾配用 収納側	右勾配用 進行側	左勾配用 収納側
フレームセット（進行側・収納側）		1	1	1	1	1	1	1	1

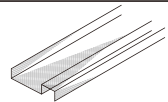
【4】 フレームトップカバーAセット			
名 称	略 図	員 数	
		水下用	水上用
フレームトップカバーA		1	1

【7】 ルーフルーバーセット			
名 称	略 図	員 数	
		緑マーカー	赤マーカー
ルーフルーバー		1または2	1または2

【5】 フレームトップカバーBセット			
名 称	略 図	員 数	
		水下用	水上用
フレームトップカバーB		1	1


【8】 見切り材セット			
名 称	略 図	員 数	
		収納側	進行側
見切り材		1	1

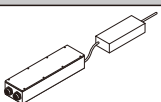
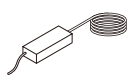
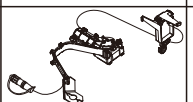
【6】 モーターカバーセット			
名 称	略 図	員 数	
		水下用	水上用
モーターカバー		1	1

【9】 雨受け部用金網セット		
名 称	略 図	員 数
金網ネット		※

※サイズによって員数が異なります。

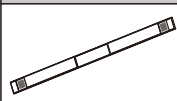
梱包明細表

【10】 モーターセット			
名 称	略 図	員 数	
		L	R
モーター		1	1

【11】 コントローラーセット (ルーフレバー用)			
名 称	略 図	員 数	
コントローラー (ルーフレバー用)		1	
電源ボックス		2	
センサー		2	

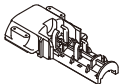
【12】 コントローラーセット (LED用)			
名 称	略 図	員 数	
コントローラー (LED用)		※	

※オプションによって員数が異なります。


【13】 サウンド&ヒーターセット			
名 称	略 図	員 数	
サウンド&ヒーター		1	

【14】 サウンド&ヒーター部品箱セット			
名 称	略 図	員 数	
レシーバー		1	
レシーバー用ケーブル		1	
吊り金具		2	
200V用電源ケーブル		1	
100V用電源ケーブル		1	
ステンレスプレート		2	
ゴムプレート		2	
スピーカーケーブル		2	
リモコン		1	
ケーシング本体		1	
ケーシングカバー		1	
ケーシングキャップ		2	
ノイズフィルタセット		1	
【14a】 M6×16サラ小ネジ		4	
【14b】 M6×16六角穴付きボルト		4	
【14c】 M4×10サラ小ネジ		4	



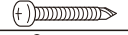





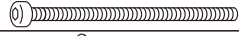
梱包明細表

【15】 台座カバー部品箱セット		
名 称	略 図	員 数
台座カバー		※

※サイズによって員数が異なります。

【16】 シャフトキャップ部品箱セット		
名 称	略 図	員 数
シャフトキャップ		※

※サイズによって員数が異なります。

【17】 部品箱セット			
	名 称	略 図	員 数
基本セット	柱キャップ		4
	柱キャップ受け		4
	ブラケット取付金具		4
	シーリングアングル		4
	【17a】 M6×80六角穴付きサラネジ		4
	【17c】 φ5×40ナベドリルネジ		※
	【17d】 M8×25六角穴付きサラボルト		※
	【17e】 M5×25サラタッピンネジ		4
	【17f】 M6×180六角穴付きネジ		8
	【17g】 M8×80WHネジ (六角穴付き)		※
	【17h】 M6×16WHネジ (六角穴付き)		※
	【17i】 φ4×12六角穴付きネジ		4
	【17j】 M6×16ネジ		※
	排水キャップ		2
	排水キャップ (躯体側排水、フレーム中間部排水用)		2
	排水誘導キャップ		2
	ラバー		1
	プチルテープ		1
	リモコン		2
	注意ラベル (本体用)	—	1
取付説明書	—	1	
取扱説明書	—	1	
連棟セット	柱キャップ(連棟用)		2
	柱キャップ受け(連棟用)		2
	【23f】 M6×180六角穴付きネジ		6
	【23i】 M8×90六角穴付きサラボルト		8

※サイズによって員数が異なります。

取説コード
EXM-055

JZZ638041
202202_1049